

岡埜谷家古文書目録

(近世追加分)

平成 30 年 1 月 整理

島 田 市 博 物 館

(島田市史編さん委員会)

綴込み資料

岡埜谷家古文書目録（近世追加分）

- 1 年 表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（前1）
- 2 近世文書分類表（文書目録の目次に替えて）・・・・・・・・（前2）
- 3 岡埜谷家古文書目録の利用に当たって・・・・・・・・（前3）
- 4 古文書目録（分類「A-1」～「Z」）・・・・・・・・（No.271）

年表 応仁元年(1467)～平成9年(1997)まで

改元年の月と閏月をのせる。但し閏月は○入り

Table with columns for year, month, and zodiac sign, listing dates from 1467 to 1997. Includes leap months and specific dates for each year.

近世文書分類表 (明治5年まで)

A 支配

- 1 領知 ①領主関係 ②領地関係 ③家臣関係 ④役所関係 ⑤建白書 ⑥王政復古
- 2 法令 ①法度 ②条目 ③定書 ④高札 ⑤掟 ⑥触書 ⑦達 ⑧五人組前書
- 3 治安 ①犯罪 ②取締 ③刑罰 ④喧嘩 ⑤騷擾・一揆 ⑥各種詫状
⑦博奕 ⑧心中 ⑨防犯 ⑩儉約 ⑪奢侈取締 ⑫風俗取締 ⑬鉄砲改

B 土地

- 1 検地 ①検地条目 ②検地 (a 検地帳 b 水帳 c 清野帳 d 地押改帳 e 高反別改帳
f 田畑高名寄帳 g 田畑高帳 等)
③新田検地 (a 新田検地帳 b 切開帳 c 切添帳 d 起返帳 等)
- 2 免租地 ①朱印地 ②除地 ③引地
- 3 新田開発 ①山林原野 ②隠田畑 ③河原 ④鷹場
- 4 所有地 ①所有者 ②登記 ③境界紛争

C 貢租

- 1 年貢 ①物成 ②本途 ③取箇 ④成箇 ⑤地子 ⑥年貢割付状 ⑦免状
⑧年貢皆済目録 ⑨口米 ⑩込米 ⑪欠米 ⑫小物成 ⑬先納 ⑭廻米 ⑮未進
⑯延納
- 2 課役 ①国役 ②高掛物 ③村役 ④人足役 ⑤浮役 (a 運上 b 貢加)
- 3 地租 ①税金 ②改正関係

D 村制・戸口

- 1 村概況 ①村差出明細帳 ②村鑑 ③他村高帳等
- 2 村政 ①村役人 (a 勤役 b 給与 c 交替) ②規約 (a 村法・村定 b 誓詞)
③村方帳簿 (a 御用留 b 御用触書 c 覚書 d 願書 e 役向日記 f 諸書上帳 等)
- 3 村入用 ①村入用帳 ②村賄帳 ③巡見使諸入用帳 ④郷借証文
- 4 戸口 ①戸口改 ②宗門改 (a 人別改帳 b 宗門改帳 c 五人組改帳 d 人数増減改帳)
③宗門一札 ④宗門送状 ⑤宗門諸状 ⑥欠落 ⑦戸籍

E 諸産業

- 1 農業 ①耕作 ②農作物 ③農具 ④肥料 ⑤技術 ⑥農産物 ⑦養蚕
⑧出作 ⑨入作 ⑩農業帳簿 (a 農業耕作万覚書 b 大福帳 c 田畑小作人元帳 等)
- 2 小作 ①小作人 ②小作慣行 ③小作料 ④小作紛争
- 3 入会 ①入会地 ②入会慣行 ③入会形態 ④入会紛争
- 4 林業 ①造林 ②伐木 ③造材 ④運材 ⑤材種 ⑥木炭・椎茸等 ⑦御林守
⑧その他特産物
- 5 水産業 ①漁業 ②漁船 ③入会 ④水産物 ⑤水産加工品 ⑥製塩
⑦漁撈組織 (a 網元 b 網子)
- 6 畜産 ①牧畜 ②家畜 ③牛馬 ④牛馬役 (牛馬改帳) ⑤飼料
- 7 鉱業
- 8 工業 ①紙漉 ②織布・機械 ③製糖 ④大工 (a 家大工 b 船大工 c 細工物 等)
⑤その他

F 商業

- 1 一般 ①市場 ②商店 ③商品 ④商人 ⑤問屋 ⑥卸 ⑦小売 ⑧仲買 ⑨行商
⑩組合 ⑪株仲間 ⑫商取引 ⑬売買 ⑭譲渡 ⑮手数料
⑯商業帳簿 (a 金銭出入帳 b 大福帳 c 仕入帳) ⑰広告

F 商業

- 2 金融 ①為替 ②両替 ③手形 ④無尽 ⑤講掛金 ⑥貨幣 ⑦借金証文 ⑧田地証文
⑨質地証文 ⑩借入金明細書 ⑪貯蓄

G 交通・通信

- 1 宿駅 ①街道 ②宿帳・問屋 ③宿役人 ④問屋・問屋場 ⑤織立人馬 ⑥帳簿 ⑦拝借金
⑧本陣 ⑨旅籠 ⑩加宿・地方
- 2 助郷 ①定助郷 ②加助郷 ③代助郷 ④帳簿類 ⑤助郷訴訟
- 3 通行 ①陸上・海上・河川・湊 ②渡し ③驚籠 ④馬背 ⑤貨錢 ⑥関所 ⑦通行手形
⑧交通機関 (a 荷車 b 人力車 c 馬車 d 船 等)
- 4 通信 ①飛脚 ②宿継 ③廻状 ④業者

H 水利・土木

- 1 水利 ①治水 ②河川・湖・池・溜池 ③灌漑 ④排水 ⑤樋 ⑥堰 ⑦組合 ⑧紛争
- 2 土木 ①普請 (a 道路 b 堤防 c 橋梁) ②家作 ③資材 ④労力 ⑤費用
- 3 河川 ①海兵 ②流木 ③難破船

I 災害・救恤

- 1 災害 ①凶荒 ②飢饉 ③地震 ④火災 ⑤風水害 ⑥流行病
- 2 救恤 ①救米金 ②負担軽減 ③復旧助成 ④備荒貯蓄

J 教育・文化

- 1 教育 ①学校・寺子屋 ②私塾 ③教師 ④生徒 ⑤教科書
- 2 学芸 ①諸学問 (a 儒 b 国 c 洋 d 心 e 医 f 兵 g 易 h 天文) ②俳諧・和歌
③曆学 ④本草学
- 3 文化 ①隨筆 ②見聞録 ③旅行記 ④絵画・書 ⑤工芸 ⑥地方書 ⑦農書 ⑧音楽

K 宗教・習俗・身分

- 1 宗教 ①仏教 ②寺院 ③神道 ④神社 ⑤切支丹 ⑥教会 ⑦僧侶 ⑧神宮 ⑨宣教師
⑩山伏 ⑪檀家 ⑫氏子 ⑬祭礼 ⑭祈祷 ⑮勧進 ⑯寺社造営修復 ⑰由來
- 2 習俗 ①年中行事 ②冠婚葬祭 ③贈答 ④娯楽 ⑤言語 (a 方言 b 俗言 c 流言 d 落首)
⑥風俗 ⑦口碑 ⑧伝説 ⑨民謡 ⑩迷信 ⑪講 ⑫官座 ⑬若者組 ⑭遊山
⑮参詣 ⑯巡礼
- 3 身分 ①士農工商 ②郷士 ③浪人 ④無籍者 ⑤非人 ⑥一本証文 ⑦一般雇用人
⑧年季奉公人 (a 証文 b 請人 c 給与)

L 軍事

- ①海防 ②農兵 ③戦争

M 地図

- ①村絵図 ②神社絵図 ③河川・沼・港絵図 ④山絵図

X 家

- ①家憲・遺訓 ②家譜 ③由緒 ④過去帳 ⑤家格 ⑥苗字帯刀御免 ⑦本家
⑧分家 ⑨相続 ⑩養子縁組 ⑪家業 ⑫家産 ⑬日記 ⑭書簡 (私信) ⑮姓
⑯結婚 ⑰生死 ⑱衣食住

Y 典籍

- ①和 ②漢 ③外

Z 雑

- ①断簡 ②その他

岡埜谷家古文書目録の利用に当たって

I 文書目録の見方について

1 文書の分類

本古文書の内容はほぼ江戸時代から明治・大正・昭和の時代にわたっています。江戸時代の文書（中世文書も含む）は「近世文書分類表」（明治5年迄）により、また明治・大正・昭和時代の文書は「近現代文書分類表」によって分類しています。例えば江戸時代の文書（含、中世）ならば、「近世文書分類表」のA項目から「A-1」・「A-2」・「A-3」、次のB項目は「B-1」・「B-2」……、また明治・大正・昭和時代のもは「I-1」・「I-2」……「II-1」・「II-2」……というふうに各項目ごと、年月日の早い物から順に配列する方式をとっています。年代の特定出来ない文書はそれぞれの分類項目の最後尾にまとめて配列しました。

特に分類F-1については、商業一般のものとお茶の販売のもので目録の掲載を分けました。一般の部分を中心に、その後にお茶の販売の部分を書きました。

2 「通し番号」と「整理番号」について

- (1) 「通し番号」とは本文書目録の最左端上部から順に付した一連の番号数字で、分類別かつ年代順に古い事項から一連番号を付したものです。
- (2) 「整理番号」とは、「通し番号」の下に付した番号数字のことで、これは調査の際に文書挿入の封筒に付した番号です。この番号については、『川根町近世史料所在目録』（第6集）の「岡埜谷竹文書」に掲載されてある分類符号にそのまま番号数字を記して『川根町近世史料所在目録』からでも原文書を特定できるようにしました。それから今回は未調査の文書があり、それも調査を行ない、追加分としました。追加分の文書は外1、外2・・・と「外」の字を付して一連番号としました。いずれにせよあとで説明してありますが、この「整理番号」が原文書を取り出す時の鍵数字となります。

3 「年号」欄、「標題」欄、「差出人・受取人」欄について

- (1) 時折り、「欠」とか「記載なし」とかの表示がありますが、「欠」とは、もと原文書に記入してあった筈の文字が、虫喰いとか破損等で欠落していることを意味しています。また「記載なし」とは、原文書にもともと記入してなかったことを表しています。
- (2) 年号欄・標題欄等で、語句を（ ）で表記しているところがあります。これは原文書には何も記していない箇所ですが、内容から推測してその意味がくみ取れ

るよう仮の言葉で調査の際に新たに記載したものです。但し、西暦は常に（ ）内に示し例外です。

4 「摘要」欄・「備考」欄について

- (1) 摘要欄には原文書内容の要旨や特徴を記載し、いちいち原本に当たらなくてもおよその文章内容が把握出来るようになっています。この「摘要」欄を「年号」・「差出・受取人」欄とを併合して見ることで「分野別年表」として活用できるようにしました。
- (2) 備考欄には本文内容以外の補足事項を必要に応じて記入しました。

5 「形態」欄と「数量」欄について

- (1) 形態欄に「状」・「縦」・「横」・「綴り」等の表示がありますが、「状」とは「一紙文書」のこと、「縦」とは縦横面のこと、「横」とは横縦面のこと、「綴り」とは複数の文書又は帳面を一括して一綴りにしているものを意味します。
- (2) 数量欄の数字は、一つの封筒の中に入れた文書の枚数のこと、帳面ならば冊数になります。

6 「撮影」欄と「箱番号」欄について

- (1) 撮影欄には、岡埜谷家古文書調査の際にコピーして、そのコピー文書を当市史編さん室（博物館）が所持していることを意味しています。
- (2) 箱番号とは、当市史編さん室（博物館）にある「コピー文書」の保管箱の番号のことです。

II 古文書原本の取り出し方

- 1 古文書収納箱の中には、封筒に入った古文書が分類「A-1」・「A-2」…「B-1」…「D-1」…「E-1」…の項目ごとにそれぞれ分割されて大きな袋（「同一分類による文書群の挿入袋」）に入っています。この分類袋と文書目録の「整理番号」から該当文書を取り出すことができます。
- 2 古文書の取り出し方について、一例をあげると次の通りです。例えば文書目録の「通し番号」9の文書を取り出すとします。この通し番号9の文書の「整理番号」は「A24」で、分類は「A-1」です。そこで、まず分類（A-1）の挿入袋（同一分類による文書群の挿入袋）を出します。そしてこの大きな封筒の中から整理番号「A24」の封筒を選び出せば該当

文書が得られます。以下、取り出す要領はすべて同じです。

- 3 分類 F - 1 は商業一般と、お茶の販売で保管する箱が分かれています。お茶の販売の文書が入っている封筒の整理番号の頭に L の符号がついており、保管箱の表紙には「分類 F - 1 ㊦付き」と表示されています。分類 F - 1 の文書を取り出す際には商業一般に関するものか、お茶の販売に関するものか気をつけて取り出してください。

また、『川根町近世史料所在目録』掲載分と追加分で保管する箱を変えてあります。追加分には保管箱に「第2次調査分」と記載してありますので、こちらも文書を取り出す際には気をつけてください。

Ⅲ 文書の取扱いについてお願い

- 1 文書を取り出したならば、しまう時には必ず元の挿入箱に納めてください。
これを取り違えると、次会引き出すとき行方不明となり、場合によってはすべての古文書に当たらなければなりません。
- 2 古文書がいつまでも傷まないように、時々乾燥剤や防虫剤を収納袋の中に入れ替えてください。
- 3 当古文書は戦国・江戸時代の上河内地区の動向を知る上で貴重な資料となるものです。それは岡莖谷家の宝物であると同時に当地域の貴重な財産でもあります。いつまでも大切に保存してください。

近世追加分

分類:A-1 支配一領知

地区番号: 15 地区名: 身成 岡笠谷家文書目録

No.271

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
4208 外333	A 1	8月16日 ・卯	書状(包紙入り)	○身成村:名主平右衛門 ●笹間渡村:御名主次郎左衛門	先達て、小(古)作様より廻文が来て、その御用は、身成・伊久美量村で済ませた。この度、近藤様が陣中に着いたこと、鈴屋紋十郎より案内あり。これ又、惣代で勤めるので、承知されたい。		原 本	状	1		

分類:A-2 支配一法令

4209 外1	A 2	元禄9年3月15日 (1696年)・子	掟	○可睡斎 ●記載なし	前々よりの生類憐愍令を堅く守ること。病犬・瘦犬等を憐むこと。無慈悲の場合、罰せられる。僧房に女人を絶対入れてはならない。寺院の威光を乱してはならない。	虫損甚大、裏打ち	原 本	状	1	○	96
4210 外392	A 2	(明治3年)3月22日 (1870年)・午	廻状	○(笹間村)上組:帳元 ●(笹間村)下組:御帳元	宿町・村々の役人、印鑑を取り調べ、その印形・名前を取り揃え、村々惣代の者は、4月10日までに引請宿へ出張、提出せよ。その写しを差上げる。	2枚綴り	原 本	縦 帳	1		
4211 外553	A 2	3月20日	覚	○御役所、三並:名主 ●笹間上組・下組、上河内村御名主中	前からの水帳を写し、本紙を添えて出すこと。水帳が無い場合、理由を書いて出すこと。明細帳並に高反別帳の提出。御廻状を写して提出のこと。		原 本	状	1	○	96
4212 外417	A 2	記載なし	収支御改人別帳前書	○記載なし ●記載なし	公儀より禁令のキリシタン宗門のこと、よくよく承知している。今度又仰せ付けられたが、そのような者はいない。その他、不審者を村に留め置かないことを厳しく守る、と約す。	縦帳の断簡	原 本	状	1		
4213 外399	A 2	(文政10年)閏6月26 日(1827年)	書状(包紙入り)	○中村藤五郎 ●岡野谷松兵衛	この度、江戸滞在の惣代山中より書状がきた。付添人1人遣わずのみでは、聞き入れてくれないとのこと。昨日、私に差出願うとのこと。ところが、下泉村では、出府人なく、比方が先に出して貰いたいなど、相談の手紙。雑用金村割合にも触れる。文政茶一件に係わる力。		原 本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
4214 外410	A 3	(天保4年)	人相書 (御用留目断片カ)	○欠 ●欠	去る辰年3月、大坂の落合久兵衛の女を連れて江戸へ下る途中、案内人の藤蔵という者(飛脚)が関所を避けて山越えて欠落した。その人相書で、色は黒く太り気味、目は細く二重まぶた、口は大きい、等とある。		原 本	状	1		
4215 外190	A 3	5月 ・子	書状	○笹間上河内:岡野谷松介 ●駿府安在町:御鉄炮仕嘉右衛門	昨年から注文してある鉄炮が延々と成っている。出来ているなら、遣いの者に渡し、できていないなら、代金を渡していただきたい。出来かねるなら、貴方の丁見であちこちへ細工をしてほしい。細工について、遣いに申してある。		原 本	状	1	○	96
4216 外5	A 3	12月16日 ・辰	連判帳	○記載なし ●記載なし	当取:倉松、縫藏、亀治郎、平八、周助、丹藏 あと入:松次郎、他13名列記。意図・目的不明。		原 本	状	1	○	96
4217 外312	A 3	10月26日 ・未	書状	○上組帳元 ●下組帳元	先の寄合で申合せた茶一件について、印形持参しない様、紙面委細承知した。22日出府し、浅田屋へ日向藤五郎様がごられるので、印形を捺すので、承知願いたい。また、無双連山のこと、もち山のご事は合い済み、木代2両、椎茸4両になった。貴方と三井の伊左衛門と印形持参でお盛り下さい。	破損あり	原 本	状	1		
4218 外295	A 3	12月 ・未	書状	○上河内組 ●三並村、高日向村、日向村、大平村、大森村、西向村、栗ノ山村	諸色高値につき、組合一同、契約のつもりで取極めた歳末の弁えは年頭にとりいれないので、そのようでもよろしく(前文を×印で消す。下書きカ)。		原 本	状	1		
4219 外422	A 3	11月	口書一札之事(断簡)	○当人金治郎、両隣家彦右衛門、惣左衛門 ●梅五郎	この度、私が野荒しをしている所、役人に見つかった。所追放となる所、村方衆中の格別のお情けで赦された。以後、二度と起こさないよう、約す。(後欠)		原 本	状	1		
4220 外13	A 3	2月1日	書状	○次郎左衛門、清右衛門 ●伊久美村、笹間兩村、下泉村、地名村、御役人中	茶一件に係わる連絡。	中央部欠損	原 本	状	1	○	96
4221 外500	A 3	3月27日	書状 (包紙あり)	○嶋田郷宿鈴木与兵衛 ●笹間下組:岡野谷松兵衛	一件については、役所で話した通り。伊久美村へは、お頼みの書状、飛脚で差し遣わす。		原 本	状	1		
4222 外663	A 3	4月3日	書状	○世話人庄兵衛 ●笹間下組御名主衆中	先にお話の茶一件につき、出府のことで去る日に両人が出立した。又、当月5日に2人出立する様に相成取極めた。村々には雑用をもたせ遣わす。貴村には、村の分当金を間違いないようお願いしたい。		原 本	状	1	○	96
4223 外323	A 3	8月14日	書状	○石上:岡村六郎左衛門 ●上河内:岡野谷松兵衛	先日、役所へ出かける日を15日としたが、16日にしてほしい。伊久美村で合流しよう。又、無双連山の椎茸木を代金7両で売渡し、受取り次第、割合とするが、世話役は少々酒代として貰いたいとの気持ちあり。		原 本	状	1	○	96
4224 外336	A 3	9月16日	書状	○下泉:名主四郎左衛門 ●下組:御名主松兵衛	文政の茶一件に関する題文。各村々が出会して請印するか否かの現状把握する。大井川左岸の村々が、下泉村四郎左衛門を中心に相手の出方を伺う様子が見える。		原 本	状	1	○	96
4225 外334	A 3	9月20日	口演	○仁品橋小田原町2丁目:清五郎 ●岡野谷松兵衛、惣右衛門	平治郎という者が江戸に来て、話しを聞いて驚いている。因本に書状を送り、それまで当方で留めておくので、手紙着き次第、辺事がほしい。		原 本	状	2		
4226 外494	A 3	10月27日	書状	○八坂:五郎右衛門 ●上河内:倉松	茶一件につき、参会の御礼と組合惣代として勝山・松兵衛・上組3人で嶋田宿へ罷り出たい由、題文あることの報告。		原 本	状	1	○	96
4227 外759	A 3	11月22日	書状 (包紙あり)	○西の庄吉 ●岡野御両君	富田・山本には、当月6日に登らせるつもり。住吉屋は、番当留守で談事出来ず、大橋は当年金子難しくてすべて御開済なく残念。何れ貴面の上、申上げたい。茶一件に係わる内容カ。		原 本	状	1		

分類:A-3 支配—治安

No.273

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
4228 外574	A 3	12月9日	書状	○下泉:勝四(勝山四郎左衛門カ) ●岡野谷大人	○小前百姓難波の折、出金してもらっても大金は達しない。しかし、少しでも出金した方がよいのではないかと、かく訴訟人共は、御差紙など頼みこみ、難波申しかけるので困る。御勘弁の程、お聞かせ願いたい。(茶一件関係カ)		原本	状	1		
4229 外703	A 3	12月9日	書状	○(下泉村):勝山四郎左衛門 ●岡野谷松兵衛	茶一件に係わる諸雑用出金につき、江戸表との通信。教的明細は、別紙。当村は、2両を出金。この件から除いてほしい。当方、出府しかねる。子細、帰村の節。		原本	状	1		
4230 外725	A 3	12月9日	書状	○下泉村:勝山四郎左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	茶一件に係わる諸雑用出金につき、村方と相談したところ、順方の入用や江戸詰入用も出金するつもりに、小前一同相談。いずれ少々宛出金する。		原本	状	1		

分類:B-1 土地—検地

4231 外212	B 1	文政1年9月 (1818年)・寅	当寅起返下書	○名主松兵衛、組頭基三郎、百姓代次郎右衛門 ●紺屋町:御役所	高4斗1升9合9勺、下畑4畝歩、石間の薄地。中河原 松兵衛、石盛5、永盛36。		原本	状	1		
4232 外227	B 1	天保3年9月 (1832年)・辰	起返し報告	○記載なし ●記載なし	高5斗9升3合6勺、中畑6畝4歩、石盛9、永盛36、地主松兵衛。前々荒地の間、当辰起返。		原本	状	1		
4233 外111	B 1	天保4年9月 (1833年)・癸巳	已起返小前	○記載なし ●記載なし	松兵衛が4ヶ所の荒地を起返した。合計1石3斗1升8合1勺、反別8畝20歩。村役人・地主立会、書面の通り。是非、下見を願う。		原本	状	1		
4234 外218	B 1	天保6年2月 (1835年)・未	(起返し報告)	○名主松兵衛、組頭基三郎、百姓代次郎右衛門 ●紺屋町:御役所	いりゑ高5斗7升、上畑3畝5歩、松兵衛。前々荒地の処、当年起返し、報告。		原本	状	1		
4235 外213	B 1	天保9年8月 (1838年)・戌	戌起返	○身成村ニテ書上 ●記載なし	高1石6升3合2勺、反別8畝4歩、松兵衛、清右衛門。当成年起返し吟味。		原本	状	1		
4236 外226	B 1	8月 ・午	(起返し報告)	○名主松兵衛、組頭基三郎、百姓代次郎右衛門 ●紺屋町御役所	(いりゑ)上畑2畝歩、高3斗6升、石盛10、永盛36、地主松兵衛。当午起返のもの。		原本	状	1		
4237 外2	B 1	記載なし	覚	○記載なし ●記載なし	上畑3筆、中畑3筆、下畑1筆、下々畑1筆、計8筆の反別1町4反9畝23歩、荒地、木立成として纏める。		原本	状	1		
4238 外211	B 1	記載なし	当亥起返	○記載なし ●記載なし	高4斗1升9合5勺下組分、下畑4畝20歩、これを上組分にて起返し。上河内にて起返し。高8斗3升2合5勺、中畑5畝歩。上組分栗原にて起返し。メ高1石2斗5升2合。両組合計高9畝20歩、免100文取。		原本	状	1		

分類:B-2 土地—免租地

4239 外662	B 2	3月23日 ・寅	廻状	○嶋田御役所 ●村々名主、組頭(上河内以下)	村内で除地所持する者、高内除地、高外除地、帯刀の百姓あらば、早々取調べ、書付で申出ること。(日向から上河内まで、油断なく廻すこと)		原本	状	1		
--------------	--------	-------------	----	---------------------------	---	--	----	---	---	--	--

分類:C-1 貢租—年貢

4240 外423	C 1	慶安3年11月19日 (1650年)・寅	差上申手形之事	○篠間村何村たれ ●長谷川藤兵衛	水野監物知行時の去る亥(正保4)から巳(承応2)までの物成のこと、正直に報告せよとの公儀の指示あり。小物成も正直に報告のこと。差紙、年貢請取手形により報告。		原本	状	1	○	96
--------------	--------	-------------------------	---------	---------------------	--	--	----	---	---	---	----

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
4241 外288	C 1	寛文13年7月11日 (1673年)・丑	篠間村之内納丑小物成 綿之事	○飯太郎右衛門 ●(笹間):庄屋中	綿300目は、ビタ2分743文(上河内分)、請取皆済。他に覚として、① 真綿300目、このビタ2貫743文、丑年小物成。②綿360目、この金2 分、ビタ743文、巳年納綿金、皆済。2通の綴り。		原本	状	3		
4242 外481	C 1	寛政7年11月26日 (1795年)・卯	覚	○笹間村上組:名主六郎左衛門 ●同村下組:御名主松兵衛	笹間村上組の割付御用につき、役所に差上げるまで、身成村久左衛 門へ御渡し願いたい。貴方へ送るについては、当文面により送付願 いたい。安永8年の割付10通、寛政6年よりの割付1通あり。	破損あり	原本	状	1		
4243 外66	C 1	天保6年2月 (1835年)・未	乍恐以書付ヲ奉願上候	○鶴網村:新左衛門、伊久美:六郎右衛門、身 成:五郎右衛門、笹間渡:次郎左衛門、笹間下組: 松兵衛、同上組:六郎左衛門、地名村:九郎右衛 門、下泉:四郎左衛門 ●紺屋町:御役所	8ヶ村の御定免が去年年季明けとなり、各別の増米を仰せつかった。し かし、近年遠作が続き、困窮の村々では、増米は困難であるので、これ まで通り、10ヶ年仰せ付けられたい。		原本	状	1	○	96
4244 外23	C 1	(天保8年カ)5月 (1837年)・酉	乍恐以書付奉願上候 (包紙あり)	○駿州志太郡笹間下組:名主松兵衛、甚三郎、 次郎右衛門、他4ヶ村役人 ●紺屋町:御役所嶋林政市、松山近平	当年、大困窮の年で、百姓は根氣を失い、大変難儀をしている。お慈 悲により、起返しの年貢は、年延していただきたい。		原本	状	1		
4245 外252	C 1	9月21日 ・子	(建)	○嶋田御役所 ●笹間村老丁河内	寛政7年卯年の定免年季切替請證文取調のところ、貴村々の分が見当 たらぬ。取米・ビタ共、別紙の通り差し遣わす。村高冥加へ小前一同 連印の上、当月27日までに差出すこと。		原本	状	1	○	96
4246 外405	C 1	2月29日 ・丑	覚	○嶋田御役所 ●笹間村下組	永1貫268文5分、去る子年、嶋田陣屋修復入用郡中割合出金分とし て請取る。		原本	状	1		
4247 外270	C 1	9月19日 ・丑	廻状	○嶋田御役所 ●三並・西向・大森・上河内名主	笹間村の当丑年貢金19両3分、割紙書面の通り。来る10月に役所 へ持参して納める。廻状早々に順達、留村から相返す。		原本	状	1	○	96
4248 外726	C 1	12月3日 ・丑	覚	○嶋田御役所 ●上河内・三並・栗ノ山・高日向・日向各村々名 主	笹間村下組の当丑の年貢金10両3分、上納について、割紙は別紙の 通り。来る10日までに上納するよう、この廻状に請印して村々に順達、 留村から役所まで返すこと。		原本	状	1		
4249 外763	C 1	9月24日 ・寅	覚	○嶋田御宿:鈴屋校職 ●鶴網村・伊久美村・身成村役人中	伊久美村、身成村、笹間村、地名村、笹間渡村、下泉村の各村高と納 入金を挙げ、これを笹間村下組の松兵衛河立替上納。村々は、9月29 日までに同人宅へ納入のこと。		原本	横 帳	1		
4250 外400	C 1	12月3日 ・辰	廻状	○大森組、西向組、大平組、三井組、高日向組、 日向組、栗ノ山各名主中 ●帳元名主松兵衛	8ヶ組の年貢・諸入用の金額を書上げ、これらを来る8日に帳元方に上 納する。藤枝余荷金も8日に帳元へ上納する。助郷金は例年のとおり。		原本	状	1		
4251 外582	C 1	9月8日 ・未	書付 嶋田御役所笹間下組分	○嶋田御役所 ●笹間下組:大平分未進人・組名主、同村名主・ 与頭	年貢取立は厳しく指示している。ついで、笹間下組において、不納 の者の取調を行うので、9月15日までに未進人を連行し、組親・名主も 共に役所までくること。不参においては、越度とする。		原本	状	1	○	96
4252 外750	C 1	12月 ・未	覚	○笹間下組:名主松兵衛 ●治郎右衛門	当未の年貢3分3朱と51文、納人治郎右衛門。これを笹間村下組名主 松兵衛が受取り、治郎右衛門に差し出した請取書。		原本	状	1		
4253 外639	C 1	7月26日・申	覚	○六郎兵衛 ●記載なし	文化1年(1804)子年から丑までの免状12本。この内、辰から午までの 3年分、役所へ差出である。		原本	状	1		
4254 外740	C 1	3月4日	書状 (包紙あり)	○身成村:名主、(別紙に五郎右衛門) ●上河内:名主、(別紙に七郎左衛門)	嶋田御役所より作左衛門が返ってきた。年貢割付の堅について、一昨 年分は渡したが、昨年分が未納。未納の村々に、お金は明日受ければ 岡部宿に出す。笹間渡村へも報せるので承知願いたい。今晚までに私 方まで持参すれば、役所に持参する。		原本	状	2		

分類:C-1 頁租一年貢

No.275

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
4255 外3	C 1	8月22日	書状	○身成村:名主 ●上河内村:名主	金10兩 初納。下組上納、金10兩 2納。年貢明細カ。急御用向きにて指出。	新簡	原本	状	1		
4256 外304	C 1	10月6日	書状	○石神金平、小川村より ●上河内村:岡野谷松兵衛	年貢上納は、10日が日限。同状のことは、嶋田で談合しているので、印形を捺したことを報せる。江戸大地震、10月2日4つ時、日本橋近辺は大事なく、吉原・浅草一円、京橋前後焼失。江戸中、死人捨棄人夥しい。		原本	状	1	○	96
4257 外86	C 1	10月8日	覚	○身成村:名主◎ ●笹間下組:名主中	御年貢金等、金11兩3分2朱248文の上納金請取の覚。	虫損あり	原本	状	1		
4258 外463	C 1	12月14日	覚	○石神甚左衛門 ●岡のや松兵衛	丁50文、御年貢納過分。金1兩、先日文吉様へ貴所様取替え分。金1分、雑用のため、先日預り分。金2分2朱と丁50文、請取願いたい。		原本	状	1		
4259 外340	C 1	記載なし	(申納辻)	○記載なし ●記載なし	三並村外2村5組に係わる申年貢金差引書。過納・不足分を記す。高日向・日向・一郎右衛門組・甚左衛門組・三並組を指す。		原本	状	1		
4260 外767	C 1	記載なし	(覚) (包紙あり)	○記載なし ●記載なし	西郡中入用請取、永1貫865文、笹間村下組八太郎他1名。畑高5斗9升2合、畑高5石8升8合、笹間村下組。米2斗8升6合4勺、3分の1値段。他1件。		原本	状	3		

分類:C-2 頁租一課役

4261 外685	C 2	10月14日 ・子	覚	○身成村:五郎左衛門 ●笹間村下組:松兵衛	御年貢御請1通、国役金御請取書6通。外に、雑用金としていただいた2朱の内、200文をいただき、つりの600文を返す。		原本	状	1		
4262 外437	C 2	11月10日 ・巳	覚	○嶋田御役所 ●笹間村下組	永1貫282文6分、外に永6文4分。これは、去る辰の川々国役金の請取。		原本	状	1		
4263 外389	C 2	1日 ・巳	覚	○嶋田御役所 ●伊久美村、笹間村下組・上組、(後欠)村々名主・与頭	陣屋修復入用として、笹間渡永192文3分。笹間上組1兩2分、永56文8分。下組3分、永152文6歩。去る辰12月より当巳11月までの分、来る24日までに持参のこと。拝借金取立ての通知あり。		原本	状	1		
4264 外702	C 2	9月23日・午	覚	○嶋田御役所、各村の名主 ●橋瀬村始め梅地村迄。笹間村上組・下組	高100石につき、金1兩永239文。この事につき、東海道筋の御普請国役からだされた状。各村の高並に御朱印・除地に掛り、例年通り、10月晦日までに送るよりの通状。他に午年貢の覚。金22兩、内13兩、9兩について、笹間村下組・上組に掛かる年貢初納割付の通状。		原本	状	1		
4265 外19	C 2	1月19日 ・申	覚	○伊久美村:大橋孫右衛門◎ ●名主松兵衛	陣屋の封金、儘に受取る。近日中、納めたい。御用向きは儘に勤めるので、安心願いたい。		原本	状	1		
4266 外328	C 2	10月 ・戌	覚	○駿州嶋田宿:加満堂や市郎兵衛(印) ●笹間下組:名主	国役金として、金1兩1分108文、上納の割合請取。		原本	状	1		
4267 外439	C 2	2月5日	覚	○嶋田御役所 ●笹間村下組	永1貫360文7分、去る辰年中陣屋修復入用請取。外に、去る年中修復入用請取1通。		原本	状	2		
4268 外346	C 2	4月20日	書状	○石上村:八左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	この度、御国御恩御用に差掛かり、出役は笹間渡村が勤める予定。証文と印形を送る。		原本	状	1	○	96
4269 外28	C 2	12月11日	郡中入用請取 (包紙あり)	○今川和要作手附八太郎◎、同人手代八木新平◎ ●笹間村下組	西年永578文、戌年永2貫166文、請取。		原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
4270 外554	C 2	12月22日	覚	○久左衛門 ●岡野や松兵衛	嶋田御陣屋入用金1両、550文預り。書面の通り納め、残りは差上げたので、御受取願いたい。後々不勘定あれば、紙代含め、両方兼ねて1両差上げる。		原本	状	1	○	96

分類:D-2 村制・戸口一村政

4271 外403	D 2	安永8年2月 (1779年)・亥	書状	○三井:伊右衛門 ●内名主	今日、嶋田よりの飛脚によると、今晚、それぞれ村名主方より人を遣わすように、とのこと。当村方は、明日遣わして相談申上げる。		原本	状	1		
4272 外581	D 2	安政4年2月 (1857年)・巳	廻状	○下組:横元 ●大森から栗野山まで	①一札:倉田村より一の瀬・白井山・大平山に掛かる新道切開きにつき、笹間村下組では、異議なし。②3月2日付け廻状文。上組名主八郎左衛門からの書状で、上組の言うことに承知ならば、村名下に捺印を、不承知なら不承知と記して捺印するように。横元に一任している様子。③石上村原本八左衛門から上河内村岡野谷宛の書状。		原本	綴り	1	○	96
4273 外666	D 2	12月24日 ・子	書状	○地名村:庄兵衛 ●笹間下組:名主	先日お願いした入用金、今、出金願いたい。下泉水川も出金願う。遣いの者がうかがうので、渡してほしい。		原本	状	1		
4274 外358	D 2	6月23日 ・卯	書状	○名主置村六郎左衛門 ●上河内:岡野谷松兵衛	先日、役所に赴き、去々丑年割付皆済催目録、2組分受取り、帰村。下組皆済早々に御渡しすべきところ、雨天で川深く、村継が延引となり、こちらで預かっている。ついでの際、貴方より組頭中までも遣わしお届け願いたい。		原本	状	1		
4275 外535	D 2	8月14日 ・卯	廻文	○嶋田宿:鈴屋紋十郎(印) ●鶴網村、伊久美村、身成村、笹間渡村、笹間村両組、地名村、下泉村、御役人中	嶋田陣中瀬戸平太、含役近藤十三郎の2人が御著請目録見、その外見分のため、4~5日のうちに來村する。前もって案内する。見分後、御祝儀を差上げるように。		原本	状	1	○	96
4276 外450	D 2	8月16日 ・卯	書状	○地名:名主 ●笹間村両組:名主	この廻状は、御村両組には廻らないので、下泉村から継戻し、当村から継立てる。古作様からの廻状は、御用席の節、お返し願いたい。		原本	状	1		
4277 外657	D 2	4月10日 ・未	書状	○岡村六郎左衛門 ●岡野谷松兵衛	奉行の廻村につき、宝暦10年の見分の古帳を持参して向かえよ、との嶋田役所よりの廻状が出た。山奥の名主も向かえよ、との沙汰あり。私も出迎えるので、14日までに連絡願いたい。		原本	状	1		
4278 外697	D 2	4月20日 ・未	書状 (包紙あり)	○笹間村上組:岡村六郎左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	先に御用筋組合村惣代にお勤めくださるよう、伊久美村へ、身成村へお願いしたが、よろしく取り計らいを願う。		原本	状	2		
4279 外669	D 2	9月26日 ・戌	書状	○下泉村:名主四郎左衛門 ●地名村、笹間渡村、笹間上組、同下組、伊久美村、身成村、鶴網村	来る1日、当村会席宿の十兵衛宅において、順見諸入用割金を決めるので、参会願いたい。その訳は、存外の大金が掛り、身成惣代が勤める筈だが、請兼ねるため。		原本	状	1	○	96
4280 外85	D 2	1月13日	書状	○白井組年番:名主三郎右衛門 ●笹間下組上河内:岡野谷松兵衛	今日、府中役所から廻状到来。当年は、私の村方が年番であるので、廻状は横元様へ継立差上げる。儘に請取り、廻していただきたい。		原本	状	1		
4281 外153	D 2	1月20日	(村継廻状)	○白井名主 ●上河内村:名主兼中	この度、組々の印形を整える廻状が来た。この方、外御用で府中役所に赴く。鶴網村に印形を取集めるよう連絡する。残りの組については、整えて府中送りをしていただきたい。		原本	状	1		
4282 外773	D 2	2月29日	書状	○身成村:名主 ●上河内村:名主	嶋田御陣屋御出役の増田様が、今晚、上河内村に御泊りになるとの風聞あり。喜多村様からの御用状を継ぎ送るので、もし御泊りなければ、すぐさま笹間渡へ継立願いたい。		原本	状	1		
4283 外486	D 2	3月3日	書状	○石神甚左衛門 ●上河内村:名主	嶋田陣屋に行き、職府へ出て留守なので、書状を差上げる。松兵衛以下4人は、商人。三月上旬に会合、下順に出金。下旬は、江戸よりの登せ金もあり、繰り合わせが難しい。3月10日、宗門を上納で嶋田に出かける。委細、その折に。		原本	状	1	○	96

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
4284 外636	D 2	3月3日	書状	○身成村:名主 ●上河内:名主	岡部宿出勤を明後日、5日に仰せつかっているが、お許しをたくよう、一昨年、昨年と申上げてあるが、いまだその返事がない。いずれ嶋田役所にお届けながら、各村に廻るので、当村へお出かけ願いたい。宗門人別帳も、来る10日に皆申出るよう、承知願いたい。		原本	状	1		
4285 外739	D 2	3月3日	書状	○身成村:名主 ●下組:名主	この度、奉行所より当村を初めとして、遠州の山村より長尾村までの7ヶ村宛に、案文を添えた書付が岡部から飛脚で届いた。そちらも心配と思われるので、組内で相談願いたい。		原本	状	1		
4286 外591	D 2	3月4日	書状	○身成村:五郎右衛門 ●上河内にて:七郎左衛門	紙面の赴き、承知。岡部の用向きなくなり、割付のことで嶋田行きは取りやめ。もし入用あらば、そちらで出張願いたい。		原本	状	1		
4287 外606	D 2	3月4日	書状 (包紙入り)	○身成村:名主五郎右衛門 ●上河内村:名主	岡部宿御用向きの件、割付10ヶ年分を取り調べたところ、昨年と一昨年分が未提出。御用向きのお届けに、鍋嶋作之右衛門を遣わすので、その動向を今晚中に報せるので、当村までお出かけ願いたい。		原本	状	1		
4288 外67	D 2	3月7日	書状	○身成村:名主 ●上河内村:名主	宗門納め、起返免増御用、古作様無尽につき、10日に一同出勤願いたい		原本	状	1	○	96
4289 外585	D 2	3月19日	書状	○下組:名主 ●身成村:名主	小川へ掛けあうも留守につき、明後21日、小川の甚左衛門まで出かけ願いたい。		原本	状	1		
4290 外696	D 2	5月27日	書状	○次郎右衛門 ●御帳向帳元	先日、身成村へ参会して談判。嶋田で惣代勤めた宿が焼失。評定難しく、やっと8ヶ村で見舞金を40両と決めた。不融通の村も納得して出金することになった。鶴網村2両、伊久美村2両2分、身成村7両、笹間渡2両2分、下組6両、上組6両、地名村5両、下泉村5両。		原本	状	1		
4291 外708	D 2	6月16日	書状	○石上:八左衛門 ●上河内:岡野谷松兵衛	三之茶を1本送るので、受取ってほしい。私が急に金子を取集めるので待っていただきたい。先日の割振り、儘に受取る。年貢の取立ての触れあり、組合の件はどうなったか。お知らせいただければありがたい。		原本	状	1		
4292 外686	D 2	7月25日	書状	○伊久美村:名主 ●身成村:名主	府中毒行所より廻状到来。出府日限は、私宅で御返事いただきたい。鶴網にも伝える。定免請印の件は、先日の寄合で済んでいる。御普請ヶ帳も、郷中寄合で相談、2〜3日までに差上げる。		原本	状	1		
4293 外660	D 2	8月2日	覚	○笹間渡村:名主 ●下組:名主	本紙1通、写1通、村請帳1通、儘に請取る。(未上刻)		原本	状	1		
4294 外351	D 2	8月21日	覚	○五郎右衛門 ●岡のや	3朱347文はこの度の入用。1朱120文は役人泊まりの節、家来3人へお使い物。2両2朱は出府の節、上納金として送ったが、来月15日取調の沙汰にする時に納めるように。		原本	状	1		
4295 外836	D 2	10月7日	書状	○石神:甚左衛門 ●岡野谷松兵衛	大寄合の廻文あり。当村も1人参加させるので、よろしく。		原本	状	1		
4296 外347	D 2	10月24日	書状	○小川:甚左衛門 ●上河内:松兵衛	先に身成村出合いの折、相談し、駿府郷宿まで印形を持参のこと、決めたが、一切便りが無い。身成村久左衛門へ通達してほしい。		原本	状	1	○	96
4297 外637	D 2	11月9日	口上	○身成村:名主 ●下組:名主	役所行きにつき、日限を知らなかったので、改めて12日早朝、青羽根越に御地まで伺う。		原本	状	1		
4298 外527	D 2	12月12日	書状	○植田:平左衛門 ●岡野谷	先に役所行きを14日と聞かされて承知したが、当村では小前取立ては不埒であると、揉めている。皆さんとは、滝沢で落ち合う。今晚、鶴島の作右衛門方でお祝いをするか。		原本	状	1	○	96

分類:D-3 村制・戸口一村入用

No.278

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
4299 外471	D 3	弘化2年12月 (1845年)	橋入用・寺(入用)	○記載なし ●記載なし	橋入用、寺掛り分、寺の分の割合を記す。寺掛り・建築資材、寺の分・ 椀膳等。		原 本	綴 り	1		
4300 外492	D 3	11月15日 ・丑	書状	○石上村:原本八左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	先日約束のとおり、上納金2分取替(丑11月15日)の分、来る寅5 月、お茶で出来次第に送る。		原 本	状	1		
4301 外749	D 3	2月21日	覚	○(身成会所):五郎右衛門◎ ●下組:名主	家山村分、金4両3分2朱、身成村分、金3両3分2朱。拔里村分、1両2 分2朱。通帳3冊、以上3ヶ村分。以上のとおり改め、送ってほしい。		原 本	状	1		
4302 外523	D 3	4月7日	書状	○小川:甚左衛門 ●上河内村:松兵衛	金2朱(惣代入用分)送るので、改め受納願いたい。		原 本	状	1	○	96

分類:D-4 村制・戸口一戸口

4303 外398	D 4	文化3年 (1806年)・寅	(家数人別増減改)	○記載なし ●記載なし	文化3年宗門面(内容)として、三井・高日向・日向・栗野山・上河内・大 森・西向・大平計8ヶ村のそれぞれの家数と人数、高持・無高、その他 の寺・僧に分けて記載。末尾に、惣家数95軒、人数490人、去る丑年と の増減数あり。旦那記事として、4ヶ寺の旦那数を記載。		原 本	横 振	1	○	96
4304 外91	D 4	(明治2年)11月7日 (1869年)・巳	(社寺・家数・人別調査)	○嶋田郡政役所 ●東光寺・落合村・尾川村・相賀村・神座村・輪網 村・伊久美村・身成村・笹間渡村・地名村各村々 役人	村々の内、社家・神職、寺院御朱印地・餘地の有無に係わらず、住居し ている家数、人別を調査し、洩れなく提出のこと。社家・寺院無住につ き、このことを記し、明後9日までに提出のこと。		原 本	綴 り	1		
4305 外377	D 4	9月28日 ・卯	書状	○上川内村:岡野谷松兵衛、惣右衛門、五左衛 門 ●江戸日本橋小田原町式定目中沢屋久蔵内清 五郎	9月25日の手紙拝見。五左衛門仲平次郎が15日夜、家を抜け出して駆 け落ち、貴家にご厄介になっていることの御礼。当方も国元に帰るよう すべきですが遠方故、出来かねる。来月10日、二又の西野平蔵が出府 するので、それまで世話願いたい。一色村助太夫方2人もよろしく。		原 本	状	1		
4306 外498	D 4	9月26日	書状	○市川右エ門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	先に五左衛門仲平が駆け落ちしたと聞いたが、見舞いにも上がらず、何 分にもこの処、普請の用事でご無沙汰した。そのうち、何うので、親父さ まによろしく。		原 本	状	1	○	96

分類:E-1 諸産業一農業

4307 外406	E 1	5月19日 ・卯	送状	○原村:七右衛門 ●河内村:松兵衛	「21番米1俵 伊兵衛」これを改めて請取願いたい。		原 本	状	1		
4308 外734	E 1	6月7日 ・午	書状 (包紙あり)	○石上村:岡村六郎左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	今年の夏は、麦の出来が悪く、どうもあら表1俵を貸し手ていただきた い。返済は、収穫が始まったら、必ず返す。		原 本	状	1		

分類:E-2 諸産業一小作

4309 外418	E 2	なし	無高屋敷検地之覚	○記載なし ●記載なし	一、無高惣左衛門、屋敷5間×6間、中畑三郎右衛門分。以下、5名の 記載。惣左衛門は、三郎右衛門の小作人。		原 本	状	1		
--------------	--------	----	----------	----------------	---	--	--------	---	---	--	--

分類:E-4 諸産業一林業

4310 外503	E 4	11月7日	書状	○西野平四郎 ●岡野谷松兵衛	松山見積りの依頼だが、久しく材木扱いをしていない。平七ならでき るが、駿府へ出かけたので、帰次第改めて見積りをさせる。他に先日到 来の札状。		原 本	状	2		
4311 外360	E 4	12月9日	書状	○清七 ●岡野谷松兵衛	炭拵のこと、縄俵底によりてまどっているが、柴吉を留置き、ぜひとも 炭拵えしたいので、承引願いたい。駄賃についても、承知した。		原 本	状	1		

分類:E-6 諸産業—畜産

No.279

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
4312 外39	E 6	8月27日 ・申	御触(写)	○紺屋町御役所 ●記載なし	渋江長伯飼育の綿羊は、暖地で飼育すれば国益にもつながる。飼育の者は、仕法様面を渡すので、申し出るように触れを出したが、申出る物がない。菓鴨綿羊小屋にて飼い方も詳しく伝達して渡す。毛の織り方など教われば、村益ともなる。届のない村は、御年貢初納のこと。	一部虫喰いあり	原本	状	1	○	96
4313 外41	E 6	なし	覚	○松兵衛、五左衛門、藤右衛門 ●記載なし	馬1疋 持主 松兵衛。同 持主 五左衛門。同 持主 藤右衛門。へて3疋。牛はいない。		原本	状	1		

分類:E-8 諸産業—工業

4314 外596	E 8	6月11日	書状	○原加右衛門 ●岡野谷松兵衛	鉄炮の象嵌は銀が良いが、代金が増加するので承知願いたい。出来上があれば、藤枝まで書状の提出が必要となる。見事なお茶をいただき、幸いに思う。6月中には、出来上がる。		原本	状	1		
4315 外364	E 8	12月	覚	○かじや ●上河内村:松兵衛	請取金3分2朱。このつり、332文。外に100文をまける。よって、メ432文を渡す。		原本	状	1		

分類:F-1 商業—一般

4316 外687	F 1	文政8年12月 (1825年)・乙酉	茶仕切五拾八匁割	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	5品の銘柄を記入、合計金3兩1分5釐目6厘。裏面に、船賃・蔵敷等の諸経費を記す。		原本	状	1		
4317 外628	F 1	天保6年5月 (1835年)・未	茶仕切小判五拾八匁割	○茗荷屋善五郎◎ ●岡野屋松兵衛	「上金一、桶一、へ2本。代金2兩2分、5匁2分6厘。運賃等へ11匁9分8厘。差引金2兩2分1匁1分7厘。以上、金銀渡し。		原本	状	1		
4318 外48	F 1	天保8年9月 (1837年)・酉	書状(前欠)	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	茶荷物へ26本。代金26兩22匁4分。この諸経費12兩1分13匁8分5厘。差引金14兩2分6厘。26本のうち、2品目の記載しがなく、かなりの枚数が欠落。		原本	状	1		
4319 外655	F 1	天保8年12月 (1837年)・酉	茶仕切小判五拾八匁割	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 4本(乙三、久二、乙五、乙四)へ金3兩1匁5分7厘。運賃・川崎共・蔵しき・口銭等の諸経費を差引き、へ金2兩2分13匁2分。		原本	状	1	○	96
4320 外335	F 1	天保13年4月15日 (1842年)・寅	目録覚	○恵布や惣次郎◎ ●岡谷松兵衛	金20兩、新荷内金として登らせるので、改めの上、入手されたい。		原本	状	1		
4321 外365	F 1	(天保14年)閏9月 (1843年)・癸卯	覚	○柿屋伝五郎 ●岡野谷松兵衛	天保9年より同14年まで、岡野谷家に商った品物・代金を記す。小豆・柿・麦・駄賃・からし・新米・もち米等。		原本	状	1		
4322 外770	F 1	嘉永1年9月 (1848年)・戊申	茶仕切之事 (小判六拾匁之割) (包紙あり)	○伊勢町:中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) 、藤枝宿三度屋重兵衛經由 ●岡野谷松兵衛	23口43本のお茶、金59兩7匁4分6厘。諸経費を差引き、55兩4匁3分6厘。9口、金9兩2分7匁1分。諸経費を差引き、合計8兩3分6匁2分2厘。仕切りして登らせるので、間違ひなく請取願いたい。		原本	状	1		
4323 外123	F 1	嘉永7年1月 (1854年)・寅	現金酒御通	○酒屋次郎助 ●上河内村:岡野谷松兵衛	1月より12月までの酒納入の通帳。へ6貫611文。為金1兩111文。儲に受取る(各月の小へと数量・使いの者の名を記す)。	丁数11枚	原本	横半帳	1		
4324 外424	F 1	安政1年1月吉日 (1854年)・卯(寅)	現金酒御通	○酒屋次郎助 ●岡野谷松兵衛	1月14日より12月までの酒小口売り。金1兩1朱2分226文請取。		原本	横半帳	1		
4325 外600	F 1	嘉永7年3月12日 (1854年)・甲寅	覚	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野や松兵衛	金15兩、今般新茶前金として登らせた。改めて入帳を願う。		原本	状	1		
4326 外610	F 1	(安政1年)閏7月2日 (1854年)	書状	○中村三郎左衛門◎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	荷持が無事入津。別紙請取を登らせる。着いたら引合を願う。今後とも多分に送付してほしい。仕切りは、出精するので、御支配を願う。		原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
4327 外263	F 1	(安政1年)11月21日 (1854年)	書状	○小田原や兆兵衛・宗兵衛 ●岡野谷松兵衛御家内中	秋子送付の礼。10月17日、市十船より1本水上げ。このこと、去る秋、申上げるべき所、当月上旬、大地震のため飛脚出ず、差し控えていたが、この度、伊久美二又の福井久左衛門出府につき、この書状と金3両1分、内金として届ける。秋子高値の物、送付を願う。		原 本	状	1	○	96
4328 外712	F 1	1月12日 ・子	柿仕切覚	○柿屋伝五郎 ●岡野谷松兵衛	16品種ノ350把(1両に88把かへ)代。5品種ノ35把(1両に120把かへ)代。4品種ノ97把(1両に100把かへ)代。8品種ノ175把(1両に72把かへ)代。仕切り値段調べ、差上げ。		原 本	状	1		
4329 外160	F 1	1月12日 ・子	書状	○藤枝:柿屋伝五郎(取次店) ●岡野谷松兵衛	賀詞を述べる。江戸長崎瀬兵衛の金子を憐れな人に書封とともに持参させる。当地より憐れな人を遣わしてほしい。		原 本	状	1		
4330 外720	F 1	1月17日 ・子	書状	○石上村:次郎左衛門 ●上河内村:松兵衛	春子返済につき、金子1両2朱、借用願いたい。春子で必ず元利とも返金する。		原 本	状	1		
4331 外232	F 1	3月21日 ・子	覚	○岡野谷松兵衛 ●山口屋庄五郎	子3月12日出、同21日入。金25両。小川使嘉右衛門。富田利兵衛より儘に受け取る。		原 本	状	1		
4332 外130	F 1	4月12日	書状	○岡野谷松兵衛印、松五郎、松助 ●大橋多郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間)、永蔵、藤七	例年のとおり、茶荷物を津出ししたが、1番船積送れ、2番船にて積立てするので、売り方よろしく。去る夏送付の柿荷物の仕切りを伺う。		原 本	状	1		
4333 外181	F 1	4月13日	書状	○抜里村:白瀧長太夫@ ●上河内:岡野谷松兵衛	去る夏茶仕入金借用のお礼と当年20両借用を願う。また、次郎右衛門隠居も仕入金3両借用願う。		原 本	状	1		
4334 外519	F 1	4月19日	覚	○藤枝:柿屋傳五郎 ●上河内:岡野谷松兵衛	柿屋傳五郎焦点と岡野谷家との諸品物の取引。9月30日から4月1日までの取引金額計10両と6貫644文。惣差引き317文の「かし」。		原 本	状	1		
4335 外507	F 1	6月19日 ・子	書状	○板谷与兵衛、彦兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	新茶荷物送付のお礼。高値買取で売捌くので、相変わらず積送り願いたい。		原 本	状	1		
4336 外781	F 1	7月8日 ・子	書状	○竹嶋村:茂兵衛 ●上河内:岡野谷松兵衛	使いをもって茶1本送付。見せ茶1本半、値段次第で貴所に送付したいので、値段を報せてほしい。		原 本	状	1		
4337 外70	F 1	2月18日 ・丑	書状 (包紙あり)	○板屋与兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、彦兵衛 ●岡の谷松兵衛	新茶出来次第、大走りから沢山積送り願いたい。古茶もよく売れる。金子も早速送る。		原 本	状	1		
4338 外219	F 1	12月月15日 ・丑	覚	○二又:伊壁谷藤太夫 ●上河内村:岡野谷松兵衛	大豆8斗の代金1両1分。上紙1ノ1貫60文。ノ金1両1分2朱と260文。金1両2分請取。つり536文の勘定。		原 本	状	1		
4339 外210	F 1	3月14日 ・寅	書状 (包紙あり)	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、彦兵衛 ●岡の谷松兵衛	新茶出来次第送付願いたい。何品によらず、精々値の引上げをするよう依頼されたので、承知した。仕入れも格好に買取るので、多分に送付されたい。なお、これまでの分引の件、受取らないので承知されたい。		原 本	状	1	○	96
4340 外766	F 1	4月29日 ・寅	覚	○中村三郎右衛門 ●岡野屋松兵衛	金15両、新茶内金として送付。		原 本	状	1		
4341 外642	F 1	5月15日	書状	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、彦平 ●岡野谷松兵衛	茶荷物の積送りに感謝。頭物類の捌けがよく、荷物が少なくなるので、多分に振り向けてほしい。多少、共利分になるように思っている。金子も見計らって送らせる。		原 本	状	1		
4342 外376	F 1	7月 ・寅	御荷物受取覚	○吉川屋五右衛門 ●平口五郎右衛門	各茶問屋向けの荷物取扱いの覚。計2貫310文。		原 本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
4343 外290	F 1	閏7月8日・寅	書状	○岡野谷松兵衛 ●小川:石神甚左衛門	茶荷主の寄合に、親父の不出来で悴を遣わす。妻の無心に早速手配、お礼と金1両を倉松に持たせたので、入帳願いたい。		原本	状	1		
4344 外442	F 1	10月4日 ・寅	送付状	○徳田屋甚四郎 ●岡野屋松兵衛	「上印の椎茸1本1両。小田原屋長兵衛より積入出帆の報せ。		原本	状	1		
4345 外484	F 1	12月30日 ・寅	覚 (包紙あり)	○榎田 ●岡野谷	上紙1、荷筵86枚。藤枝米や勘定。外諸品書上げ。付暮しあれば、書出し願う。		原本	状	1		
4346 外741	F 1	1月 ・卯	仕切小判五拾八目割	○住吉屋利三郎 ●岡野谷松兵衛	お茶4本代、3両1分ト1匁3厘。運賃等差引きで金2両3分ト11匁4厘。3両内金。		原本	状	1		
4347 外374	F 1	2月16日 ・卯	覚	○嶋田新田町:米屋平吉 ●上河内:岡野谷松兵衛	あら麦5斗俵、10俵受注。3両預り。		原本	状	1		
4348 外259	F 1	5月 ・卯	茶仕切之事 小判六拾匁之割	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	7本の茶銘柄と代金の記載。合計9両余、諸経費を差引き、代金8両2分9匁とある。仕切りを認め、金銀を登らせる。		原本	状	1		
4349 外201	F 1	6月2日 ・卯	書状	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間)、庄吉 ●岡野谷松兵衛	茶荷物送付のお礼。金子は飛脚にて差し登らせた。跡荷物も多分に送付願いたい、覚、金30両。		原本	状	1		
4350 外534	F 1	夏 ・卯	卯夏売渡候値段仕訳	○記載なし ●記載なし	製茶仕切り、その他請取諸品扣。茶銘柄を記し、本数・値段を示す。合計金22両2朱と151文。		原本	横帳	1	○	96
4351 外626	F 1	11月7日 ・卯	覚	○松兵衛 ●村:由右衛門	生茶26貫200目、450匁かえ。代5貫822文外1口。生33貫100目、代7貫206文。この金1両ト706文。この内、吞茶渡2朱ト203文を差引き、金1分4朱ト150文渡し。		原本	綴り	1		
4352 外99	F 1	3月24日 ・辰	覚	○瀬沢村:瀬左衛門 ●上河内村:松兵衛	利金1両1分、儘に受取る。		原本	状	1		
4353 外594	F 1	8月27日 ・辰	覚	○伊久美:西野平藏@ ●上河内:岡野谷松兵衛	西野と岡野谷との間の商品売買の覚。酒・醤油等の日用品を記載。一部、商品名不詳。		原本	状	1		
4354 外301	F 1	11月1日 ・辰	書状 (包紙入り)	○勝山周助 ●上河内:岡野谷松兵衛	先に急に江戸表に用件を伝えずに出府、経過したことへの誤り。用件は、「○印の前金掛合いのことで、茶問屋との交渉の様子を伝える。		原本	状	1		
4355 外731	F 1	11月 ・辰	覚	○藤枝上伝馬町:奥屋仁左衛門 ●上河内:松兵衛	6月から9月迄の、米・あら麦などの売買明細。ノて金26両ト555文。		原本	状	1		
4356 外452	F 1	3月1日 ・巳	覚	○山本屋孫左衛門@ ●岡野谷松兵衛	反物及び手間代。ノ82反と金1両1分2朱340文、内金1両。		原本	状	1		
4357 外233	F 1	3月6日・巳	受渡書	○長崎瀬兵衛 ●岡ノ谷松兵衛	金30両、前金。		原本	状	1		
4358 外857	F 1	3月20日 ・巳	書状 (包紙あり)	○勝山周助 ●岡野谷松助	問屋衆中地代、当月16日、早便で藤枝宿かぎ屋又助まで金50両、また、例年通り、若荷屋依頼の金20両を差し登らせる。他に、西村新次郎からの金子承るとの報せ。		原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
4359 外510	F 1	4月8日・巳	覚	○上 ●兼次郎	4月4日分、椎茸8斗。代金1両1分2朱ト357文渡し。使おさと		原 本	状	1		
4360 外25	F 1	12月26日 ・午	覚	○藤枝: 健屋又助 ●岡の谷松兵衛	已12月2日200文。状1通、大橋行き。午10月18日、200文。状1通、 同人行き。		原 本	状	1	○	96
4361 外526	F 1	12月 ・午	覚	○三度屋十兵衛 ●上河内: 松兵衛	早状の通信費。江戸行き、4通。800文の請求。		原 本	状	1	○	96
4362 外575	F 1	2月12日 ・未	し切	○小田原屋長兵衛 ●岡野谷松兵衛	「上印 椎茸6銘柄、ノ1貫ト430匁9分5厘(銀)。諸経費、ノ16両2分 ト133匁3分3厘。差引、ノ500両2朱ト2厘。相違なく登らせる。		原 本	状	1		
4363 外388	F 1	6月2日 ・未	覚	○中村三郎右衛門(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	金10両、内金。飛脚賃1匁1分。金子改めの上、受取り願う。		原 本	状	1		
4364 外39	F 1	3月12日 ・申	覚	○保福: 志まや平七◎ ●松兵衛	「ちりめん表」等の掛売り金、ノ2両6厘。儘に受取る。		原 本	状	1		
4365 外704	F 1	7月1日 ・申	書状	○板屋与平衛(衛小戸茶問屋20軒仲間)、外1 ●岡野屋松兵衛	荷物が到着。荷受明細は別便で送る。後荷物もよろしく。		原 本	状	1		
4366 外667	F 1	9月 ・申	仕切	○多吉 ●岡の谷松兵衛	午・未・申3ヶ年の、こも、こも掛け、小川出し等、茶畑管理費用の明細。		原 本	状	1		
4367 外595	F 1	11月18日 ・申	覚	○伊久美: 西野利兵衛◎ ●岡野谷松兵衛	一、豆腐54丁、代金1貫248文。一、揚とうふ100枚、代金416文。一、 油5合、代金200文。ノ1貫864文。儘に受取る。		原 本	状	1		
4368 外701	F 1	11月24日 ・申	覚	○平岡屋東平 ●岡並谷松兵衛	藤枝の雑貨商平岡屋から各種品物を仕入れ。白布、色紙、吉野紙、水 引、膳、筵、仏懸、ろうそく、上敷等、計13貫200文。		原 本	状	1		
4369 外42	F 1	4月8日 ・酉	覚	○藤枝宿: 十兵衛◎ ●明生院知元	渋紙巻一つ、儘に請取る。		原 本	状	1		
4370 外444	F 1	5月27日 ・酉	書状	○西のや幸藏 ●岡野谷松兵衛	長楽寺縫蔵の世話で米25俵差上げる取決めのところ、差金2両受取 り。残金、4月5、6日に20両受取り。2分余不足により、当月中に持参 願いたい。		原 本	状	1		
4371 外765	F 1	12月25日 ・酉	覚	○山口屋庄五郎印 ●岡野谷松兵衛	米代金請取。残金1分ト610文。		原 本	状	1		
4372 外834	F 1	12月25日 ・酉	覚	○柿屋傳五郎 ●上河内村: 松兵衛	一、申12月10日より酉1月11日まで、198把、代金2両3分。一、麦、5 月25日より6月22日まで、20俵、代金4両1分ト35文。惣差引残り、ノ 金2朱ト723文かし。		原 本	状	1		
4373 外458	F 1	10月24日 ・戌	書状	○中山: 下田惣吉 ●上河内: 岡谷松兵衛	杉山代金2両、預り置く。相違なく11月30日までは指出す。		原 本	状	1		
4374 外34	F 1	11月25日 ・戌	覚	○駿藤枝河原町: 七右衛門 ●川内村: 松兵衛	4月26日、種米4斗入れ、使い伊兵衛。6月6日、米1俵、八郎右衛門。 6月8日、米1俵、善左衛門。以下、7月11日までの代金2両2朱ト1貫3 2文。内金2両2朱876文、請取。金2分ト152文不足。	上分、全体破損	原 本	状	1		
4375 外675	F 1	12月24日 ・戌	覚	○京屋弥助◎ ●奎兵衛	10月25日から29日、5人。11月1日から晦日、30人。12月1日から24 日、24人。59人の日当、お供衆代金3貫300文。ノ金2分ト118匁。		原 本	状	1		
4376 外267	F 1	1月13日 ・亥	書状	○柿屋傳五郎 ●岡野谷松兵衛	新春の挨拶。二啓として、初荷送りのお礼と値段。金1分に付き、18匁 の相場。		原 本	状	1		
4377 外261	F 1	2月6日 ・亥	書状	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、武助 外1 ●岡野屋松兵衛	茶荷物仕切、金銀共皆済の報せ。当年も荷物の支配仰せ付けられた い。		原 本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	取 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
4378 外321	F 1	2月22日 ・亥	書状	○岡野谷松兵衛、松五郎、松輔 ●大橋多郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間)、永藤、藤七	西野平四郎は、この春、宇治製の茶を仕立てる予定。その仕入金の都合がつかず、不自由している。私を頼み、50両、茶仕立の時、50両を借用したいとの添え状あり。私も入魂なので、貸したので安心された。		原本	状	1		
4379 外283	F 1	3月1日 ・亥	書状	○石上村:次郎左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	金2朱と米2朱分を貸し渡してほしい。これは、茶食米の無心に当る分、承知願いたい。		原本	状	1		
4380 外616	F 1	3月6日 ・亥	書状	○岡野谷松兵衛、松五郎 ●住吉屋利三郎支配方(江戸茶問屋20軒仲間)	先の「本一印」の外の茶代金、去秋29兩入れ間違いのこと。下伝馬健屋、9月晦日に受取り、10月7日に下田惣吉方に渡すはずのところ、未だ私方へは入らず困っている。仕方なく下田方より年賦5~6年で払うことにしている。このこと、羽倉外記役所へ願出、吟味となり、答人も出ようが、勘弁願いたい。		原本	状	1		
4381 外592	F 1	3月25日 ・亥	覚	○平岡屋東平 ●河内村:岡野谷松兵衛	水引外9件、ノ14兩2分ト1兩744文。この金2分16文の受取り。		原本	状	1		
4382 外567	F 1	4月 ・亥	積附	○市右衛門@ ●岡野谷松兵衛	江戸茶問屋長崎屋瀬兵衛、住吉屋利三郎、大橋太郎治郎、長勝瀬三郎、計4名に係わる茶ノ60本の積出し。	虫損あり	原本	状	1		
4383 外680	F 1	5月1日 ・亥	覚	○(焼津湊):松郷惣五郎 ●記載なし	「上印茶2本、江戸の住吉屋利三郎に向けて相違なく出帆。		原本	状	1		
4384 外145	F 1	6月9日 ・亥	書状	○ぬくり:甚三郎 ●上河内村:御苗松兵衛	毎年、茶荷物預りの世話になっていることへのお礼。内金1両の請取覚。		原本	状	1		
4385 外688	F 1	6月9日 ・亥	積付覚	○(焼津湊):松郷惣五郎@ ●記載なし	大橋太郎次郎分「上印茶2本、相違なく出帆。		原本	状	1		
4386 外29	F 1	閏6月15日 ・亥	送状	○(久瀧下郷):原七右衛門 ●河内村:松兵衛	4番米1俵、瀧沢の瀬兵衛殿。この通り改めて請取願いたい。この米は、先に掘之内与市が持ち出したもの。差合いに付き延引。御容赦願いたい。		原本	状	1		
4387 外195	F 1	7月15日 ・亥	書状	○上河内:岡野谷松兵衛 ●原村:滝下七右衛門	別家の五左衛門の持山杉木を貴方へ仕入れの由、瀧沢の孫右衛門と次助が来て、私も立会い、山代金16兩3分で売った。手付金として、2分請取り、又、使者の周蔵から5兩請取り、合計5兩2分、入帳した。		原本	状	1		
4388 外718	F 1	7月25日 ・亥	覚	○長井利兵衛@ (江戸茶問屋20軒仲間) ●岡のや松兵衛	「上印茶1本、徳田屋仁右衛門船で入津した。		原本	状	1		
4389 外168	F 1	9月16日 ・亥	目録覚	○南新堀老丁目:住吉屋利三郎@ ●岡野屋松兵衛	金33兩2分、仕切金。3月6日、金20兩(内金)かし。ノ13兩2分、銭274文。差引き無出入相済。		原本	状	1		
4390 外612	F 1	12月25日 ・亥	覚	○原村:七右衛門@ ●川内:松兵衛	一、992文、亥7目差引残。一、米1俵4斗入れ、代金1分544文。一、250文、駄賃取替え。ノ金1分と1貫788文。請取。		原本	状	1		
4391 外623	F 1	12月 ・亥	覚	○藤枝:飛脚取次三度屋 ●上河内:岡野谷松兵衛	早・中早状、並便。ノ1ノ64文。請取。		原本	状	1		
4392 外733	F 1	12月 ・亥	覚	○藤枝:米屋半左衛門@ ●岡野谷松兵衛	年末の12月23、25日に米半から仕入れた品物18品の名と代金を記載。特に布製品が多い。裕・足袋・前掛・小倉帯・羽織・白布等。合計4兩1分2朱と401文。		原本	状	1		
4393 外738	F 1	7月29日 ・壬	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、彦兵衛、芳兵衛 ●岡のや松兵衛	積送りの荷物、無事入津。帳面への引き合わせを願う。跡々の荷物も出精、戻山積入願いたい。		原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
4394 外431	F 1	1月2日	書状	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、武助、幸兵衛 ●岡野屋松兵衛参人	年始の挨拶。茶荷物、賑々しく積送り願いたい。		原本	状	1		
4395 外432	F 1	1月2日	書状	○山本嘉平(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	年始の挨拶。		原本	状	1		
4396 外434	F 1	1月2日	書状 (包紙あり)	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)他2名 ●岡野谷松兵衛	年始の挨拶。		原本	状	1		
4397 外456	F 1	1月2日	書状 (包紙あり)	○上伝馬町:西村新次郎 ●岡野屋松兵衛	年始の挨拶。		原本	状	1		
4398 外465	F 1	1月2日	書状	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、重兵衛、忠兵衛 ●岡野谷松兵衛	年始の挨拶。		原本	状	1		
4399 外504	F 1	1月2日	書状	○大伝馬町:西村新次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●駿州藤枝在上河内:岡野屋松兵衛	年始の挨拶。		原本	状	1		
4400 外745	F 1	1月2日	書状	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、金兵衛、忠兵衛 ●岡野屋松兵衛	年始の挨拶。		原本	状	1		
4401 外156	F 1	1月4日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、文蔵 ●岡野屋松兵衛	年始の挨拶。		原本	横帳	1	○	96
4402 外161	F 1	1月4日	書状	○長井利兵衛 ●岡野屋松兵衛	年始の挨拶。		原本	綴り	1		
4403 外350	F 1	1月4日	書状	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)、外2 ●岡野谷松兵衛	年始の挨拶。		原本	状	1		
4404 外354	F 1	1月4日	書状(包紙あり)	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	年始の挨拶。		原本	状	1		
4405 外361	F 1	1月4日	書状	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)、又兵衛、市助 ●岡野屋松兵衛	年始の挨拶。囲荷物、初船より追々多分に積送り願いたい。		原本	状	1		
4406 外430	F 1	1月4日	書状 (包紙あり)	○板屋与兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	年始の挨拶。		原本	状	1		
4407 外514	F 1	1月4日	書状	○中村三郎右衛門(江戸茶問屋20軒仲間) ●上川内村:岡野屋松兵衛	年始の挨拶。		原本	状	1		
4408 外524	F 1	1月4日	書状 (包紙あり)	○伊勢屋傳兵衛印 ●岡野谷松兵衛	年始の挨拶。		原本	状	1		
4409 外272	F 1	1月5日	書状 (包紙あり)	○住吉屋利三郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	年始の挨拶。		原本	状	1		
4410 外369	F 1	1月5日	書状 (包紙あり)	○いせや六右衛門 ●岡野谷松兵衛	年始の挨拶。		原本	状	1		
4411 外59	F 1	1月6日	書状	○長崎瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、外2名 ●岡の谷松兵衛	年始の挨拶。		原本	状	1		
4412 外107	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○長崎屋瀬兵衛、外2名 ●岡野谷松兵衛	年始の挨拶。		原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
4413 外117	F 1	1月6日	書状	○大橋多郎治郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●遠州桐山村:三浦清次郎	年始の挨拶。		原 本	状	1		
4414 外249	F 1	1月6日	書状	○山本嘉兵衛(衛小戸茶問屋20件仲間)、武助、 幸兵衛、勘兵衛 ●岡野谷松兵衛	茶荷物仕切書、金銀共皆済。跡荷物沢山積送り願いたい。		原 本	状	1		
4415 外427	F 1	1月6日	書状	○恵市や宗治郎(江戸より) ●岡野谷松兵衛	年始の挨拶。		原 本	状	1		
4416 外428	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○小田原や長兵衛 ●駿州上河内:岡野谷松兵衛	年始の挨拶。		原 本	状	1		
4417 外521	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○堀留町:長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●上川内:岡野谷松兵衛	年始の挨拶。茶荷物積送りの願。		原 本	状	1		
4418 外525	F 1	1月6日	書状	○長崎屋瀬兵衛(印)(江戸茶問屋20軒仲間)、平 助、平七 ●岡野谷松兵衛	年始の挨拶。長崎屋は、醤油も商う。		原 本	状	1		
4419 外532	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○板屋与平衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●上河内:岡野屋松兵衛	年始の挨拶。		原 本	状	1		
4420 外548	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	年始の挨拶。		原 本	状	1		
4421 外602	F 1	1月6日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、外3名 ●岡野谷松兵衛	茶荷物送付のお礼。別紙により仕切り送付。今後とも多分の荷物積送り 願いたい。		原 本	状	1		
4422 外736	F 1	1月6日	書状	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	年始の挨拶。		原 本	状	1		
4423 外751	F 1	1月10日	書状	○岡野谷松兵衛、外1名 ●大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間)	送荷茶の内、伊久美村市兵衛の手茶の値段折り合いつかず。品物紛 れていないか、見分したいので、困り置き願いたい。春上京の上、見分 する。		原 本	状	1		
4424 外135	F 1	1月12日	書状	○茗荷屋善五郎(市助、金蔵) ●岡野屋松兵衛	困いの茶荷物、積立て願う。当地の十組問屋の株式は、一同指止めと なった。しかし、茶売商は、これまでどおり商売できるので、予約積送り 願いたい。		原 本	状	1	○	96
4425 外454	F 1	1月12日	書状	○富田利兵衛 ●岡の谷松兵衛	昨年積送りの茶荷物仕切りを送るので、引き合わせ願いたい。時節柄、 具合はどうか。荷物多量に持っているなら、相変わらずの取引願う。		原 本	状	1		
4426 外646	F 1	1月14日	書状	○板屋奥兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、彦兵衛 ●岡の谷松兵衛参人中	去年未積送りの荷物、売捌いたので、その分の仕切書を送付する。利 益の事が心配。荷物も沢山積送り願う。	破損あり	原 本	状	1		
4427 外783	F 1	1月14日	書状	○みょうがや善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)、外2 名 ●岡野谷松兵衛	年始の挨拶。		原 本	状	1		
4428 外114	F 1	1月17日	書状	○富田利兵衛、庄兵衛、弥七 ●岡の谷松兵衛	昨年の仕切り、未だに届かぬとのことで驚いている。10月6日、金11両 を添えて三度屋重兵衛方へ間違いない指し送った。取調願う。当地の 飛脚も調べる。よろしく吟味のほどを。		原 本	状	1	○	96
4429 外536	F 1	1月17日	書状 (包紙あり)	○西の平蔵 ●岡の谷且那	茶一件のことと思われる。上長尾村と相談の上、出府を引請けたが、こ の日から民蔵他1名が病氣再発。出府不可能となった。両者の様子次 第で私が出向くことにしたい。		原 本	状	1	○	96
4430 外51	F 1	1月22日	書状	○長崎屋瀬兵衛、善兵衛、善助 ●岡の谷松兵衛	旧冬の茶代金を延引。茶の売行きが難しい。不景気故、働いても引き 合うほどの入金を得られず、心配。理解いただき、当年も是非最速に積 送り願う。		原 本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()-干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
4431 外166	F 1	1月22日	書状	○長崎屋瀬兵衛、忠兵衛、正兵衛 ●岡野屋松兵衛	当年新茶、これまで順調に芽吹き、早速摘みかかりになると推察する。相変わらず積送り願う。走り荷物、出来次第積送りを願う。		原本	状	1		
4432 外240	F 1	1月22日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、文蔵 ●岡ノ谷松兵衛	去る秋中より積送りの茶荷物、無事、入津。売払い分の仕切りを認めたので、帳面に引合せを願う。当年もよろしく願う。		原本	状	1		
4433 外128	F 1	1月24日	書状	○茗荷屋善五郎◎、市助、金蔵 ●岡野谷松兵衛	荷物の仕切りを送付したので、改めを願う。出精するが、引合はどうか。相場は、引立てが合わず、格別下落。このこと、お含みの上、積送り願いたい。		原本	状	1		
4434 外459	F 1	1月26日	書状	○長井利兵衛、文蔵、彦兵衛 ●岡野谷松兵衛	新茶の積送りへのお礼。後々の荷物も多分に送付願いたい。		原本	状	1		
4435 外36	F 1	2月2日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、彦兵衛、芳兵衛 ●岡ノ谷松兵衛	新茶を賑々しく積送り、支配仰せ付け願う。水揚げの時も油断なく掛け引きし、売捌くので、よろしく。古茶も、なるべく見合って買取る。		原本	状	1		
4436 外677	F 1	2月4日	書状	○板屋與兵衛 ●岡野屋松兵衛、彦兵衛	新茶の季節となり、上新茶出来次第、沢山積送り願いたい。今年は、格別に面白い値立てに勤めるので、是非、当方に沢山振り分けてほしい。		原本	状	1		
4437 外677	F 1	2月6日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、外2名 ●岡ノ谷松兵衛	新茶の季節を迎え、摘取り次第、荷物を早船で積み送り願いたい。入津したならば、油断なく掛けあい、売捌いて金子指し登らせる。		原本	状	1		
4438 外425	F 1	2月10日	書状	○築地村:清七 ●上河内村:岡野谷松兵衛	椎茸木のこと、佐兵衛方へ行ったところ、時節柄、難しい由。当方、一向に不案内故、佐兵衛へ篇と相談したい。		原本	状	1		
4439 外108	F 1	2月12日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、彦兵衛 ●岡野谷松兵衛	昨秋中より積送りの荷物、無事入津分に着き、仕切書送付するので、帳面ト引き合わせ願う。仕切り表のこと、御地高値に当方不信に思い、引合もどうかと心配。以後、多分に利益が出るようにと勤めるので、相変わらず積送を願う。		原本	状	1		
4440 外488	F 1	2月12日	書状	○茗荷屋善五郎◎(江戸茶問屋20軒仲間)、市助 ●岡野谷松兵衛	又兵衛の退役と市助の就任の報せ。荷物も多分に積送り願う。		原本	状	1		
4441 外551	F 1	2月12日	書状	○柿屋傳五郎 ●岡野谷松兵衛	切米を差上げたが、峠平左衛門が見えなかった。駄賃も尾山まで200文の予定。糯米も急に指し登らせた。三切米ものぼらせるので、承知願いたい。		原本	状	1		
4442 外80	F 1	2月16日	書状	○中条源兵衛 ●岡野谷松兵衛	過日の事柄を謝し、新茶の多分の積送りを願う。出精して丹精に売捌く。		原本	状	1		
4443 外216	F 1	2月16日	書状	○住吉屋利三郎、弥兵衛、吉兵衛 ●岡野谷松兵衛	茶荷物の積送りについて、仕切書を送付するので、引き合わせ願う。計算違いがあれば、報せてほしい。多少とも利益があれば大慶である。		原本	状	1		
4444 外241	F 1	2月16日	書状	○中村三郎右衛門(江戸茶問屋20軒仲間)、永麻、庄八 ●岡野弥松兵衛	佐吉は病身に付き、永々暇をとらせた。跡役に柴蔵が勤めるので、引立てを願う。		原本	状	1		
4445 外558	F 1	2月16日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、外2名 ●岡ノ谷松兵衛	一、覚 金1両3分。仕切金。一、御地仕入値が高く、引合でどの程度を望んでいるか、心配。後荷物の送付もよろしく。		原本	状	1		
4446 外647	F 1	2月16日	書状	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、忠蔵、忠兵衛、正兵衛 ●岡野屋松兵衛	正兵衛、この度、無事退役。荷物、多分に積送り願いたい。		原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
4447 外15	F 1	2月19日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、徳藏、久次郎 ●岡野谷松兵衛	当年の新茶、寒気により心配。これより暖気増すので、摘取り出来次第、大走りから多分に送付願いたい。		原本	状	1		
4448 外73	F 1	2月19日	書状 (包紙あり)	○北新堀町:小川善四郎 ●岡野谷松兵衛	当店は、小売第一の店。お茶よろしき品、沢山仕入れる。1本だけでも手配願う。仕切りは、なるたけ働き、金子も荷物入津次第送金するので、新茶を是非送付願いたい。		原本	状	1		
4449 外756	F 1	2月19日	書状	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)、徳兵衛、平兵衛 ●岡野屋松兵衛	伊八から私善五郎が跡を継いだので、よろしく。茶相場もよく捌けるので、多分に積送り願う。油断なく出精する。		原本	状	1		
4450 外645	F 1	2月20日	書状	○二又:立用人西の民藏 ●上河内村:岡野谷松兵衛	中条瀬兵衛の長崎屋代人が私の宿泊先に来た。今日、平口が泊に来るので、荷物持を携えて平口まで来てほしい。		原本	状	1		
4451 外508	F 1	2月21日	書状 (包紙あり)	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間)、政兵衛 ●岡野谷松兵衛	昨年中、積送りの荷物、出精して売口分を仕切り、目録に認めた。指し登らせるので、帳面に引き合わせてほしい。		原本	状	1		
4452 外550	F 1	2月21日	書状 (包紙あり)	○西野平藏 ●岡野谷松兵衛	先の願いへのお礼。道具につき、亀藏を遣わしたが、思いの外、高値で6両1分の手持ちがなく、困った。		原本	状	1		
4453 外331	F 1	2月22日	書状	○住吉屋利三郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	積送り荷物の仕切書を差上げるので、引き合わせ願う。間違えあらば、早速申し付け願いたい。利益あれば嬉しい。後の荷物も沢山送付してほしい。		原本	状	1		
4454 外154	F 1	2月24日	書状	○中村三郎右衛門、佐吉、栄藏 ●岡野谷松兵衛	御地新茶も見事に出来ることと推察。1番船で上・中・下とも多分に積入れ、送ってほしい。仕切りも格別に出精するので、御景展野ほど。		原本	状	1		
4455 外285	F 1	2月24日	書状	○中山:下 惣吉 ●上河内:岡の谷松兵衛	先に話した大麦の種を買入れ入れた。入用なら、お買い求めいただければ、送る。大急ぎにて、金子も入用もなければ、返事をほしい。		原本	状	1		
4456 外307	F 1	2月24日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、重兵衛、久兵衛 ●岡の谷松兵衛	荷物入津により、別紙の通り印付して差上げるので、帳面と引き合わせてほしい。油断なく売捌く。新茶も多分に当店に振り向けてほしい。		原本	状	1		
4457 外291	F 1	2月26日	書状 (包紙入り)	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、文藏、彦兵衛 ●岡野弥松兵衛	新茶出来次第、積送り願う。入津のおり、出精して売捌く。当所相場、新茶は格別で面白い値段が付く。金子は、積方の案内あり次第、送る。		原本	状	1		
4458 外501	F 1	2月26日	書状	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)、外2名 ●岡野谷松兵衛	新茶の件、当地のお茶は売り終わったので、積送り願いたい。大走一花三品。		原本	状	1		
4459 外775	F 1	2月26日	書状	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)、安兵衛、太助 ●岡野屋松兵衛	お茶積送りへのお礼。今後も引き続き積送りを願う。	虫損あり	原本	状	1		
4460 外97	F 1	2月28日	書状	○中村二郎右衛門、栄藏、庄八 ●岡野谷松兵衛	新茶の出来を期待。大走りを1番船で、上・中・下共に積み入れてほしい。仕切りも油断なく売捌くので、沢山振り向けてほしい。		原本	状	1		
4461 外63	F 1	2月29日	書状	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、文藏 ●岡野谷松兵衛	新茶の出来を期待。古茶も相応に売れている。新茶出来次第、積送り願う。金子も早速おくるので、安心を。		原本	状	1		
4462 外517	F 1	2月晦日	書状	○植田為八 ●岡のや松兵衛	衣装荷物の件で、大水・雨天で大変延引、明日中に私方に来ると思う。当方に雇人がないので、荷急ぎの時は当方まで1人よこしてほしい。		原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
4463 外758	F 1	2月晦日	覚	○藤枝宿:惣次郎 ●上	料理献立材料、計4両ト156文、請取。		原 本	状	1		
4464 外188	F 1	3月2日	書状 (包紙あり)	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛、駿州藤枝:三度屋重兵衛	新茶の出来を期待。荷物は、出来次第、格別到大走りから積入れてほしい。入津の折は、なるべく上値段で仕切る。古茶は、売払って今所持なし。新茶は格別なので、取引も一段と面白い。沢山積入れを願う。		原 本	状	1		
4465 外673	F 1	3月2日	書状	○川口:十兵衛、忠兵衛 ●岡野谷松兵衛	椎茸2本の内金5両を飛脚で送ったので、請取ってほしい。なお、御用荷物もあれば、早々積送り願う。値段はなるべく出精する。		原 本	状	1		
4466 外748	F 1	3月2日	書状	○日本橋:山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、 孝兵衛、甚兵衛 ●駿州川根上河内村:岡野屋松兵衛	新茶の出来を期待。摘取りの季節となれば、大走りから積送り願う。油断なく売捌く。		原 本	状	1		
4467 外784	F 1	3月2日	書状 (包紙あり)	○西村新次郎 ●岡野谷松兵衛	新茶荷物の支配を仰せつかり、ありがたい。書状の件、承知したので、荷持を送付願いたい。		原 本	状	1		
4468 外856	F 1	3月2日	書状 (包紙入り)	○下泉村:勝山利兵衛 ●上河内村:岡野谷松兵衛	金5両、利足を入れて差上げる。	汚れ、虫損あり	原 本	状	1		
4469 外375	F 1	3月4日	書状 (包紙あり)	○大伝馬町:西村新次郎、伝兵衛 ●岡野谷松兵衛	新茶、大走利より積入れを願いたい。上値段引き立てるよう、努力する。仕切りも油断なく取仕切るので、積方よろしく。		原 本	状	1		
4470 外468	F 1	3月4日	書状	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、平兵衛 ●岡野谷松兵衛	新茶出来次第、積入れ方よろしく。入津の折、油断なく取扱い、売捌くので、沢山振り向けてほしい。		原 本	状	1		
4471 外37	F 1	3月6日	書状	○中条瀬兵衛、徳兵衛、久一郎 ●岡野谷松兵衛	新茶前金を指し登らせる。4貫300以上の品は当店に振り向けてほしい。金子も追々指し登らせるので、大走り物を送付願いたい。		原 本	状	1		
4472 外62	F 1	3月6日	書状	○茗荷屋善五郎、市兵衛、金蔵 ●岡野谷松兵衛	新茶の出来を期待。古茶売り切れ。大走りから追々多分に積送り願う。当方、精一杯売捌く。		原 本	状	1		
4473 外137	F 1	3月6日	書状	○江戸堀留:長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	新茶の出来を期待。出来次第、大走りを沢山送ってほしい。精一杯売捌く。		原 本	状	1		
4474 外151	F 1	3月6日	書状 (包紙あり)	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間)、外2名 ●岡の谷松兵衛	山方にては、格別に値を引下げて買入れてほしい。昨年同様に仕入れなければ、引合がむづかしい。金子も50両を差出すので受取ってほしい。		原 本	状	1		
4475 外184	F 1	3月6日	書状	○住よし屋利三郎、弥兵衛 ●岡野谷松兵衛	新茶の積入れ時となる。当地では景気もよく、大走りから荷物沢山送ってほしい。売捌きにも出精する。		原 本	状	1		
4476 外217	F 1	3月6日	書状	○長崎瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、才兵衛、 定兵衛 ●岡野谷松兵衛	新茶の荷物、出来次第多分に積送り願う。新茶は景気よく売捌ける。今便で内金15両差登らせる。今後とも、他店より格別値で売捌くので、多分に積送り願う。覚として、金15両の内金。		原 本	状	1		
4477 外178	F 1	3月6日	書状	○いせや伝兵衛、常吉 ●岡野谷松兵衛	新茶の出来を期待。出来たらば、積送りを願う。支払い金は、案内次第早々としたい。相場については、他所との関係から追々報せる。新茶を一生懸命に売捌く。仕切りは他よりもよくする。		原 本	状	1		
4478 外223	F 1	3月6日	書状	○長崎瀬兵衛、才兵衛、定兵衛 ●岡野谷松兵衛	当年は、10組も御免となった。色々と掛引き下さり、当店も手堅さを専一にするので、御景風のほどを。荷物は多分に積送りいただき、精一杯売捌くので、仕切も格別目立つように差上げる。		原 本	状	1	○	96

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
4479 外24	F 1	3月6日	書状	○二又:西の平蔵 ●上河内:岡野谷松兵衛	昨日、お聞きした大橋一件について、承知した。残金は、当年より積入れし、登金については、例年とおおり「正さん方へ掛けあつたり。		原本	状	1	○	96
4480 外278	F 1	3月6日	書状	○いせや傳兵衛、儀兵衛 ●岡谷松兵衛	書面で茶荷物送付をお願いしたが、送られてこない。例年とおおり八十八夜も近く、みごとなお茶が出来ると推察する。今年は是非とも大走りから積送り願いたい。		原本	状	1		
4481 外466	F 1	3月6日 (包紙あり)	書状	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、小兵衛、定兵衛 ●岡野谷松兵衛	新茶届き、代金差し登らせたので、入帳願う。後荷物、なるだけ早く積入れてほしい。		原本	状	1		
4482 外479	F 1	3月6日	書状 (包紙あり)	○住吉屋利三郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	昨年中、秋仕切り80本、その後入津し、仕切4本、差し登らせた。4本は未着ですが、いずれ到着すると思う。秋仕切りに差引き誤りあり、御容赦のほどを。新茶の御支配よろしく。		原本	状	1		
4483 外502	F 1	3月6日	書状	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、才兵衛、半兵衛 ●岡野谷松兵衛	当年は、お茶が売れて少なくなっている。新茶の大走りは、相応の値段で捌ける。仕切りも精一杯働いたので、多分の積送りを願う。		原本	状	1		
4484 外780	F 1	3月6日	書状 (包紙あり)	○岡野谷松兵衛 ●小田原屋長兵衛御衆中	椎茸の仕切りについて、登せてほしい。春子も近々送るので、御願に取扱いを願う。		原本	状	1		
4485 外86	F 1	3月9日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、外2名 ●岡の谷松兵衛	新茶が出来たら、積送り願いたい。その前金として、20両、使者を差登らせるので、着いたら請取ってほしい。多分に御支配願いたい		原本	状	1		
4486 外197	F 1	3月9日	書状 (包紙あり)	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、外2名 ●岡の谷松兵衛	古茶は全て売り、新茶を積送り願いたい。新茶は、面白いほどに売れる。入津次第、内金を差登らせるので、沢山御支配を願う。		原本	状	1		
4487 外200	F 1	3月9日	書状 (包紙あり)	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、彦兵衛 ●岡の谷松兵衛	新茶、大走りから沢山積送り願う。入津水上げでは、出精して取仕切る。金子は、案内通り、早速に差登らせるので、安心を。		原本	状	1		
4488 外305	F 1	3月9日	書状 (包紙あり)	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	新茶の季節、出来次第大走りを早々に積送り願う。古茶は大体売れているが、新茶が出れば華々しく捌ける。沢山送ってほしい。		原本	状	1		
4489 外604	F 1	3月9日	書状	○平口五兵衛 ●上河内:岡の谷	新茶の大走り、仕立送りいただき、浜出しをした。当方やす、病気で困るが、御心配なく。		原本	状	1		
4490 外191	F 1	3月11日	書状	○板屋与兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、彦兵衛 ●岡野屋松兵衛	新茶、大走りから積送り願う。古茶も売り尽し、新茶は特別によく売れるので、御願に引立ててほしい。金子も、早速登らせる。		原本	状	1		
4491 外35	F 1	3月12日	書状	○いせや傳兵衛、常七 ●岡の谷松兵衛	新茶、例年の通り、八十八夜前後の摘取。急ぎ積送りを願う。入津の折、出精して支配する。金子も入用ならば、案内次第に差登らせる。沢山の荷物を振り向けてほしい。		原本	状	1		
4492 外100	F 1	3月12日	書状 (二重包あり)	○長島屋善右衛門(印)、庄兵衛 ●岡の谷松兵衛、御家内衆中	前金15両、差登らせた。着いたら改め願う。茶荷物は、駿遠の八九分通り扱っている。早業物は、早く売れるので、なるべく早く浜出し願いたい。		原本	状	1		
4493 外110	F 1	3月12日	書状 (包紙あり)	○若荷屋善五郎、金蔵、安兵衛 ●岡野谷松兵衛	新茶の出来を期待。古茶を売捌いたので、新茶を売り出したい。沢山の荷物を積送り願いたい。出精して売捌く。		原本	状	1		
4494 外139	F 1	3月12日	書状 (包紙あり)	○長崎瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、平七、善助 ●岡野谷松兵衛	別紙の通り、内金を差登らせたので、御覧いただきたい。新茶出来次第、沢山積送り願う。別紙に内金30両の宛あり。包紙に要用の書入れ。		原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()-干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
4495 外198	F 1	3月12日	書状	○小川善四郎 ●岡野谷松兵衛	急ぎ申上げる。当地諸商い物値下の触出しあり、当10日より損茶は2割、益茶は1割の値下げとなり、実は大損。山方は、格別下値で仕入れてほしい。前金は、荷物着き次第、差登らせる。多分に積入れてほしい		原 本	状	1		
4496 外453	F 1	3月12日	書状 (包紙あり)	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、文兵衛、勝兵衛 ●岡野谷松兵衛	茶荷物、5貫5〜600位より上物150本。当秋仕切り、積入れ願う。		原 本	状	1		
4497 外607	F 1	3月12日	書状 (包紙あり)	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	新茶の出来を期待。荷物の積入れを願う。古茶も例年より売捌いた。大走りを沢山積送り願いたい。		原 本	状	1		
4498 外162	F 1	3月13日	書状 (包紙あり)	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛、取次店健屋亦助	新茶前金を送るので、早速、茶荷物を送ってほしい。上値で売るので、沢山積送り願う。		原 本	状	1		
4499 外215	F 1	3月13日	書状	○中村三郎右衛門(江戸茶問屋20軒仲間)、栄蔵、庄八 ●岡野屋松兵衛	今迄の仕切りの方法を改め、新しい方法で取引願う。多くの荷物、積送り願いたい。仕切りも精一杯送るので、荷物の支配よろしく。		原 本	状	1		
4500 外449	F 1	3月13日	書状 (包紙あり)	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、外2名 ●岡野屋松兵衛	新茶のこと、当年は支配替りとなるので、目立つように働く。荷物を急ぎ積入れてほしい。		原 本	状	1		
4501 外747	F 1	3月13日	書状 (包紙あり)	○本町:長井利兵衛(衛小戸茶問屋20件仲間) ●岡ノ谷松兵衛	新茶について、当分の間積送り願う。入津の折、油断なく売捌く。○印の入用あらば、御案内する。坂本藤四郎へ書状でお願いしておく。		原 本	状	1		
4502 外72	F 1	3月14日	書状	○富田利兵衛、弥兵衛、庄兵衛、弥七 ●岡ノ谷松兵衛	順気よく、新茶の出来を期待。出来次第、沢山積送り願いたい。古茶は売捌いたが、新茶は値段もよく、売上げたい。		原 本	状	1		
4503 外209	F 1	3月14日	書状 (包紙あり)	○大橋太郎次郎 ●岡の谷松兵衛	初春にあたり、茶の動向を伺う。当節、儉約の趣意厳しく、諸色小売値段も下値となった。1斤6匁のお茶が5匁4分となり、諸品これ等に準じて下げられた。今年度の生産地の仕入れも心得て行われ、沢山出荷願いたい。		原 本	状	1		
4504 外547	F 1	3月14日	書状	○富田利兵衛、外2名 ●岡の谷松兵衛	新茶発送の願。		原 本	状	1		
4505 外33	F 1	3月16日	書状	○茗荷屋善五郎、徳兵衛、平兵衛 ●岡野屋松兵衛	新茶の出来に期待。古茶は売捌いた。走りの一荷も景気よく売捌くので、多分に積送り願いたい。		原 本	状	1		
4506 外55	F 1	3月16日	書状	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、幸兵衛、勘兵衛 ●岡野谷松兵衛	茶荷物、無事到着のお礼。諸株が値崩れで勝手次第。初老ゆえ、利口に仕入れするので、積送り願いたい。この節、諸品も値下がり、商売もこれに準じて夫々値下がり。荷物は相変わらず、送ってほしい。		原 本	状	1		
4507 外146	F 1	3月16日	覚 (包紙あり)	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	金20両、改めの上、記帳願う。		原 本	状	1		
4508 外177	F 1	3月16日	書状 (包紙あり)	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡ノ谷松兵衛	新茶、出来るようなら、沢山積送り願う。入津の折は油断なく支配する。売捌きも良い品を仕入れていただき、沢山振り分けていただきたい。金子も、時々持ち登らせるので、安心を。		原 本	状	1		
4509 外238	F 1	3月16日	書状	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、彦兵衛 ●岡野谷松兵衛	新茶は、相変わらず沢山積送り願う。荷物無事入津、水揚げ。金15両差出す。新茶は、格別で売捌き、売れ残りも仕入れ時の値で買請ける。		原 本	状	1		
4510 外246	F 1	3月16日	書状	○大橋三郎次郎、外2名 ●岡の谷松兵衛	新茶の季節到来。不景気とはいいながら、出精して売捌くので、手配よろしく。○印も近日差上げる。		原 本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
4511 外326	F 1	3月16日	書状	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	新茶内金差寄せたので、着いたら改めてほしい。新茶入津の折、賑々しく売捌くので、少しでも出来次第、急ぎ積入れてほしい。		原本	状	1		
4512 外362	F 1	3月16日	書状	○小田原や長兵衛 ●岡野谷松兵衛、松五郎	秋子稚芽、仕切催促され、承知。永々差上げないでいるが、山は取込みのことあり、持合わせが行届かず、大変延引してしまった。相場下値を報せる。		原本	状	1		
4513 外782	F 1	3月16日	書状 (包紙あり)	○住吉屋松兵衛 ●岡野谷松兵衛	新茶の出来を期待。大走りの送り荷を待つ。		原本	状	1		
4514 外854	F 1	3月16日	書状 (包紙あり)	○茶問屋行事(印) ●平口五郎右衛門、同伴七、荷市野平四郎、同平蔵、岡野谷松兵衛、坂本藤四郎	当春より売れ方が悪く、この節、休み同様。新茶の入津あるが、売れ方が心配。景気の上あしは申上げ難いが、工夫して相変わらず積送り願いたい。時の相場に従い、油断なく支配する。		原本	状	1		
4515 外313	F 1	3月17日	覚	○二又:西野平四郎 ●上河内村:岡野谷松兵衛	30番、米1俵、乙吉外。31番、白米3俵、安吉外4名。値段、玄米1升94文、白米1升108文、上白米1升110文。二又の値段		原本	状	1		
4516 外336	F 1	3月18日	書状	○中村三郎左衛門(江戸茶問屋20軒仲間)、外2名 ●岡野屋松兵衛	新茶の出来を期待。当年も木元も引下げ、引合になるよう願っている。一番船へ荷物上、中、下共に多分に積送り願う。御支配をよろしく。		原本	状	1		
4517 外777	F 1	3月18日	書状 (包紙あり)	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、外1名 ●岡野屋松兵衛	初茶、積出しを依頼。		原本	状	1		
4518 外109	F 1	3月19日	書状 (包紙あり)	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	新茶の積み取りが始まったことと思う。荷物が出来次第、送ってほしい。金子、至急送る。覚として、金15両、三度屋十兵衛まで届ける。		原本	状	1		
4519 外27	F 1	3月20日	書状	○中条瀬兵衛(衛小戸茶問屋20軒仲間)、徳兵衛、久治郎 ●岡野谷松兵衛	茶荷物送付のお礼。新茶の季節となり、案内書を別紙の通り送る。		原本	状	1		
4520 外53	F 1	3月22日	書状	○茗荷屋善五郎、伊八 ●岡野屋松兵衛	新茶等の内金、先の書で、又、仲間にも詳しく承知していただいた通り、5月一杯までは全て断る。と取決めた。6月2日より、間違いない送る。大走りの荷物より積送り願う。		原本	状	1		
4521 外101	F 1	3月22日	書状	○中条瀬兵衛 ●岡の谷松兵衛	新茶の季節になり、出来を期待。当方も景気相応に売捌き、大走りは格別な値段で売捌ける。多分に積送り願う。		原本	状	1		
4522 外179	F 1	3月22日	書状	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、外2名 ●岡野屋松兵衛	新茶出来次第、賑々しく積送り願う。古茶も大方片付き、新茶入津なら面白く売捌く。当方、不景気だが、油断なく売捌く。新茶前金を送るので、入帳願う。		原本	状	1		
4523 外757	F 1	3月22日	書状 (包紙あり)	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、源兵衛、弥兵衛 ●岡野屋松兵衛	相場もよくないので、心配。新茶は格別なので、捌けると思う。出来次第、多分に積送り願いたい。		原本	状	1		
4524 外281	F 1	3月28日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、外1名 ●岡の谷松兵衛	新茶の大走りの積送りを願う。内金15両持参するので、入帳願いたい。古茶も売捌き、新茶は格段期待している。		原本	状	1		
4525 外116	F 1	3月晦日	書状	○小川村:坂本藤次 ●上河内村:岡ノ谷松兵衛	金1両2分、内借願いたい。当書までに、利付にて返済したい。私には内分に願う。		原本	状	1		
4526 外515	F 1	3月晦日	書状	○西野平四郎 ●岡野谷松兵衛	米値段の案内書添状		原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西曆()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
4527 外846	F 1	3月晦日	書状	○長島屋吉兵衛 ●岡野谷松兵衛	先日、お願いへのお礼。炭山の手始めに酒を送ったので、些少ながら受納願いたい。三条して、皆様にお目に掛りたいが、節句まで失礼する。皆様によろしく。		原 本	状	1		
4528 外144	F 1	3月	書状 (包紙あり)	○大吉や吉兵衛 ●岡野谷松兵衛	基八外8名に係わる茶荷物の調査。		原 本	状	1		
4529 外337	F 1	3月	書状	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋2軒仲間)、外2名 ●岡の谷松兵衛	新茶の出来を期待する挨拶。		原 本	状	1		
4530 外746	F 1	3月	書状 (包紙あり)	○西村新二郎(江戸茶問屋20軒仲間)、平蔵、嘉兵衛 ●岡野屋松兵衛	新茶の出来に期待。大走りを追々積送り願う。相場も古茶も上値段で売れている。多分に積送りを願いたい。		原 本	状	1		
4531 外121	F 1	4月1日	書状	○①坂里村:白瀬長太夫②、②坂里村:小玉亀吉 ●①、②上河内村:岡野松兵衛	①次郎右衛門隠居により、お茶買付けに不都合生じ、金3両を借用したい。②当年、お茶を買付けたく、長太夫に無心したが都合付かず、金3両を借用したい。		原 本	状	2	○	96
4532 外664	F 1	4月1日	書状	○堀之内:平口七十 ●岡のや若旦那	兵吉お茶の手伝いに参る筈のところ、同人内にお茶があり、困った。雨降りて今日、千次・与一の見舞いをした。		原 本	状	1		
4533 外74	F 1	4月2日	書状	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、小兵 ●岡野谷松兵衛	先日馳走になったことへのお礼。新茶も出来次第、沢山積送りを願う。		原 本	状	1		
4534 外157	F 1	4月2日	書状	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、彦兵衛 ●岡の谷松兵衛	古茶荷口に付き、相応の売捌きとなり、7貫位より頭物などは面白い位の値立ちとなった。荷物出来次第、沢山積送り願いたい。入津の折は、大切に売付け、出精支配する。		原 本	状	1		
4535 外577	F 1	4月3日	書状	○小川:恵七郎 ●上河内村:岡野谷松兵衛	木町龍八の件で苦勞を掛けた。3月晦日払いの金子3匁は日延べとなった。ついては、隠居が話していた5匁を、来る15日までに拙宅まで届けてほしい。両家借用の金子で菓子商売を始める。		原 本	状	1		
4536 外164	F 1	4月4日	書状	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松平	新茶の出来、日々入津を待っている。荷物を沢山積送り願う。覚に、金20両、新茶の内金。今年は、荷物多分に入用のため、出精して売捌く。13日、異国船のため、金子延引。先月22日、残らず出帆した。		原 本	状	1		
4537 外64	F 1	4月5日	書状	○(焼津湊):松村惣五郎② ●岡ノ谷松兵衛御支配中	例年通り、茶荷物の津出しを願う。当方、手舟も1艘増やしたので、積立は手廻しよくできる。沢山、津出しを願う。		原 本	状	1		
4538 外68	F 1	4月6日	書状 (包紙あり)	○(藤枝):浜野伊兵衛 ●岡野谷松兵衛	先日お願いの会合の件、世話人の木町三村屋市左衛門外に話したところ、当月15日、横町中村屋清吉方で会合を開くことになり、参会願う。		原 本	状	1		
4539 外269	F 1	4月6日	覚	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	金、10両、前金。		原 本	状	1		
4540 外448	F 1	4月6日	書状	○小宮小兵衛 ●岡ノ谷松兵衛	先日、善四郎が御地に参るに付き、伝言のとおり、新茶の世話を願う。吟味したお茶、5駄程作ってほしい。値段は高く買上げる。金子は、入用次第、報せてほしい。		原 本	状	1		
4541 外171	F 1	4月9日	書状	○大橋太郎次郎②(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	新茶の出来具合はどうか。昨年より大いに売捌けるので、大走りから多分に送付願いたい。前金は、例年通り先便で送金するので、入帳を願う。		原 本	状	1		
4542 外303	F 1	4月9日	書状	○小宮小兵衛 ●岡野谷松兵衛	見本で出した分は、1本凡そ3分2、3朱で願いたい。その他も夫々よろしく願いたい。		原 本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
4543 外370	F 1	4月9日	書状(包紙あり)	○大橋三郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	先月26日、目録金子をもって登らせたので、入帳を願う。新茶の出来具合はどうか。大走りを積送り願いたい。入津し売捌けるよう、今便で10両の内金を持たせた。注文の茶、先口が支えてまだ注文できずに、気の毒です。		原本	状	1		
4544 外131	F 1	4月12日	書状	○大橋太郎次郎、外1名 ●岡の屋松兵衛	酉と戌兩年の仕切り之件、酉年分は玉一1本、8月仕切り。喜一1本、2月仕切り。戌年分、大柳印1本。以上、帳面を調べてほしい。当年も、荷物を多分に積入れ願いたい。		原本	状	1		
4545 外298	F 1	4月12日	書状	○小田原や長兵衛、庄吉 ●岡野谷松兵衛御庄屋中	春子出荷へのお礼と内金2両3分を差上げたので、入手されたい。		原本	状	1	○	96
4546 外611	F 1	4月16日	書状 (包紙あり)	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、千蔵 ●岡の谷松兵衛	新茶、積送りへのお礼。後々の荷物も沢山積み方を願う。金子は、通知があった折に早々送る。		原本	状	1		
4547 外835	F 1	4月16日	書状	○□□惣次郎@、茂助 ●岡谷松兵衛	例年の通り、内金を差上げるので、改め願いたい。この頃、茶相場は例年通りだが、仕切値も動くので、心配なく積送り願いたい。		原本	状	1	○	96
4548 外155	F 1	4月17日	書状	○抜里村:八左衛門 ●上河内:岡野屋松兵衛	覚書きに、2月分、金2分ト359文、大豆代金。請取を願う。		原本	状	1		
4549 外302	F 1	4月19日	書状 (包紙あり)	○板屋與兵衛(衛小戸茶問屋20軒仲間)、彦兵衛 ●岡の谷松兵衛	先便でお知らせの通り、茶の値段が下がり、心配。頭物は、殊の外、捌けるので、沢山買受けたい。荷物河出来次第、浜出しを願う。金子も差し登らせるので、心配なく。		原本	状	1		
4550 外513	F 1	4月20日	請取	○木町:多吉 ●岡のや松兵衛	子月18日、金6両、薬地勘右衛門行き。金1両、貨銀。計7両、請取。4月28日、4番麦1俵、使い伊平、乾右衛門出。		原本	状	1		
4551 外235	F 1	4月24日	書状	○大橋太郎次郎、金七、弥兵衛 ●岡の谷松兵衛	新茶の積荷、入津したので、安心を願う。別紙、入津書を差上げるので、紙面引き合わせてほしい。預りの物、値段相応に捌けた。近年、拙店では小売相応に売出性の良い荷物は、みな店売りにする。6~7貫位は、拙店へ積入れてほしい。金子入用なら、案内通りに送る。		原本	状	1		
4552 外614	F 1	4月25日	口上	○茶問屋行事 ●藤枝上河内其外在々茶御荷主衆中	仲買衆、小売先まで古茶が沢山残り、人氣が落ちて相場が下値になり、当惑している。一同、相談している。損失が多いので、悪しからず承知を。関係者に順達してほしい。		原本	状	1		
4553 外222	F 1	4月29日	書状	○中村三郎左衛門、茶株仲間 ●岡野谷松兵衛	茶荷物の内金、送付するので、改め願いたい。御鼻戻に積送りを願う。		原本	状	1		
4554 外721	F 1	4月29日	書状	○長崎瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、才兵衛、定兵衛 ●岡野谷松兵衛	荷物入津につき、仕切書を差上げる。後の荷物も、多分に積入れ、御支配願いたい。		原本	状	1		
4555 外348	F 1	閏4月19日	口上	○名主市松 ●松兵衛	一昨日約束したお茶、今日差送るので、改めて約束通り代金2両で買って頂きたい。代金は、使いの八百蔵に渡してほしい。駄賃は、そちらでお願いする。		原本	状	1		
4556 外678	F 1	5月1日	書状	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、八兵衛 ●(後欠にて不明)	先日積送りの荷物が届いた。印付をして別書認めたので、帳面と引き合わせを願いたい。今後も多分に積送りを願う。入津の折、出精するので、支配の程、お願いする。		原本	状	1		
4557 外467	F 1	5月6日	書状	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、外3名 ●岡の松兵衛	毎度荷物の支配を仰せつかり、ありがたい。別紙の通り、無事入津したので、安心を。後荷物の積送り願う。		原本	状	1		

文書番号 整理番号	分 類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
4558 外205	F 1	5月9日	書状	○住吉尾利兵衛、松兵衛 ●岡野谷松兵衛	荷物送付へのお礼。内金、覚の通り金15両を送る。沢山の荷物を任せてほしい。後の金子は、荷物水揚げ次第に送る。仕切りは出精して売捌く。		原 本	状	1		
4559 外584	F 1	5月11日	書状	○平口利兵衛 ●岡野谷松兵衛	当年、椎茸を江戸伊勢屋六右衛門へ積送り、その前金少々、4月16日に仕切書と共に、藤枝かぎや又助取継にて差し登らせた。後荷物の仕切もかぎやより請取願いたい。		原 本	状	1		
4560 外58	F 1	5月12日	書状	○大伝馬老丁目：茗荷や善五郎@ (江戸茶間屋20軒仲間)、市助 ●岡野谷松兵衛	今便新茶着後、金30両、請取されたい。荷物追々多分に積送り願いたい。油段なく出精支配する。		原 本	状	1		
4561 外455	F 1	5月12日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶間屋20軒仲間)、新兵衛、源助 ●岡の谷松兵衛	荷物無事入津へのお礼。後荷物も積送り願う。油断なく積み出してほしい。		原 本	状	1		
4562 外562	F 1	5月12日	書状	○長崎瀬兵衛(江戸茶間屋20軒仲間)、才兵衛、定兵衛 ●岡野屋松兵衛	積送りの荷物、無事入津したので、引合願いたい。後荷物の積送り、支配方を仰せ付けられたい。		原 本	状	1		
4563 外570	F 1	5月12日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶間屋20軒仲間)、文兵衛、善兵衛 ●岡野屋松兵衛	荷物の積送りへのお礼。無事入津で安心を。後荷物もよろしく。		原 本	状	1		
4564 外716	F 1	5月13日	入津覚	○藤原藤助(印)(伝馬町茶間屋) ●岡野谷松兵衛	「上柳一本、メ久兵衛より。無事入津、儘に受取る。		原 本	状	1		
4565 外772	F 1	5月13日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶間屋20軒仲間)、文兵衛、善兵衛 ●松兵衛	積送りの荷物、無事着いたので、引き合わせ願う。		原 本	状	1		
4566 外752	F 1	5月14日	書状 (包紙入り急用書)	○小津次郎左衛門 ●岡ノ谷松兵衛、市次郎	昨年仕切の件、当方の不手際あり。どうしたとか、成すこと始終後手に廻り、是非なくこの様になった。昨年までのことは、お許しいただき、今後も従来通り荷物沢山積送り願う。当方、出精して売捌く。		原 本	状	1		
4567 外309	F 1	5月15日	書状	○小川善四郎、外1名 ●岡野谷松兵衛	入津下新茶の品名、代金を記す。後半、先ごろ品不足により、沢山荷物を積送り願う。金子10両、別封にて差上げるので、入帳願いたい		原 本	状	1		
4568 外691	F 1	5月18日	送り状	○ふじ枝：平岡屋東平 ●岡野谷松兵衛	茶櫃を1櫃、仕入いただき、使者平五郎を通して差上げるので、請取願う。		原 本	状	1		
4569 外136	F 1	5月19日	書状	○長井利兵衛、彦兵衛 ●岡野谷松兵衛	新茶荷物、大走りより追々積送りいただき、ありがたい。無事荷物入津、別紙のとおり印付して送るので、着いたら帳面と引き合わせ願いたい。後の荷物も沢山積送り願う。		原 本	状	1		
4670 外20	F 1	5月22日	書状	○山本喜兵衛(江戸茶間屋20軒仲間)、外1名 ●岡野屋松兵衛	荷物の積送りへのお礼。新茶、無事入津。今後も支配仰せ付け願う。		原 本	状	1		
4571 外776	F 1	5月22日	書状 (包紙あり)	○板屋興兵衛(江戸茶間屋20軒仲間)、彦兵衛 ●岡の谷松兵衛、藤枝三度屋重兵衛	荷物、無事入津。別紙のとおり印付して差し登らせるので、帳面と引き合わせを願う。後荷物も多分に積送り願いたい。		原 本	状	1		
4572 外193	F 1	5月24日	書状	○富田利兵衛(江戸茶間屋20軒仲間)、庄兵、福七 ●岡野谷松兵衛	これまでの積送り荷物について前の仕切書を御覧いただきたい。仕切りについては、心配りをしている。荷物を沢山積送り願う。		原 本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
4573 外196	F 1	5月24日	書状 (包紙あり)	○茗荷屋善五郎(大伝馬老丁目)、金蔵、安兵衛 ●岡野谷松兵衛	この度、積送りの新茶荷物、無事入津、水揚げ、受取る。帳面引き合わせ願う。後荷物も追々多分荷積送り願いたい。		原本	状	1		
4574 外126	F 1	5月25日	書状 (破れ包紙あり)	○大橋太郎次郎 ●岡野谷松兵衛	積送りの荷物、無事入津。別紙印付を送付したので、帳面と引き合わせを願う。一生懸命に売捌くので、多分に送付願いたい。		原本	状	1		
4575 外482	F 1	5月25日	書状	○吉永や山口老兵衛 ●岡野谷松兵衛	江戸状0両入りを3通利、早金する。金数が余計になるので、先月は20両入り1通を差上げた。後の分を平蔵に渡すなら、お手紙にて編次をほしい。		原本	状	1		
4576 外247	F 1	5月29日	書状	○めうがや善五郎、外2名 ●岡野屋松兵衛	新茶到着の報せと売捌きの決意、後荷物の積送りを依頼。		原本	状	1		
4577 外256	F 1	5月29日	書状	○富田利兵衛、次兵衛、外1名 ●岡野谷松兵衛御庄屋中	荷物をなるべく批店へ向けて積入れてほしい。金子も御用あり次第送る。		原本	状	1		
4578 外668	F 1	5月29日	覚	○抜里:白瀧長大夫 ●上河内村:岡野谷松兵衛	米を持参したので、改めて受取ってほしい。先にお願いの金20両、お貸し願いたい。	紙破損、汚れ	原本	状	1		
4579 外132	F 1	5月	書状 (包紙あり)	○幸崎屋五郎右衛門@、源助、直七 ●岡野谷松兵衛	今般の入津荷物は、昨年来の値立てより一段とよい。さらに手廻しの上、浜出仕いただきたい。金子は、取り急ぎお知らせする。		原本	状	1		
4580 外228	F 1	6月2日	書状	○長崎瀬兵衛、外2名 ●岡野谷松兵衛	荷物の入津報告と謝礼の挨拶。		原本	状	1		
4581 外287	F 1	6月2日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、文兵衛、善兵衛 ●岡野谷松兵衛	茶荷物積送りへのお礼。仕切り、今便にておくるので、記帳願う。去春より物価下落につき、見切りに売捌き、損毛心配と思うが、なるべく損毛ない様、願める。相変わらず、積送りを願う。		原本	状	1		
4582 外344	F 1	6月2日	書状 (包紙入り)	○水戸諸色会所内鍛冶町老丁目:河内屋栄蔵 ●身成:平口五郎右衛門	先に申入れ書面荷物に付き、賑々しく積入れ願いたい。仕切りは、出積して取し切るのので、積付毛よろしく。		原本	状	1		
4583 外512	F 1	6月2日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、又兵衛、善兵衛 ●岡野谷松兵衛	荷物積入れへのお礼。別紙の通り入津したので、引き合わせを願う。後荷物も積入れ願いたい。		原本	状	1		
4584 外711	F 1	6月4日	書状	○抜里村:白瀧長大夫@ ●上河内村:岡野谷松兵衛	お茶買入れにつき、金30両が必要となり、借用願う。送付願いたい。		原本	状	1		
4585 外194	F 1	6月5日	書状	○西野平蔵 ●岡野屋松兵衛	この節、西南風が吹き、船を出すことが出来ないでいる。入荷できれば相応の値段で捌ける。長崎屋から手前共3軒へ無理にも出帆を促してきた。我々も船主に依頼したが、貴家はどうするか。		原本	状	1		
4586 外317	F 1	6月6日	書状	○住よしや庄七(江戸茶問屋20軒仲間)、治兵衛 ●岡野屋松兵衛	先に積送りの荷物の内、売り仕切分の金子送付。これ以外に預りの金子3両を送る。追々積入れを願う。		原本	状	1		
4587 外853	F 1	6月6日	書状 (包紙あり)	○藤原藤助@ (江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	近年、身上不如意の上、当春類焼により、借財済まし方出来ず、難渋している。貴家におかれても、御憐愍の上、御着手願いたい。		原本	状	1		
4588 外106	F 1	6月9日	用書	○長井利兵衛、新兵衛 ●岡野屋松兵衛	新茶の積送りへの感謝。後荷物の積送りを願う。入津のおりは、大切に扱う。金子も御案内の節は、早速送る。当地での成行き、人気の有無など心配の点あるが、油断なく行うので、荷物況山振り向けてほしい。		原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
4589 外140	F 1	6月9日	書状	○中条瀬兵衛、徳兵衛、久二郎 ●岡野谷松兵衛	○荷物の積送り感謝。別紙のように、無事入津したので、引き合わせ願う。後荷物の積送をよろしく。	紙破損目立つ	原本	状	1		
4590 外165	F 1	6月9日	書状	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛(虫損あり)	この度、海上無事に入津、別紙の通り、帳面と引き合わせを願う。後荷物積送をよろしく。		原本	状	1		
4591 外665	F 1	6月9日	書状	○小津次郎左衛門(江戸茶問屋20軒仲間)、弥兵衛、庄兵衛、文兵衛 ●岡野谷松兵衛	荷物入津により、別紙に印付したので、御覧いただきたい。後荷物も出来次第積送り願う。		原本	状	1		
4592 外620	F 1	6月11日	書状	○平口五郎右衛門 ●上河内:岡のや松兵衛	藤右衛門のお茶を私方へ送ってきたので、入用ならえふ板を送ってほしい。この節、茶の値段を引き上げるのは難しい。抜里あたりには、売物もあるが高値なので、どうするか。先日、弥平の分4本半買ったので、御覧に入れたい。見本を送るので、見取願う。私方、金子差支えのため、使いの者に貸し渡しを願う。		原本	状	1		
4593 外634	F 1	6月11日	書状	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、彦兵衛 ●岡の谷松兵衛	荷物無事入津。別紙の通り、印付して差上げるので、帳面と引き合わせてほしい。後荷物の積送りをよろしく。油断なく売捌くので、御支配を願う。		原本	状	1		
4594 外43	F 1	6月12日	書状 (包紙あり)	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、忠兵衛、嘉兵衛 ●岡野谷松兵衛	荷物無事入津で嬉しい。出精して売捌くので、後荷物も多く送ってほしい。		原本	状	1		
4595 外206	F 1	6月12日	書状	○長崎屋瀬兵衛、才兵衛、定兵衛 ●岡野谷松兵衛	荷物積送りへの感謝。4貫代から6貫代永まで、沢山送ってほしい。相場もかなりの値段で売捌く。金子の仰出てくれれば、早速送る。		原本	状	1		
4596 外275	F 1	6月14日	書状	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、彦兵衛 ●岡の谷松兵衛	追々積送りの荷物、無事入津により、帳面と引き合わせてほしい。入津の節は油断なく売捌くので、積送り願う。		原本	状	1		
4597 外236	F 1	6月15日	書状	○中村三郎左衛門(江戸茶問屋20軒仲間)、栄藏、庄八 ●岡野屋松兵衛	荷物、上・中・下とも追々積送り願う。格好の引合をするので、御最原に積送りを願いたい。暑気にお願いください。		原本	状	1		
4598 外404	F 1	6月17日	口上	○出本五郎左衛門 ●上河内:松兵衛	茶二の口半箱を送付。目方を改め、請取願う。		原本	状	1		
4599 外630	F 1	6月19日	書状	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、彦兵衛 ●岡の谷松兵衛	積送りの荷物、無事入津により、帳面と引き合わせを願う。後荷物も、入津の折は油断なく売捌くので、多分に振り向けてほしい。		原本	状	1		
4600 外119	F 1	6月21日	書状 (包紙あり)	○二又:西野平蔵、寛、米屋半左衛門 ●上河内:岡の谷松兵衛	お茶がみるく見え、拵方が甚だ悪い。以前も同じ用名品物あり。私が富田方へ3、40本遣わした所、積の裏という安仕切りの茶で大損をした。以後、市入れば勘弁願う。笹間渡且那の死亡の件の寛、諸品物代金2朱ト532文。		原本	状	1		
4601 外170	F 1	6月21日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、彦兵衛、芳兵衛 ●岡ノ谷松兵衛	荷物、無事入津により、印付差上げたので、帳面と引き合わせ願う。後荷物も沢山積送り願いたい。		原本	状	1		
4602 外204	F 1	6月22日	書状	○長崎屋瀬兵衛、才兵衛、定兵衛 ●岡野谷松兵衛	荷物積送りへの感謝。売捌きに出精するので、後荷物も多分に積送り願う。		原本	状	1		
4603 外214	F 1	6月22日	書状	○中条瀬兵衛、外2 ●岡野谷松兵衛	荷物到着につき、納品改め入荷報告。		原本	状	1		
4604 外254	F 1	6月24日	書状	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、彦兵衛 ●岡の谷松兵衛	荷物無事入津したので、別紙の通り印付して差上げる。帳面との引き合わせを願う。後荷物も多分に積送り願いたい。入津次第、仕切を申上げる。		原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
4605 外76	F 1	6月26日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、文蔵 ●岡の谷泰兵衛	荷物積送りへのお礼。後荷物も、当方出精するので、沢山積送りねがう。金子は見計らって送るので、心配なく。		原本	状	1		
4606 外83	F 1	6月26日	書状	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間)、吉兵衛 ●岡の谷松兵衛	茶荷物入津につき、金10両の内金、鍵屋又助まで送るので、請取を願う。		原本	状	1	○	96
4607 外220	F 1	6月26日	書状	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、才兵衛、定兵衛 ●岡野谷松兵衛、松助	荷物積送りへのお礼。内金15両、早便で差し寄せたので、改めてほしい。後荷物の積送りをよろしく。		原本	状	1		
4608 外230	F 1	6月26日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、文兵衛、善兵衛 ●岡野谷松兵衛	積送り荷物の内金20両、差し寄せたので、入帳願う。当年は、殊の他不景気で、大下落しているが、とりわけ働くので、積入れについて、よろしく。		原本	状	1		
4609 外848	F 1	6月27日	書状 (包紙に2通入り)	○七郎左衛門 ●岡のや若旦那	母の年忌法要の延期の報せ。お茶の買取について、値段よく買取を願う。		原本	状	1		
4610 外141	F 1	6月29日	書状 (包紙入り)	○板屋與兵衛、八兵衛 ●岡の屋松兵衛	先に積送りの荷物、安全に到着。印付の通り、別書きしたので、差上げる。到着したならば、帳面と引き合わせてほしい。後荷物も多分荷積送り願う。別紙に、6月25日、わしの喜十郎、茶2本、別紙の通りとあり。		原本	状	1		
4611 外385	F 1	6月29日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、重兵衛、嘉兵衛 ●岡野屋松兵衛	積送りの荷物、無事入津。後荷物も出精積入れを願う。出精して売捌く。		原本	状	1		
4612 外837	F 1	6月29日	書状	○伊久美:西野平蔵 ●岡野谷松兵衛	葉の山の太郎右衛門が以前売った山を買戻したいが、金銭面で折り合いがつかない。貴方様の御威光でうまく買戻し出来るよう、取りもってほしい。私、川で怪我をして歩くのが不自由、書面で失礼する。追伸、洞雲寺の件で御世話になった。		原本	状	1		
4613 外325	F 1	6月	覚	○遠藤治右衛門◎ ●岡野谷松兵衛	お茶6貫目、1本4両3分かへ。代金3両1分と627文。内金2両渡し。市金1両1分渡し。残り627文。		原本	状	1		
4614 外18	F 1	7月2日	書状	○長崎屋瀬兵衛あ8江戸茶問屋20軒仲間]、外2名 ●岡の谷松兵衛	荷物無事水揚げして喜んでいる。充付仕切表の通り、働き差上げる。今後共御支配を願う。		原本	状	1		
4615 外732	F 1	7月2日	書状	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、彦兵衛 ●岡野谷松兵衛	上景気でお茶が少なくなりそう。御景風に引立ていただき、荷物を多く積立て願いたい。大切に売捌く。高値で売るので安心してほしい。		原本	状	1		
4616 外692	F 1	7月2日	書状	○住吉屋利三郎(江戸茶問屋20軒仲間)、由兵衛、平助 ●岡乃谷松兵衛	積入れの荷物、無事水揚げしたことの報せ。今後共、沢山の荷持つの御支配をよろしく。		原本	状	1		
4617 外299	F 1	7月4日	入津覚	○小津次郎左衛門◎ ●岡ノ谷松兵衛	「上印4本、柳津平五郎船にて無事入津したことの報せ		原本	状	1		
4618 外833	F 1	7月4日	書状 (包紙あり、覚)	○本町:長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、外1 ●岡野谷松兵衛	先に積送りの荷物、無事入津。印付して差上げるので、着き次第、帳面と引き合わせ願いたい。後荷物も、多分に積送り願いたい。油断なく売捌くので、御支配の程、よろしく。覚に、茶2本、焼津喜十郎船で送り、無事着船。6月25日、出帆。7月4日、着。		原本	状	1		
4619 外253	F 1	7月5日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	荷物が無事入津。別紙で受領書を送ったので、後荷の手配をよろしく。		原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
4620 外308	F 1	7月6日	書状	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	荷物積送りへのお礼。例年は、盆前に入津するが、当年は12本入津。今後共、積出しを出来るだけ沢山願いたい。近年、不景気で相場も下落。なるだけ振り向けてほしい。		原本	状	1		
4621 外617	F 1	7月6日	書状	○小津次郎左衛門、庄兵衛、伝兵衛、重兵衛 ●岡野谷松兵衛	金子を少々送ったので、請取願う。入帳をしてほしい。後荷物も精々積送り願う。覚に、金10両の送付について。		原本	状	1		
4622 外382	F 1	7月8日	書状	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、外1 ●岡屋松兵衛	荷物積送りへのお礼。海上無事入津。帳面と引き合わせを願う。後荷物も早々に積送りしてほしい。		原本	状	1		
4623 外480	F 1	7月9日	書状	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)、安兵衛、大助 ●岡野屋松兵衛	積送りの荷物、無事入船。追々、後荷物も多分に送ってほしい。		原本	状	1		
4624 外565	F 1	7月9日	書状	○茶問屋行事(印) ●平口五郎右衛門	荷物津出につき、出府の上、荷物見込みの内金の掛けあい、仲間内の掛け引きにより、内金を差出し、問屋の向きにより振り替える。荷物水揚げ前の内金差出に触れる。		原本	状	1	○	96
4625 外635	F 1	7月9日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、太兵衛、嘉兵衛 ●岡野谷松兵衛	茶荷物送付へのお礼。別紙のとおり、無事入津につき、引き合わせを願う。後荷物の仕切り、出精して働き、差し登らせるので、多分に積送り願いたい。		原本	状	1		
4626 外203	F 1	7月10日	書状	○古川五右衛門 ●上河内:岡野谷松兵衛	積付仕立、改め引き合わせを願う。出船2〜3隻の用意があるので、荷物を急ぎ出してほしい。		原本	状	1		
4627 外568	F 1	7月11日	書状	○中村三郎右衛門(江戸茶問屋20軒仲間)、治助、勘助 ●岡野谷松兵衛	積送りの荷物、無事入津。請取書を送るので、引き合わせを願う。後荷物も相変わらず積送り願いたい。		原本	状	1		
4628 外258	F 1	7月12日	書状	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、定七、武助 ●岡野谷松兵衛	茶荷物、無事入津。後荷物支配についての願。		原本	状	1		
4629 外192	F 1	7月15日	覚	○小西平右衛門◎ ●記載なし	広東人參、丁字良香等の9品目の代金纏め、6匁5分7厘の請取。		原本	状	1		
4630 外408	F 1	7月17日	書状	○披里村:原木三右衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	お茶の差引き勘定して、残金を貸してほしい。これと別に、金5両を貸していただきたい。お茶は出精して買入れ、差上げる。		原本	状	1		
4631 外138	F 1	7月18日	書状	○板屋與兵衛 ●岡の屋松兵衛	積送りの荷物、無事入津。別紙の通り印付して差し送ったので、帳面と引き合わせを願う。荷物を多分に送ってほしい。入津の折、油断なくせいぜい引き締め、売捌く。		原本	状	1		
4632 外541	F 1	7月19日	書状	○中条瀬兵衛、外2 ●岡野屋松兵衛	これまでの入津荷物の明細を送るので、改めてほしい。		原本	状	1		
4633 外89	F 1	7月23日	覚	○源右衛門 ●岡野谷松兵衛	一、醤油6升6合入り、大684文、内2朱取。つり172文返しの仕切書。追記に、醤油粕の案内。		原本	状	1		
4634 外359	F 1	7月23日	書状	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、善兵衛 ●岡野谷松兵衛	茶荷物積送りへのお礼。別紙により帳面と引き合わせをしてほしい。後荷物も入津の折は油断なく出精する。		原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
4635 外221	F 1	7月26日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、久次郎、吉兵衛 ●岡野谷松兵衛	荷物積送りへのお礼。別紙の通り、入津下の出、引合願いたい。		原本	状	1		
4636 外561	F 1	7月26日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、新兵衛、正兵衛 ●岡野谷松兵衛	荷物積送りへのお礼。別紙仕切書も差し登らせるので、引き合わせ願う。		原本	状	1		
4637 外676	F 1	7月26日	書状	○住吉屋利三郎(江戸茶問屋20軒仲間)、弥兵衛 ●岡野谷松兵衛	積入れの荷物、無事水揚げしたことの報せ。後荷物につき、仕配を仰せ付けられたい。		原本	状	1		
4638 外506	F 1	8月朔日	書状	○二又:西野平蔵 ●上河内「上且那	5月、川船出し50、60本の内、三本の上物の下へ金屎2つ3つが入った。船の仕事、馬方、筏師のどこかで行われたか、詮索しなかった。結果、中山出し3本、宇八出し2本、大痛みとなった。扱ひ人の宇八、傳七、民蔵が出頭したが、仲間のうち、平口様にも願いたい。		原本	状	1		
4639 外339	F 1	8月4日	書状	○西野平蔵 ●上河内:「上且那、老翁	荷痛み、金屎一件は村方で10両出して解決。高柳久右衛門、平蔵、紋右衛門は、中山出し荷物故障、紋右衛門は示談、残2人は田中へ訴えという。		原本	状	1	○	96
4640 外768	F 1	8月5日	書状	○板屋與平衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	近々のうちに仕切り目録を送る。困り荷物の積送りを願う。		原本	状	1		
4641 外50	F 1	8月6日	書状	○住吉屋利三郎@あ8江戸茶問屋20軒仲間)、徳兵衛 ●岡野谷松兵衛	近々積送りの荷物、ニカ茶、別紙印付。滞りなく届いたので、お知らせする。		原本	状	1		
4642 外314	F 1	8月6日	書状	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	荷物積送りへのお礼。海上無事入津。帳面の引き合わせを願う。沢山の荷物の積送りを願う。		原本	状	1		
4643 外487	F 1	8月7日	書状	○小津次郎左衛門(江戸茶問屋20軒仲間)、弥兵衛、庄兵衛 ●岡野谷松兵衛	積増しの茶荷物が入津したので、入帳願う。別紙に印付し、確かめてほしい。後荷物も出来次第積入れてほしい。		原本	状	1		
4644 外715	F 1	8月8日	記	○駿州藤枝:杉村金蔵@ ●岡野谷松兵衛	「大極上丁子」等6件の代金、474両4分7厘の請取状。		原本	状	1		
4645 外556	F 1	8月9日	書状	○長崎屋瀬兵衛(中条)(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	積送りの荷物、海上無事に水揚げした。油断なく売捌き、後の荷物も多分荷積み入れてほしい。		原本	状	1		
4646 外229	F 1	8月12日	書状	○善五郎、伝七、忠蔵 ●岡野谷松兵衛	積送りの荷物、海上無事着。別紙のとおりみずあげしたので、帳面と引き合わせ願ひ、後荷物もよろしく。		原本	状	1		
4647 外306	F 1	8月14日	書状 (包紙あり)	○小田原や兆兵衛、宗兵衛 ●岡野谷松兵衛	椎茸相場の昨今を説明。値段も動くので、荷物積送り願う。		原本	状	1	○	96
4648 外543	F 1	8月14日	書状	○二又:西の平蔵 ●上河内:「上且那、老翁	参会の件、茶・椎茸・炭・取砂・山椒・砂糖は買目改め、外に品積不足のない様、議定の定め。近々、貴意を得たい。		原本	状	1		
4649 外727	F 1	8月14日	書状	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)、徳兵衛、平兵衛 ●岡野屋松兵衛	この度、積送りの荷物、無事入津。別紙印付通り、水揚げ受取る。帳面引き合わせを願う。後荷物追々積送り願いたい。		原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原 号 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
4650 外189	F 1	8月16日	書状	○小田原や長兵衛、嘉兵衛 ●岡野谷松兵衛	春子(椎茸)の下落、夏子の産地と相場下落の推移、秋子も同様である。なるべく高値となるよう努めるので、引き続き積送り願う。		原本	状	1		
4651 外260	F 1	8月16日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	積送りの荷物、無事入津。別紙の通り、印付差上げるので、帳面と引合せを願う。油断なく御支配のうえ、沢山積送り願いたい。		原本	状	1		
4652 外579	F 1	8月25日	書状	○上河内:松兵衛 ●椎間渡:長兵衛	椎茸値段、高値になり、私方へ残らず送ってほしい。外よりは、高値で買受ける。		原本	状	1		
4653 外855	F 1	8月27日	書状	○平蔵 ●岡野谷松兵衛	茶値段が高値につき、買取れず、先春、私共の山林代金が入っていないためである。山代金が入り次第、考えたい。		原本	状	1		
4654 外493	F 1	9月4日	書状 (包紙あり)	○江戸:常原屋長兵衛(印)、亀次郎 ●岡野谷松兵衛	この程は、追々椎茸も出回り、荷物を積送り願いたい。秋子出廻り次第、様子を報せてほしい。勘定は掛け引きなく行う。		原本	状	1	○	96
4655 外180	F 1	9月6日	書状	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、外2 ●岡野谷松兵衛	今般、茶荷物目録を登らせるので、引合せを願う。荷物積送りを願いたい。		原本	状	1		
4656 外681	F 1	9月6日	書状	○上河内:岡野谷松兵衛 ●下泉村:勝山周助	近日、江戸へ下るとの誘いを受けたが、都合悪く同道できない。当面、資金不如意につき、江戸大橋太郎左衛門へ金50両、長井利兵衛へ金20両、住吉屋利三郎へ金10両、送金するよう請求願いたい。		原本	状	1		
4657 外158	F 1	9月11日	書状	○藤枝上伝馬町:奥州屋仁左衛門 ●岡の谷松兵衛	新米が底をつき、古米も内。新米2斗2升を送る。追々米値も上昇するので、なるだけ働き、差上げる。天候次第で送るので、遅れるがよろしく。		原本	状	1		
4658 外115	F 1	9月12日	書状	○大橋太郎次郎、外2 ●岡の谷松兵衛	積送りの荷物、出精して仕切り、目録を送った。帳面と引合せ願いたい。多少、利分も出れば良いが、後荷物も積送り願いたい。		原本	状	1		
4659 外656	F 1	9月12日	書状	長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、才兵衛、 半兵衛 ●岡の谷松兵衛	荷物の仕切りを差上げたので、引合せを願う。引合はどうか、心配している。利分があるよう、願っている。困い荷物を積送り願いたい。		原本	状	1		
4660 外569	F 1	9月12日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、外2 ●岡野谷松兵衛	これまでの一般取扱いの分の仕切書を送る。出精して売込しているが、気配を心配している。困い茶を出来るだけ振り向けてほしい。		原本	状	1		
4661 外705	F 1	9月12日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、善兵衛、 徳兵衛 ●岡野谷松兵衛	荷物積送りへのお礼。仕切りをおくるので、引合せを願う。相応の利得があるよう願っている。後荷物の積送りをよろしく。		原本	状	1		
4662 外851	F 1	9月12日	書状 (包紙あり)	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、文兵衛、 善兵衛 ●岡野谷松兵衛	荷物積送りへのお礼。仕切書をおくるので、引合せ願う。不景気なので、相応の利があるとよいが、後荷物の積送りをよろしく。		原本	状	1		
4663 外26	F 1	9月16日	書状	○住吉屋利三郎(江戸茶問屋20軒仲間)、忠助 ●岡野屋松兵衛	荷物入津につき、仕切りの引合せを願う。相違あれば、早々に報せてほしい。茶相場、気配よく捌けるので、多分に積送り願う。		原本	状	1		
4664 外538	F 1	9月17日	書状 (包紙あり)	○西野平蔵 ●岡野谷松兵衛	先日、戸仲方手船、湊口難事で少々損失、貴方方の川崎湊も破船、損失したが、多分の損失に至らず、老翁によろしく。		原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
4665 外754	F 1	9月19日	書状	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	受取荷物の仕切りを送る。世相も厳しく、少しでも利が出るよう、配慮願いたい。後荷物もよろしく。		原 本	状	1		
4666 外694	F 1	9月19日	書状	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)、市助、金藏 ●岡野屋松兵衛	これまでの積入れ荷物の仕切りを登らせて。引合せを願う。如何か、心配。一報を願いたい。囲いの荷物、手廻しのうえ、早船で積入れてほしい。		原 本	状	1		
4667 外46	F 1	9月21日	書状	○北村重兵衛、彦五郎 ●岡野屋松兵衛	積入れた椎茸、値段できるだけ努力。仕切改めの上、入帳願う。秋子椎茸、追々出回る由、値段も出精するので、積入れをよろしく。		原 本	状	1	○	96
4668 外544	F 1	9月24日	書状	○茗荷屋善五郎、傅七、忠藏 ●岡の谷松兵衛	積送り荷物の仕切り、引合せを願う。利はどうか。相場は相変わらずだが、上物は振わず、中・下はよく売れる。囲いの荷物を積送り願いたい。		原 本	状	1		
4669 外78	F 1	9月26日	書状	○板谷與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	当所、大火で類焼したが、土蔵は無事で取引は安心を。後荷物は、沢山積入れてほしい。		原 本	状	1	○	96
4670 外441	F 1	9月29日	書状	○二又:西野平藏 ●岡野谷松兵衛	先日、お出でのおり、かまいもせず、失礼した。その際の話して、江戸より藤枝に帰宅。嫁の在所の故障も、辛抱が大事。民蔵も家山へ勘定に行き、帰宅次第連絡させる。		原 本	状	1		
4671 外609	F 1	9月29日	書状	○長井利兵衛、文蔵、彦兵衛 ●岡野谷松兵衛、三人御仲	先日、積送りの荷物、無事入津。別紙の通り印付したので、帳面と引合額を願う。後荷物も沢山積送り願いたい。		原 本	状	1		
4672 外92	F 1	9月	書状	○富田利兵衛、伊兵衛、作兵衛 ●岡野や松兵衛	先に積送りの荷物、別紙仕切書を送るので、引合せを願う。当地の売り方、大方売捌けている。囲いの荷物も、出来次第、早船で送ってほしい。		原 本	状	1		
4673 外245	F 1	10月2日	書状	○長崎屋瀬兵衛、外1 ●岡野屋松兵衛	荷物、無事入津したので、別紙仕切書を送る。後荷物もよろしく。		原 本	状	1		
4674 外105	F 1	10月4日	書状 (包紙あり)	○川村重兵衛、彦藏 ●岡野屋松兵衛	椎茸五本送付を感謝。内金15両、飛脚にてお渡しする。後も出来次第、積方を願う。この頃は、売り透きにより、急いでほしい。		原 本	状	1		
4675 外495	F 1	10月7日	書状	○西野平四郎 ●岡野谷松兵衛	先に金子入用を開いたが、平七留守にて返事できず。仲とも相談、入用の半金で承引を。当月、江戸大地震で心配、当暮の賄い難しいが、少々の金子は心配できる。		原 本	状	1		
4676 外771	F 1	10月11日	覚	○(印)(山西一) ●岡野谷	地輪(稿)2尺5寸、墨1丁、他3品合せ。ノ2匁7分9厘(銀)265文の請取。		原 本	状	1		
4677 外353	F 1	10月12日	書状	○長崎屋瀬兵衛 ●岡野谷松兵衛	積送りの荷物、無事入津、帳面と引合せを。値段は売捌きに苦勞。後荷物も沢山積送り願いたい。		原 本	状	1		
4678 外537	F 1	10月12日	書状	○茗荷屋善五郎、平兵衛、又兵衛 ●岡野屋松兵衛	積送りの荷物、入津。別紙印付し、水揚帳に受印を。後荷物も多分積送り願う。		原 本	状	1		
4679 外576	F 1	10月16日	書状	○小津次郎左衛門、外3 ●岡野谷松兵衛	荷物請取、別紙明細を送付。荷物もよろしく。		原 本	状	1		
4680 外728	F 1	10月16日	書状	○住吉や利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	荷物積送りへのお礼。無事岸揚げしたので、安心を。後荷物も沢山送ってほしい。		原 本	状	1		
4681 外661	F 1	10月17日	書状	○下組:松兵衛 ●嶋田宿:飯塚市郎兵衛	当村両組(上・下河内村)に、久能山椎茸御用を仰せつかり、御苦勞を掛け、面倒でした。		原 本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
4682 外79	F 1	10月18日	書状	○岡野谷松兵衛 ●市川銀治郎	先日注文の米、延引。今日、2俵送付するので、請取願いたい。両日中に、追々差送る。		原本	状	1	○	96
4683 外327	F 1	10月26日	書状 (包紙あり)	○中条頼兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、文兵衛、善兵衛 ●岡の谷松兵衛	荷物積送りへのお礼。別紙のとおり入津、引合せを願う。後荷物も多分荷積入れてほしい。		原本	状	1		
4684 外349	F 1	10月26日	書状	○小津次郎左衛門(江戸茶問屋20軒仲間)、文兵衛、又兵衛 ●岡野谷松兵衛	荷物支配へのお礼。別紙、仕切引合せを願う。当年は、入用口出来たので、後荷物、沢山仰せつけてほしい。		原本	状	1		
4685 外769	F 1	10月26日	書状	○小田原や長兵衛 ●岡野谷松兵衛	稚茸の秋子、積送りへのお礼。当15日、甚助船より水揚げ、安心を。後荷物も早々に積送り願いたい。内金3両3分を差上げる。		原本	状	1		
4686 外77	F 1	10月29日	書状	○めうがや善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)、市助、金藏 ●岡野谷松兵衛	この渡、積送りの荷物、海上無事入津。別紙印付の通り、水揚げ。後荷物も追々積入れ願いたい。		原本	状	1		
4687 外124	F 1	10月29日	書状	○小津次郎左衛門(江戸茶問屋20軒仲間)、外3 ●岡ノ谷松兵衛	荷物積送りへのお礼。無事入津、隨に受取る。荷物出来次第、一刻も早く、沢山振り向けてほしい。		原本	状	1		
4688 外540	F 1	10月29日	書状	○小田原屋長兵衛、正吉 ●岡野谷松兵衛御店兼中	秋子の積送りへのお礼。11日、伊兵衛船2個、久七船4個入荷。都合30両の内金。売捌き次第、仕切り差上げる。後荷物茂よろしく。		原本	状	1		
4689 外368	F 1	11月6日	書状	○身成村:平口五郎右衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	杉林売却を予定して、相場場の打診あり。石数を調べ、世送を聞くに、私方にて木数60本見せた所、300両とも言っている。地震による格別の高値。		原本	状	1	○	96
4690 外264	F 1	11月7日	書状	○上川内:岡野谷松兵衛 ●二又:西野平四郎	先に遠方より私方に、杉山を買いに来たが、積り方知らず、貴方をお願いしたい。柿、いかほど出来るか、運上はどうか、積り方をお願いしたい。		原本	状	1		
4691 外38	F 1	11月8日	書状 (包紙あり)	○駿州伊久美村:坂本藤吉 ●岡野谷市治郎	御役所の呼出はいつか、私は適当にしているので、承知願いたい。私の掃宅を開き付けて、人を頼んで細かに尋ねると思うが、適当に言っておいてほしい。		原本	状	1		
4692 外546	F 1	11月11日	書状	○大橋太郎治郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡ノ谷松兵衛	(前欠)金50両、請取の覚。		原本	状	1		
4693 外552	F 1	11月11日	書状	○中屋善助(江戸茶問屋20軒仲間)、善兵衛 ●岡野屋松兵衛	荷物積送りへのお礼。無事入津。後荷物もよろしく。		原本	状	1		
4694 外601	F 1	11月13日	覚	○米屋半平 ●河内村:岡野谷松兵衛	諸品代々金1分2朱ト銀19匁5分、2ノ603文。この金1両ト651文。金1両2朱。つり銭157文、受取る。		原本	状	1		
4695 外742	F 1	11月18日	覚	○二郎助(駿州伊久美) ●武蔵	酒1石1升、代8貫836文の精取書。この金1両1分ト336文。		原本	状	1		
4696 外21	F 1	11月19日	書状	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	茶荷物の請取。代金の「内金は別紙の通り」との添状。		原本	状	1		
4697 外57	F 1	11月22日	書状	○中村三郎右衛門(江戸茶問屋20軒仲間)、次助、勘助 ●岡野屋松兵衛	お茶、雨天続きで相場下落。心配しているが、引立て願いたい。金子、仕切の折、甲上げるので、よろしく。		原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
4698 外182	F 1	11月22日	書状	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間)、外2 ●岡野谷松兵衛	寛に、金30両。内金6両3分仕切り。計36両3分余あり。請取願う。		原本	状	1		
4699 外284	F 1	11月22日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	先に積送りの荷物、無事入津。別紙の通り、印付差上げるので、帳面と引合せを願う。入津の際、しっかりと引き締め、売捌く。		原本	状	1		
4700 外847	F 1	11月24日	書状	○勝山四郎左衛門 ●岡野谷松兵衛	茶一件、諸雑用出金の件、度々郡方惣代に催促したが、どのように取り計らってよいか。先日の水川村の夏もうすうす聞いている。この上、余分の入用が花掛かると、大変難儀となる。外の村から出金するようにする。		原本	状	1		
4701 外409	F 1	11月26日	書状	○住吉や利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	一、「上印 原四、1本」11月2日入り。武助船。無事着。儘に受取る。		原本	状	1		
4702 外730	F 1	11月	覚	○長井利兵衛(印)(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	「上印のお茶、11月6日、和泉屋平蔵船。「上印のお茶、10月23日、和泉屋安右衛門船で無事入津。		原本	状	1	○	96
4703 外65	F 1	12月2日	書状	○大橋太郎治郎(江戸茶問屋20軒仲間)、外2 ●岡の谷松兵衛	当地は、殊の他、不景気で、茶荷物も持ち合いで金子も不回り。余技なくお断りしてきた。新茶前出、金子を飛脚で差し登らせたので、請取願いたい。覚え金25両。		原本	状	1		
4704 外699	F 1	12月6日	書状	○長井利平(江戸茶問屋20軒仲間)、文蔵、彦平 ●岡の谷松兵衛	金子延引のお詫び。10両差し登らせたので、入帳されたい。今後とも御鼻屎に。		原本	状	1		
4705 外505	F 1	12月7日	書状	○西の平四郎 ●岡野谷松兵衛	恵印の件、江戸表では下印での積送りは引合兼ねること。今便で金子差上げるので、改め願いたい。覚、金4両3分、4両米1俵代、使い久蔵		原本	状	1		
4706 外559	F 1	12月7日	書状	○二又:西野平四郎 ●上河内村:岡野谷松兵衛	米の出来具合と見茶の値段につき、貴家の意向を伺う。使者に見茶をみせてほしい。		原本	状	1		
4707 外531	F 1	12月8日	書状	○「正(伊久美・西野) ●上河内村:「上	引合が合った椎茸の件、使いの者に渡してほしい。値段は思し召し次第。		原本	状	1		
4708 外129	F 1	12月9日	書状	○中条源兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	これまでの積入れ荷物の仕切りを送る。油断なく売捌くので、困荷を明後船で積送り願いたい。米穀その他の品が高くなり、お茶も捌げにくくなっている。相応の利益となるよう願っている。		原本	状	1		
4709 外150	F 1	12月14日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、文蔵、彦兵衛 ●岡の谷松兵衛	荷物積入へのれお礼。入帳を願う。米穀も高値となり、諸色も同様、万事差支え当惑している。「吉店も金子に困っている。当店も同じであるが、積上げを願う。		原本	状	1		
4710 外75	F 1	12月16日	書状	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、才兵衛、善兵衛 ●岡野谷松兵衛	荷物積送りへのお礼。入津分の仕切りを送る。御地生産地が高値で取引され、果たして儲けに成っているか心配。所持荷物は、来春に積送り願いたい。		原本	状	1		
4711 外343	F 1	12月16日	送状	○池谷勘右衛門、内清七 ●岡野谷松兵衛	銭8貫文、繩俵駄賃の一部として遣わしたので、改めの上、受け取ってほしい。	上部前面に破損あり	原本	状	1		
4712 外316	F 1	12月16日	書状	○石上金次郎 ●岡野谷松兵衛	茶買取代金25両の間違いの件。(どうしてそうなったのか、書かれていない)		原本	状	1		
4713 外186	F 1	12月26日	書状	○ぬくり村:杉屋八左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	先日送付の残金、儘に受取る。年柄、多用により見舞いも申さず、申訳ない。酒造の件、差留となり、困っている。早春、御目に掛りたい。		原本	状	1		
4714 外446	F 1	12月27日	御買付	○藤枝吹屋町:笹屋甚衛門 ●平左衛門	什器代2件、ノ48匁5分。代金3分2朱入り。435文差上げ(つり)。儘に受取る		原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
4715 外461	F 1	12月27日	覚	○長楽寺町:伝兵衛 ●御客様	金1分、刀繕十(代金)請取。		原 本	状	1		
4716 外632	F 1	12月	書状	○半蔵 ●「上御店	調書、延引して申し分けない。今後、調書出すので、入手願いたい。間違えあれば、連絡を。金子入用ならば、申し付けいただきたい。今すぐ登らせる。		原 本	状	1		
4717 外342	F 1	12月	覚	○中平:かじや ●上河内村:松兵衛	7月11日、手鉈先(鉈)他2件、ノ1貫248文。外に新小鉈(鉈)他3件、ノ3貫704文。12月11日、鉄き400文。		原 本	状	1	○	96
4718 外557	F 1	閏月24日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、久治郎、吉兵衛 ●岡の屋松兵衛	(前欠)、積送りの荷物、無事入津。後荷物を多分に積送り願いたい。		原 本	状	1		
4719 外850	F 1	8日	書状	○記載なし ●「上	江戸表も十組、規定の所、崩れの件、西村板谷からの廻状。		原 本	状	1		
4720 外88	F 1	記載なし	覚	○記載なし ●記載なし	表に、20両、大橋氏為替内金借用。27両1分、住吉屋仕切金。外10両、為替預り他の記述。裏に、津出分として、権葺2件の数量と金額の記述あり。		原 本	状	1		
4721 外320	F 1	14日	書状	○清右衛門 ●上河内:岡野谷松兵衛	入用の品(牛尾)について、当村で探したところ、少しばかり見出すことができたので、差上げる。		原 本	状	1		
4722 外407	F 1	記載なし	覚	○伊久美:西野 ●「上サマ	一、萩品45貫入り箱、代金1分2朱ト740文。それに町より駄賃100文掛り、計1分2朱ト840文。		原 本	状	1		
4723 外443	F 1	記載なし	覚	○尾山 ●「上	針金等4品、ノ664文。内金2朱、請取。つり140文。		原 本	状	1		
4724 外475	F 1	記載なし	書状	○西村新次郎、平兵衛 ●岡野谷松兵衛	新茶が出来たら積送り願いたい。先に勝山利兵衛出府の折、貴家に荷物の積送りをことづけたが、どうか。値段も出精する。代金は、後便で送る。		原 本	状	1		
4725 外516	F 1	記載なし	書状	○奥州屋二助 ●上河内:岡野谷松兵衛	麦値段5口入れ1俵金2分ト632文位。後もこの値段で取引願いたい。当地の新米値段、1升120文位。入用あれば報せてほしい。値段は入並みに取引出来る。		原 本	状	1		
4726 外518	F 1	記載なし	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	荷物積送りへのお礼と帳面との引合せの願い。今後とも沢山積送りを願う。		原 本	状	1		
4727 外566	F 1	記載なし	書状	○茗荷屋善五郎 ●岡野屋松兵衛	新茶積送りへのお礼と後荷物の依頼。		原 本	状	1		
4728 外587	F 1	記載なし	書状	○記載なし ●記載なし	留守の非礼と土産へのお礼を述べる。堂沢椎茸山代金、当年出発分。春子前に30両と決めたが、何の出金もない。国恩金や古作無尽金、その他、上納金があるので、この者に渡してほしい。		原 本	状	1		
4729 外588	F 1	記載なし	請取	○木町:多吉 ●岡野谷松兵衛	金2両、貴家兵衛から賃金、僅に請取る。糸染代400文、かし500文、印墨164文、ノ2朱、請取。		原 本	状	1		
4730 外603	F 1	記載なし	書状	○住吉屋利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)、庄兵衛 ●岡野谷松兵衛	江戸南新堀1丁目茶問屋から岡野谷家への書中見舞い。		原 本	状	1		
4731 外608	F 1	記載なし	書状	○住吉屋利兵衛、弥兵衛、吉兵衛 ●岡野谷松兵衛	積送り荷持つの仕切書、送る。利分があればよいが。後荷物もよろしく。		原 本	状	1		

分類:F-1 商業—一般

No.305

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
4732 外638	F 1	記載なし	延米相場休日定	○丸屋代治郎 ●記載なし	米蔵市定休日の定め。紀州・薩州・長州・芸州様上使、茶壺通行当日は休業。毎日休日は、小の付き翌日。但し、閏月は、2月に准ずる。		原 本	状	1		
4733 外641	F 1	記載なし	書状	○茗荷屋◎(江戸茶問屋20軒仲間) ●(後欠)	古茶売りつくし、大走りを売捌きたい。ついては、荷物を追々積送り願いたい。		原 本	状	1		
4734 外658	F 1	記載なし	覚	○木町:瀧八 ●岡野谷松兵衛	西分、ノ164本、内訳98本(かわきせ)、66本(かばか荷)、駄賃(かわきせ)(はばか荷)3口ノ34貫ト48文、内金5両出。差引2貫548文。	虫損あり	原 本	状	1		
4735 外698	F 1	記載なし	書状	○中条(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷さま	古茶の仕切りが出来たので、今便で送る。中身、引合せを願う。		原 本	状	1		
4736 外709	F 1	記載なし	覚	○(藤枝上伝馬):柏や孫八◎ ●柿屋傳五郎	蕪弧俵(4斗2升入り)ノ2石4斗3升6合、代金4両1分ト6匁、渡し。		原 本	状	1		
4737 外735	F 1	記載なし	覚	○伊久美:西野(印) ●上河内:「上様	長筵等の代金、ノ4貫360文。儘に受取る。		原 本	状	1		
4738 外22	F 1	記載なし	仕切	○川村重兵衛◎ ●岡並谷松兵衛	椎茸の仕切書。夏子2本の計541匁2分。諸費差引き60兩余。(後欠)		原 本	状	1		
4739 外56	F 1	記載なし	書状	○大伝馬:中村三郎右衛門、治助、勘介 ●岡の屋泰兵衛	この度、積送りの荷物、無事入津。請取書送付により、引合せを願う。今後他分積送り願う。		原 本	状	1		

分類:F-2 商業—金融

4740 外552	F 2	天明3年8月20日 (1783年)・卯	差上申一札手形之事	○請人三郎右衛門、外4名、借主峯聖院◎ ●岡野屋松兵衛	金1両下銭384文、利2割。使途造作金、返済来る3月、元利とも。		原 本	状	1		
4741 外273	F 2	文化1年12月10日 (1804年)・子	金子手形之事	○記載なし ●二文:平藏	年来の諸賄金借用が嵩み、病で返済出来ず、金51両3分ト1貫58文となった。致し方なく所有の山林・畑地等を永渡し、質物を処分して返済する。借用金は、江戸小判及び江戸文字金。		原 本	状	1	○	96
4742 外185	F 2	文化11年12月9日 (1814年)・戌	借用申金子手形之事 (包紙入り)	○笹間竹島村:借り主長右衛門、出本村:證人次郎右衛門、石上村:八左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	金2両1分、借用。質物は無尽金。この夏、前田請金に指しつまり、借用。石上村ハ左衛門無尽金落札の折、元利共に返済。		原 本	状	1		
4743 外401	F 2	文政11年10月 (1828年)・子	借用申金子手形之事 (包紙入り)	○笹間石上村:借り主彦兵衛、證人次郎左衛門、證人八左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	金3両、年貢金のために借用。来る丑年、新茶仕立て元利共返済。		原 本	状	1		
4744 外96	F 2	文政12年7月 (1829年)・丑	相渡申年数証文之事 (包紙あり)	○三並村:借主平右衛門◎、證人名主伴右衛門◎ ●上河内村:松兵衛	金3両3朱445文、年貢賄金に借用。返金に難儀。来る寅の夏から1年に2朱づつ年賦済にし、年々茶勘定で返済する。		原 本	状	1		
4745 外149	F 2	天保7年4月 (1836年)・申	覚	○(藤枝山口屋):講世話人七郎衛門、庄五郎 ●岡野谷松兵衛	金35両、永44文1分6厘。洞雲寺講次八亀金として預かる。		原 本	状	1		
4746 外71	F 2	天保8年10月 (1837年)・丁酉	借用申金子証文之事 (包紙あり)	○出本村小竹島:借主八右衛門、同書受人次郎右衛門、三双竹しま:受人三郎兵衛 ●上河内村:松兵衛	金1両2分、江戸小判。新茶を質物。新茶出来次第、元利共に返済。		原 本	状	1		
4747 外61	F 2	天保10年12月 (1839年)・己亥	借用申金子証文之事 (包紙あり)	○抜里村:源兵衛、證人藤左衛門、世話人亀吉 ●上河内村:松兵衛	金2両、借用。質物として、いなの中畑2瀬10歩。来る子の6月までに、新茶出来次第返済する。		原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
4748 外142	F 2	天保10年12月 (1839年)・己亥	相渡申年賦手形之事 (包紙あり)	○栗野山村:借主三郎左衛門、孫左衛門 ●岡野谷松兵衛	戊6月20日、金1兩3分1朱ト612文、借用。質物として、川久保松山1枚。困窮により、年賦として、来る子年を金1分当て勘定したい。		原本	状	1	○	96
4749 外93	F 2	天保11年12月 (1840年)・子	借用申金子證文之事 (包紙入り)	○抜里村:借人彦太夫◎、證人仁右衛門 ●上河内:松兵衛	金1両、年貢・諸賄金として借用。質物として、字いなの中畑2畝。来る丑年6月までに、新茶出来次第に返済。		原本	状	1		
4750 外152	F 2	天保11年12月 (1840年)・子	借用申金子證文之事 (包紙あり)	○抜里村:借主太郎八◎、證人次郎右衛門◎、 同断半右衛門(印) ●上河内:松兵衛	金1兩1分2朱、年貢・諸賄金として借用。質物として、上畑1畝15歩。来る丑の6月までに、新茶出来次第に返済。		原本	状	1		
4751 外274	F 2	天保12年9月 (1841年)・丑	吉作売渡申権茸山證文之事	○上河内村:売主松兵衛、證人五左衛門 ●二又村:市兵衛	持山2ヶ所、代金20両で丑年より午年まで6ヶ年季で売渡す。年季内、勝手に伐って良い。山代金は、当丑年に10両、残金は辰春までに済ます。		原本	状	1	○	96
4752 外125	F 2	天保13年8月 (1842年)・寅	借用申金子證文之事	○木町:借主瀧八◎ ●上河内邑	金3両、紺屋商売に付き、仕入金として借用。来る10月目までに返済。		原本	状	1		
4753 外44	F 2	天保13年 (1842年)・寅	御念貢金拝借申證文之事	○出本:借主宇右衛門◎、受人次郎右衛門◎ ●上河内村:松兵衛	金2両、寅年貢金として借用。新茶にて勘定する。		原本	状	1	○	96
4754 外95	F 2	①天保14年12月 (1843年)・卯 ②3月24日	①借用申金子證文之事 ②覚	①○上河内村:金子借主松兵衛◎、證人又左衛門◎ ①●瀧沢村:酒屋瀬左衛門 ②○瀧沢村:瀬左衛門◎ ②●上河内村:松兵衛	①金30両、年貢・諸賄金として借用。質物杉山2ヶ所。辰年3月、元利共に返済。②利足金1兩2分、請取る覚。		原本	状	2		
4755 外32	F 2	天保15年6月 (1845年)・巳	借用申金子證文之事	○上河内:借主松兵衛、請人五左衛門 ●瀧沢村:酒屋瀬左衛門	金20両、お茶の差引き金として借用。父者として、持山1ヶ所。7月晦日限り、元利共に返済。		原本	状	1	○	96
4756 外103	F 2	弘化2年12月 (1845年)・巳	借用申金子證文之事	○金子借主松兵衛◎、請人五左衛門◎ ●瀧沢村:酒屋瀬左衛門	金30両、年貢・諸賄金として借用。来る午3月晦日に返済。質物として杉山1ヶ所。		原本	状	2	○	96
4757 外81	F 2	①天保15年11月 (1844年)・辰 ②天保15年12月 (1844年)・辰	①借用申金子證文之事 ②借用申金子證文之事 (包紙入り)	①○上河内村:金子借主松兵衛◎、同所證人五左衛門◎ ①●瀧沢村:酒屋瀬左衛門 ②○上河内村:借主松兵衛◎、同所證人五左衛門 ②●瀧沢村:酒屋瀬左衛門	①金50両、年貢・諸賄金として借用。質物として、持山2ヶ所。来る巳の3月に返済。 ②金30両、年貢金として借用。質物として、持山1ヶ所。来る巳も3月に返済。		原本	状	1		
4758 外102	F 2	弘化4年11月 (1847年)・未	銭金證文之事 (包紙あり)	○出本:借主五郎左衛門、立人宇右衛門 ●上河内村:松兵衛	一、金1分2朱ト160文。一、金3分、伊勢参宮。一、金1両1分2朱、当未年貢。前々より借用金子、3ヶ年不勘定により、来る秋までに鉄炮・帷葺の2品を質物とし、勘定する。		原本	状	1		
4759 外54	F 2	嘉永2年7月 (1849年)・己酉	借用金子證文之事 (包紙あり)	○上河内村:金子借主松兵衛 ●嶋田宿:糺屋平左衛門	金20両、盆前の諸賄金として借用。質物、杉林1ヶ所。11月晦日限りに返済。		原本	状	2		
4760 外462	F 2	安政3年6月8日 (1856年)・辰	覚	○伊久美二又組:平四郎◎ ●市川次郎左衛門講連衆中	金15両、笹間渡村市川次郎左衛門講の落札金、儘に請取る。		原本	状	1		
4761 外489	F 2	安政3年6月 (1856年)・辰	永ク譲渡申山知證文之事	○一しき村:金子借主作兵衛、同證人組頭藤左衛門、同證人名主助右衛門 ●上河内村:松兵衛	金4兩1分2朱60文、養父作兵衛が年貢金として借用。返済は当辰年、新茶仕立で返済の予定。死去により、返済難かしく、山道を譲り渡す。山年貢は、当方にて上納する。		原本	状	1		
4762 外640	F 2	万延1年3月20日 (1860年)・申	覚へ	○大森:秋右衛門 ●夫中村三郎左衛門◎、上河内村:松兵衛行き	利足金1両、儘に受取る。		原本	状	1		
4763 外436	F 2	慶應3年11月23日 (1867年)・卯	借用申金子證文之事	○借主松兵衛、證人甚三郎 ●上	金350両、入用金として借用。12月20日、来る12月20日限りに返済。		原本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
4764 外394	F 2	慶應4年 (1868年)	所々無尽掛金覚	○記載なし ●記載なし	柿屋無尽、要平無尽、与八無尽等、10種。こらは、明らかに明治5年以降のもの。		原本	横半帳	1		
4765 外590	F 2	10月15日 ・子	口上	○石神山納所 ●岡野谷御主人	先日拝借の金1両、元利共に返済。改めの上、落手願いたい。		原本	状	1		
4766 外478	F 2	11月19日 ・子	書状	○石上村:借主庄藏 ●上河内村:岡野谷松兵衛、同書世話人次郎左衛門、儀右衛門	金子借用につき、質物として、栗原村助大夫無尽。当子年、元利共返済出来ず、来る丑の6月迄に返済したい。		原本	状	1		
4767 外572	F 2	11月27日 ・子	書状	○柿屋傳五郎 ●上河内松兵衛	晦日前荷金錢差支え、都合付き次第、使いに金5両を渡してほしい。		原本	状	1		
4768 外293	F 2	6月3日 ・丑	書状	○瀬戸谷村中山:下田惣吉 ●上河内村:岡の谷松兵衛	荷物集荷につき、米代金に差支え、金10両ほどを借用願いたい。		原本	状	1		
4769 外381	F 2	11月 ・寅	覚 (包紙入り)	○池田岩之丞附山本寛藏 ●笹間村下組	銀1両8分1厘、引替金銀下駄賃として上納、請取る。別紙に、錢211文、下駄賃、2朱銀1つ。この手当て銀7厘、錢8文、下さる。差引き残錢203文。		原本	状	1		
4770 外845	F 2	8月21日 ・辰	書状	○山本孫左衛門 ●岡野谷松兵衛	岡野谷の立替の伊久美村甚右衛門の金子につき、鈴屋政十に度々掛けあったが、何の挨拶もない。貴方に問合せし、近々のうちに返金したい。		原本	状	1		
4771 外113	F 2	7月 ・巳	借用申金子證文之事	○川根(下)泉村:利兵衛◎、上河内:請人松兵衛◎ ●瀬左衛門	金30両、売買仕入れ金として借用。来る霜月20日限り、元利共に返済。		原本	状	1	○	96
4772 外14	F 2	12月 ・巳	覚	○鉄藏幸世話人 ●岡之谷松兵衛	辰会分、金1両1分2朱と永5文、小掛1口。これ請取る。		原本	状	1		
4773 外411	F 2	6月16日 ・午	書状	○石上村:用事人清左衛門、同松兵衛 ●上河内:岡の谷	金子3両、この取替えを願う。		原本	状	1		
4774 外598	F 2	7月7日 ・午	覚	○洞雲寺知事 ●上河内:松兵衛	金2両1分の日銭の内、金2分と巳年分の外に3分を午年に請取る。		原本	状	1		
4775 外17	F 2	9月13日 ・未	請取覚	○白井:吉平 ●上河内:松兵衛	金5両、利550文。儘に請取る。		原本	状	1		
4776 外599	F 2	10月25日 ・未	覚	○洞雲寺知事 ●上河内:世話人衆中	未年日銭金2分の請取。		原本	状	1		
4777 外391	F 2	未	未十二月会	○記載なし ●記載なし	金3両2朱、内3両1朱は大4半。残り1朱は小5半。この錢424文。この割5人半、1口74文、半口37文。以下、これに保わった人名38名を列挙。		原本	状	1		
4778 外496	F 2	12月19日 ・申	書状	○石上:六郎左衛門 ●上河内:松兵衛	来夏まで、金子の差延しを依頼。白山おれを預かっている。年貢皆済金がまだ揃わない。23日、是非金子の有無を役所に報せる。		原本	状	1		
4779 外387	F 2	申	覚	○駿州:中谷 ●上河内:岡野谷行き	申7月日、利金1両、儘に請取る。使い三次郎。申11月日、利金1両2分、儘に請取る。使い庄兵衛。		原本	状	1		
4780 外244	F 2	7月5日 ・酉	書状	○平口七郎左衛門 ●岡の谷松兵衛	この度、寅藏に頼まれて金子2分を借用。同人「おこり」に罹り、困っている。積送りの荷物、無事入津。請取書送付により、引合せを願う。今後其他分に積送り願う。ど		原本	状	1	○	96
4781 外199	F 2	11月27日 ・酉	(請取状)	○藤枝宿:問屋年寄◎ ●笹間村下組:御役人中	金2両3分2朱、永81文4分5厘。当宿余簿金の示談金として、戌3月より遣月晦日までの分、儘に請取る。		原本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 西暦()・干支	年月日	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
4782 外120	F 2	6月 ・戌		借用申金子證文之事 (包紙あり)	○上河内村:借主松兵衛、請人平左衛門、同人 馬嶋:永八 ●瀧沢村:瀬左衛門	金10両、急入用で借用。7月、8月両月の内に、元利共に返済。		原 本	状	1		
4783 外737	F 2	10月11日 ・戌		覚	○洞雲寺講世話役 ●岡野谷松兵衛	金10両、継札落につき、渡す。		原 本	状	1		
4784 外127	F 2	12月9日 ・戌		書状	○笹間渡村:次郎右衛門、石上村:八郎左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	竹島村の長右衛門が普請金に困り、借用を願っている。書付の無尽落札金で返済する。		原 本	状	1		
4785 外413	F 2	4月11日 ・亥		覚	○洞雲寺講世話人 ●上河内村:岡野谷松兵衛	金12両1分2朱、落札金として渡す。		原 本	状	1		
4786 外476	F 2	6月8日 ・亥		書状	○笹間渡無尽会所にて:五郎右衛門、七老左衛門 ●岡野谷松兵衛	川根辺では、證文に質物の田畑を書入れることになっているが、二又の證文では杉山となっている。このこと、平四郎・浅右衛門が証人であり、確かなので預り置き願いたい。		原 本	状	1		
4787 外491	F 2	12月27日 ・亥		書状	○石上村:八左衛門、仲儀重郎 ●上河内村:岡のや松兵衛	先日の馳走へのお礼。来る子の5月までに、1朱金、取替え願いたい。		原 本	状	1		
4788 外69	F 2	12月 ・亥		書状	○(ぬくり村):杉屋八左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	借入金のお礼。来春は無心しない。年末のお礼。		原 本	状	1		
4789 外477	F 2	27日 ・亥		書状	○石上村:借主利右衛門、證人次郎左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	私の請合残金返済につき、一同に勘定として米2斗を替えていただいた。この代金の質物は、来る5月、新茶出来次第、勘定する。		原 本	状	1		
4790 外163	F 2	2月15日		書状 (包紙あり)	○(山本)寛藏 ●五郎右衛門、松兵衛	小作茶の備金に関するやりとりを述べる。		原 本	状	1	○	96
4791 外684	F 2	3月28日		覚	○原村:七衛門 ●川内:松兵衛	金3両と金3両銭20貫675文。うち6両を伊平に渡すにつき、請取る。		原 本	状	1		
4792 外183	F 2	4月3日		書状	○抜里村:児玉龜吉 ●上河内:岡野谷松兵衛	茶仕入れ金3両、長太夫引受けにて無心したので、願をかええていただきたい。去る秋、金1両無心の金子は、米・たばこの類をし入れ置いためのもの、盆前後にお茶で勘定する。		原 本	状	1		
4793 外90	F 2	4月14日		書状	○板本藤四郎 ●岡野谷松兵衛	洞雲寺の講の件、承知。掛金1両2分銭272文、私方に来た。手前分金3分と136文を使い渡ししたので、御世話ながらかけてほしい。4番を頼む。		原 本	状	1		
4794 外445	F 2	4月15日		書状	○吉永屋山口吉兵衛 ●上川内:岡野谷松兵衛	新茶受領のお礼。大橋出金30両、吉兵衛へ差上げてほしい。貴家預りの伊豆の文蔵方の30両、文蔵へ渡していただきたい。		原 本	状	1		
4795 外700	F 2	5月10日		書状	○平口五郎右衛門 ●上河内:岡野谷松兵衛	下田無尽の計画、まともならず、帰宅された由。参加できなかったが、取り計らい感謝する。当家母は、足病で湯治に出かけている。		原 本	状	1		
4796 外643	F 2	5月24日		書状	○越前屋治兵衛 ●岡野谷松兵衛	29日開講の予定が、細川氏泊まりのため、日延べで6月4日に興行するので、出会願う。		原 本	状	1		
4797 外98	F 2	6月朔日		書状	○(藤枝木町)山口屋庄五郎 ●岡野谷松兵衛、平口五郎右衛門	当町の講2回目興行、掛金2両宛、両家(岡野谷・平口)分、相違なく掛けたので、承引願いたい。		原 本	状	1		
4798 外271	F 2	6月7日		書状	○藤枝:柿屋傳五郎 ●上	6月1日、11人会合の報せを欠き、失礼した。その節、掛金を二又の酒屋次郎兵衛が取替えた。延引非礼の詫び。		原 本	状	1		
4799 外485	F 2	6月9日		口上	○二又:西野平四郎、平藏 ●岡野谷松兵衛	昨日、笹間渡講の件、貴家にて取替えいただいたときいた。6両添えてあるので、入帳願いたい。		原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
4800 外744	F 2	6月8日	書状	○平口五郎右衛門 ●上河内:岡野谷松兵衛	茶の差引き金に差支え、20~30両、または50両を借用したい。15日まで返済する。		原 本	状	1		
4801 外87	F 2	6月10日	書状	○坂本藤四郎 ●岡野谷松兵衛	旧冬押借の金子、延引となり、ご願いたい。漸く今日、2両2分を返す。利子2朱も差上げる。不足のことは、9俵請取り後、帳面と引き合わせてほしい。		原 本	状	1		
4802 外438	F 2	6月10日	口演	○(西野)平蔵◎ ●松兵衛	西光寺無尽金差引き、善右衛門後家に渡し、長々の勘定を済ませたい。村方善右衛門年貢は1両3分に下がったが、後家の代から甚だ難儀となり、善七所持の鉄砲1挺も1両3分2朱の内に貸してほしい。		原 本	状	1		
4803 外104	F 2	6月11日	書状	○二又:西野平四郎 ●上河内村:岡野谷松兵衛	笹間渡拾老講掛金、5両を送るので、入帳願いたい。		原 本	状	1		
4804 外528	F 2	6月21日	書状	○石上村:登福寺 ●上河内村:岡野谷松兵衛	是非、先の住職が借用した金子、托鉢を施すことで容赦願いたい。當年、金3両を村方で押借できればありがたい。別紙に、清右衛門口頭で申上げる、とある。		原 本	状	1	○	96
4805 外530	F 2	6月23日	書状	○島田川端:中田屋久兵衛 ●岡野谷松兵衛	去る辰6月に用立てした金子、6月限りで返済の約束であるので、返金願う。この書状持参の者に、返事を言付けてほしい。		原 本	状	2		
4806 外330	F 2	6月24日	書状	○西野平四郎、庄吉 ●岡野谷松兵衛	当月、返済の金子、長々船がなく、江戸からの登り金が入手できないため、困惑。江戸に早便で報せたので、近日中には返済する。		原 本	状	1		
4807 外297	F 2	6月25日	書状	○瀬戸谷中山:下惣吉◎ ●上河内:岡の谷松兵衛	八藏を使い、当月の米代金として、4両借用申入れた。是非、お願いしたい。		原 本	状	1		
4808 外764	F 2	6月25日	書状	○小川:石上甚差衛門 ●上河内村:岡のや	今日、長嶋無尽がある。都合悪ければ、立替しておく。		原 本	状	1		
4809 外464	F 2	6月	覚	○上伝馬町:次郎兵衛謙世話人 ●岡野谷松兵衛	講金14両(半口分)落礼金、わたすので、改めの上、請取られたい。		原 本	状	1		
4810 外363	F 2	7月5日	書状	○石上:清左衛門 ●上河内:岡の谷松兵衛	金子6両、人に知られぬようお借りしたいので、使いの者に渡してほしい。勘定は、お茶で済ます。		原 本	状	1		
4811 外560	F 2	7月5日	書状 (包紙あり)	○石神甚左衛門 ●岡野谷松兵衛	去る冬借用した金子について、今日、倉松氏が来た。山本屋の金子、親父が来て返済すべく掛けあったが、そのまま帰宅。9月に、又次月25日、書面をもって申して置いたので、返済したと思う。明日、使いをもって證文取り寄せ、印形を返す。		原 本	状	1		
4812 外648	F 2	7月12日	書状	○小川:甚左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	長嶋無尽割返し金、424文を預かり、今日、傳吉に差上げた。次に、近所より頼みごとを伝吉と請合い、8年経過。1両を借用したい。		原 本	状	1		
4813 外838	F 2	7月13日 (包紙あり)	書状	○二又:西の平蔵 ●岡野谷松兵衛	忠右衛門の一件、心配していただき、感謝。質入證文も済み、他方に借金あり。それも取替え。しかし、不足金あり、困惑。加印の者も勘弁を乞うている。どうしたら良いか、返事をほしい。		原 本	状	1		
4814 外292	F 2	7月26日	書状	○すみ吉利三郎(江戸茶問屋20軒仲間)、外1 ●岡野屋松兵衛	荷物到着のお礼。		原 本	状	1		
4815 外277	F 2	8月15日	書状 (包紙あり)	○出本村:仲平次郎右衛門 ●上川内村:岡野谷松兵衛	当夏お話しした石上村孫太夫数年の間、借用元金1両2分のところ、1分に書き付け戻していただき、感謝。益前にお話ししたいと思っている。風邪のため、仁左衛門を差し遣わすので、金子1分を改め願いたい。		原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原 区 別	形 態	数 量	撮 影	番 号 コ ピ ー 保 管
4816 外618	F 2	8月21日	書状	○上河内村:岡野谷松兵衛 ●二又村:西野平蔵	洞雲寺の無尽金につき、藤枝に名代を差し出したが、掛合いはどうか。堅く取極めたか、何う。		原 本	状	1		
4817 外318	F 2	9月20日	書状	○二又:慶全寺世話人 ●上河内:御名主松兵衛	慶全寺無尽につき、10月朔日、村方平蔵宅で興行、入来されたい。		原 本	状	1		
4818 外279	F 2	10月8日	書状	○笹間村:市川松三郎 ●上河内:岡野谷松兵衛	先日の借用に付いてのお礼。上納金につき、差引き願いたい。		原 本	状	1		
4819 外169	F 2	10月20日	書状	○二又:西の増右衛門 ●岡の谷松兵衛	瀧沢林蔵の借金15両を引受けることになったので、取替え願いたい。この内10両は、来春秋2度に返済、残金は、酉年春子で済ましたい。林蔵老齢につき、万一の時は、私の3箇所山をかたに、元利共返済する。		原 本	状	1		
4820 外82	F 2	11月27日	書状	○平口五郎右衛門 ●岡野谷松兵衛	七郎右衛門に、無尽掛金と金10両を貸してほしい。来る7月3日までに茶か金子で返済する。茶2本で、2両1分3朱、駄賃100文で買取るので、買ってほしい。		原 本	状	1		
4821 外472	F 2	12月8日	書状 (包紙あり)	○西野平四郎 ●岡野谷松兵衛	荷筈代送付へのお礼。家山村講につき、昨年半口、小川村半口、ノ1口としたが、当年になり2口とのこと。私は昨年とおりにしたいので、よろしく。		原 本	状	1		
4822 外310	F 2	12月9日	書状	○かき屋伝五郎 ●岡野谷松兵衛	例年の通り、三切米25俵ほど出来たので、差上げたい。金子借用につき、よろしく。		原 本	状	1		
4823 外94	F 2	12月20日	覚	○藤枝:健屋又助 ●河内村:岡野谷松兵衛	11月22日、川村十兵衛から封金20両がはいった。中は金子ばかりなので、問合せたところ、堀之内平十より貴家へ届けるよう言われた。そこで、早速、惣吉に届けた。掛合いにより延引となるので、承知願いたい。		原 本	状	1		
4824 外440	F 2	12月22日 (包紙入り)	書状	○岡野谷松兵衛 ●平口利兵衛	先に用立てた金子、当方も手詰まりなので、返済願いたい。		原 本	状	1		
4825 外843	F 2	12月24日	書状 (包紙あり)	○(伊久美):西野平蔵◎ ●岡の谷松兵衛、松助	寺山代金につき、当方、浜出しもできず、諸々の入金の手違いもあり、手支えの状況。1月下旬まで、先延ばし願いたい。		原 本	状	1		
4826 外840	F 2	12月26日	書状 (包紙入り)	○(伊久美):西の平蔵 ●岡野谷松兵衛、市次郎	材木仕入の件、手回りが難渋している。金3両なくては、身分立ちかない。是非、2月まで立替願いたい。2月には、急度決定する。		原 本	状	1		
4827 外84	F 2	12月29日	書状 (包紙あり)	○八坂:平口五郎右衛門 ●岡野谷且那様	金2両、茂八に貸し渡す。内訳は1両を1年1分で4年で返済。1両は、私方で畑半分買置く。茂作は、取続き中まで、2~3年、散田金取らず畑をつくらせる。		原 本	状	1		
4828 外60	F 2	12月 ・亥	書状	○春治郎 ●上河内村:岡野谷松兵衛	私は、笹間村と縁を切ったので、去る11月に借用した金1両1分、他所に出て奉公し、返済する。来る辰年まで待っていただき、利足も免除願いたい。		原 本	状	1		
4829 外243	F 2	12月	覚	○健屋又兵衛 ●岡野谷松兵衛	中条瀬兵衛、富田、大橋、長井の4人分、計800文の請取。		原 本	状	1	○	96
4830 外45	F 2	記載なし	書状 (包紙あり)	○国府中:浅田屋清右衛門 ●笹間村下組:御名主松兵衛	茶一件の雑用出金につき、御村は割合出金を出素すことになった。当月16日まで出勤してほしい。		原 本	状	1	○	96
4831 外207	F 2	記載なし	書状	○記載なし ●記載なし	昨日、住吉屋利三郎から登り金30両を請取り、牛左衛門に渡した。		原 本	状	1		
4832 外402	F 2	記載なし	書状	○西野平蔵 ●岡野谷松兵衛	西覚寺無尽金の件、貴方が取分としたとのことであるので、先に取替えて置いた金子を返済願いたい。		原 本	状	1		
4833 外499	F 2	記載なし	書状	○栗野山:三郎左衛門 ●上河内:岡野谷松兵衛	今日、金1分を上納したので、請取願いたい。また、金1分、借用願いたい。当年、茶畑を切り起し、出精するので、勘定できると思う。		原 本	状	1		

分類:G-1 交通・通信—宿駅

No.311

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
4834 外583	G 1	12月25日 ・亥	覚	○藤枝:健屋又助 ●岡野谷松兵衛	早状等、しめて234文の請取覚		原 本	状	1		

分類:G-2 交通・通信—助郷

4835 外779	G 2	8月12日	書状 (包紙あり)	○上組:名主 ●下組:名主	藤枝宿助郷について、協議がまとまらない。15日までに伊久美から廻文を出すので、相談したい。		原 本	状	1		
4836 外234	G 2	12月23日 ・丑	書状	○伊久美:名主 ●御名主松兵衛	助郷出金について、山内一同、出金するかどうか。一円決まりかねているので、返事がほしい。昨日、兵太夫新田の吉太夫から手紙がきて、一同出張中であるので、すぐ屋方に遺わしてくれるよう、申し付けられた。返事をいただきたい。		原 本	状	1	○	96
4837 外509	G 2	2月26日 ・午	書状	○上組:横元 ●三井村・大平村・西向村・大森村:御名主中	丸子宿助合(郷)につき、免状取調べ村方草高・分米高仕分書を持参するよう、丸子宿より飛脚が来たので、当月24日、出張した。しかし、助合(郷)については、片付かず、入用も多分に掛かる。去年、取替の入用金も差支えるので、状届き次第2分半を改め、送ってほしい。当年定免切替に付き、追って談判の上、お願いする。		原 本	状	1	○	96
4838 外296	G 2	11月29日 ・申	覚	○藤枝宿間屋:荘右衛門@ ●笹間村下組:御庄屋中	金2両2朱と永81文4分5厘、人馬に係わる余荷の話し合いにより、儘に受取る。		原 本	状	1	○	96
4839 外237	G 2	11月22日	書状	○伊久美村:名主甚左衛門 ●笹間村:両組	助合(郷)出金の件、兵太夫新田庄や吉太夫とならやで一同談じ、間屋へ掛けあったが、当方の思い通りにならず。近日中、吉太夫から出会の通知があるまで、出金しないと申合せた。承知願いたい。		原 本	状	1	○	96
4840 外386	G 2	記載なし	覚	○記載なし ●記載なし	西向・大平・日向・栗野山・三井・高日向・大森の7ヶ村の助郷代金を記載。永2貫32文8分8厘。裏面に7ヶ村の去る寅年の拝借返納願の記載あり。		原 本	状	1		

分類:G-3 交通・通信—通行

4841 外483	G 3	(天保6年)7月14日 ・壬	手船市十積附	○徳田屋甚四郎@ ●岡野谷松兵衛積附書入	江戸茶間屋20軒仲間の板谷与兵衛、大橋太郎次郎、中条瀬兵衛行き、お茶4本、積み入れ出帆。		原 本	状	1		
--------------	--------	-------------------	--------	-------------------------	--	--	--------	---	---	--	--

分類:G-4 交通・通信—通信

4842 外133	G 4	3月27日 ・寅	覚	○三度屋十兵衛(印:次取・駿州藤枝宿上伝馬町・三度屋重兵衛) ●岡野谷松兵衛	一、早状1通、江戸大伝馬町若荷屋善五郎行き。儘に受取る。		原 本	状	1	○	96
4843 外352	G 4	12月 ・巳	覚	○藤枝宿:三度屋重兵衛 ●上河内村:松兵衛	5月20日、6月13日、7月6日の早状3通、各200文。江戸長井利兵衛行き1通200文、計800文。儘に済ます。		原 本	状	1	○	96
4844 外433	G 4	12月 ・午	覚	○三度屋十兵衛 ●上河内村:岡野谷松兵衛	3月20日、32文、なみ便状1通。5月2日、200文、早便状1通。あて232文。		原 本	状	1	○	96
4845 外429	G 4	4月16日 ・申	口上	○笹間上組:名主 ●笹間下組:御名主	この廻状の上紙に墨付けし、身成村から請取ってほしい。		原 本	状	1		
4846 外159	G 4	8月27日 ・酉	覚	○健屋亦助(印:駿州藤枝宿下伝馬町・岡村) ●岡野谷松兵衛	江戸伝馬町2丁目富田利兵衛(江戸茶間屋20軒仲間)行きの早便り、儘に請取る。		原 本	状	1		
4847 外300	G 4	2月28日 ・亥	覚	○藤枝下伝馬:健屋又助@ ●岡野谷松兵衛	大橋太郎次郎・川村十兵衛行き廻状(ママ)2通、ちん400文、請取り届ける。		原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
4848 外849	G 4	記載なし	書状	○身成村:名主 ●笹間渡村:御名主	廻状村名が少々よごれているが、伊久美村から受け取ってほしい。(断簡にて、中の文書なし)。		原 本	状	1		

分類:H-2 水利・土木—土木

4849 外5	H 2	寛政10年10月 (1798年)・午	覚	○山下為之助◎ ●与五郎新田:名主・組頭	与五郎新田村方398石9斗1升4合。金1両3分、永231文3分、外永1文7分包銀。当午年川普請国役金として受取る。		原 本	状	1		
4850 外49	H 2	記載なし	小川作り扣	○記載なし ●記載なし	小川及び橋等の普請に係わる割り金扣。文水:2両1分2朱。市五郎:3両2分3朱。石神:6両1分。平五郎:1両2朱。		原 本	状	1		
4851 外112	H 2	書状 (包紙あり)	書状	○二又・伊久美:西野平四郎◎ ●上河内村:岡野谷松兵衛	先日、焼津浜船が破船したとの飛脚あり。荷物1本、金高15兩程を損し、困っている。1割の出金が保障され、貴家の事も取り計らったので、安心してほしい。書面にて失礼する。		原 本	状	1	○	96

分類:i-1 災害・救恤—災害

4852 外383	i 1	2月12日	廻状	○身成村:名主 ●上河内村:名主	島田宿で出火。昨11日朝6つ時より4つ時まで、3丁目から5丁目まで丸焼け。西陣屋はどうか。近所村々のことであるので、当村では組頭平右衛門を遣わし、見届ける。		原 本	状	1	○	96
4853 外282	i 1	7月22日	書状	○大橋吉兵衛 ●岡野谷松兵衛、富八郎	浅間山大噴火の記録。6日より9日にかけての差以外の状況を詳しく記す。山麓の58ヶ村は形なし。上州高崎宿より報せがあったとのこと。		原 本	状	1	○	96
4854 外435	i 1	8月28日	書状	○山本権作 ●岡野谷松兵衛	5日夜、東の大風で当地は大騒ぎ。これで3ヶ所も被害あり、川筋は津波で遭難したが、お預りの荷物は損傷なし。後荷物もよろしく。		原 本	状	1	○	96
4855 外134	i 1	12月2日	書状 (封紙)	○中条瀬兵衛・徳兵衛・久二郎 ●上河内村:岡野屋松兵衛	去る28日夜8つ時半頃、安針町通り東側・本船町より出火。無風ながら大火となり、安針町・長浜町・本船町残らず焼失。室町1、二丁目東側、瀬戸町南側・伊勢町半町ほど焼失。29日朝5つ時鎮火。当店、別状なし。		原 本	状	1	○	96

分類:i-2 災害・救恤—救恤

4856 外276	i 2	1月11日 ・亥	覚	○横元松兵衛 ●組組名主中	去る戌年御救夫食代割賦として、笹間下組・三並組・高日向組・日向組・栗野山組・上河内組・大森組・西向組・大平組の負担分を来る18日までに横元に納入のこと。		原 本	状	1	○	96
4857 外357	i 2	2月	(御救拝借)	○記載なし ●記載なし	酉年の笹間下組・三並組・高日向組・日向組・栗野山組・上河内組・大森組・西向組・大平組の拝借総計55両永36文83分。家数92。下組は3度拝借。なお、戌年再拝借。		原 本	綴 り	1		
4858 外555	i 2	9月27日	書状	○身成村:五郎右衛門 ●笹間下組:御名主	貯穀御用につき、身成村五郎右衛門と年賦割詰戻し、当出穀分の免除、日限などについて、連絡する。		原 本	状	1	○	96

分類:j-1 教育・文化—教育

4859 外367	J 1	記載なし	九九	○記載なし ●記載なし	掛算九九の表記		原 本	横 半 紙	1		
--------------	--------	------	----	----------------	---------	--	--------	-------------	---	--	--

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
4860 外393	J 2	(享保10年) (1725年)・巳	(薬調合の覚)	○記載なし ●記載なし	享保10年巳6月吉祥日、この薬の都合眼分量で加減して用いるならば、かなりの事に疑いなしとして、以下、3~4種の調合の仕方を挙げ、その効用を延べる。		原 本	状	1		
4861 外426	J 2	安政3年 (1856年)・丙辰	万歳薬	○記載なし ●記載なし	木版刷りで、大・小月の渡世の仕方を歌に折り込む。		原 本	状	1		
4862 外447	J 2	6月12日	書状	○西の平蔵◎ ●上河内:岡野谷松兵衛	興津の在の小島に、灸の名人がいる。土用の平日、灸点するがよいとのこと。興津の「サイヤ」という旅館屋でお聞きいただきたい。		原 本	状	1	○	96
4863 外497	J 2	記載なし	人參三職円主能并五之 妙(妙)	○大坂三休橋筋西へ入町御免調合所:法橋吉野五運、壳所駿州藤枝白子町:万屋清吉 ●記載なし	木版刷りで、家秘の人參「三職円」の効能を宣伝。1日に3、4回用いると、5~7日も服用後、「五の妙」が顯れるという。方一の妙から方五の妙を示す。		原 本	状	1		

分類:J-3 教育・文化一文化

4864 外172	J 3	1月2日	書状 (包紙あり)	○西村加兵衛 ●岡野谷松兵衛	新春の挨拶状。		原 本	状	1		
--------------	--------	------	--------------	-------------------	---------	--	--------	---	---	--	--

分類:K-1 宗教・習俗・身分一宗教

4865 外11	K 1	寛政2年 (1790年)・戌	奉加帳	○上河内邑:峯叟院、名主松兵衛、与頭惣右衛門 ●二又:浅右衛門、他村々50名余	当寺は、永禄年中に今川氏真公の建立で、宝物など数多ある。安永7年、本堂建立するも、困窮で自力では造作できず、御厚志をもって造作を成就させたい。	丁数8枚	原 本	縦 帳	1		
4866 外12	K 1	安永7年 (1778年)・戌	当寺峯叟院宝物明細帳	○駿河国志太郡上河内:一邑惣且(ママ)中、名主松兵衛、同助右衛門 ●記載なし	峯叟院の数々の宝物の目録。本尊東方薬師琉璃光如来、正(ママ)観世音菩薩、阿弥陀如来他、掛軸・什物等、50点余を記録。		原 本	状	1		
4867 外311	K 1	享和1年7月吉日 (1801年)・辛酉	仏説却温黄神呪経	○富士山大先達大蔵院最隆 ●記載なし	富士山信仰の経文。		原 本	状	1		
4868 外683	K 1	元治1年12月17日 (1864年)・子	覚	○勅願所近江国浅井郡大吉寺出頭人:松林丈之助印 ●駿州志太郡惣間下組上河内村:御苗松兵衛	金100疋、地方割。1朱、御買料。御朱印の元に、勸化料として子年分を受取る。		原 本	状	1		
4869 外57	K 1	1月 ・子	(津島大々神楽参詣案内)	○津島御師堀田七太夫 ●川根:御講中	御神楽、定日2月15日執行の案内。去年より参官延年につき、1口2名の参官手当てを出すので、御光来願いたい。講外の者、抜参りとなるが、かまわない。		原 本	状	1	○	96
4870 外421	K 1	6月12日 ・子	覚	○三州六所御官役人:芳川保八郎 ●惣間下組:御役人衆中	金1朱と200文。外に昼飯下さる。これは、御宮修復助成金として受納。		原 本	状	1		
4871 外593	K 1	7月7日 ・丑	覚	○洞雲寺副寺 ●上河内:一色両村御世話人衆中	金1両2分、寅年勸化金、相違なく請取。		原 本	状	1		
4872 外289	K 1	12月21日 ・丑	覚 (包紙入り)	○洞雲寺副寺◎ ●上河内い村:施主人中	金1分、永平寺・惣持寺・大乘寺・大洞院4ヶ寺受納金、儘に受取る。		原 本	状	1		
4873 外841	K 1	11月3日 ・丑	書状 (包紙あり)	○御師:浦口莊利太夫 ●上河内村:岡野谷松兵衛	去る午、家督相続したが、勝手不如意で挨拶披露も遅れた。来春、参上の計画であり、その節は御地一同、御寄附を願いたい。		原 本	状	1		
4874 外578	K 1	4月24日 ・寅	覚	○柳屋柳伝 ●上河内:岡野谷松兵衛	洞雲寺勸化金1両の請取。		原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
4875 外774	K 1	6月17日 ・卯	覚	○左車町:泉寿院◎ ●一色村:助右衛門	入峰奉賀、1貫712文の請取。		原 本	状	1		
4876 外722	K 1	1月7日 ・辰	護摩料御初尾	○秋葉寺役寮◎ ●上河内:岡野谷松兵衛	護摩料御初尾として、金100文受納。神前にて祈禱したので、お礼を申上げる。		原 本	状	1		
4877 外586	K 1	7月9日 ・辰	覚	○洞雲寺知事 ●上河内・一色檀中世話人衆中	金2両1分、客殿建立日掛5ヶ年割合の内、相違なく請取。		原 本	状	1		
4878 外652	K 1	11月晦日・辰	覚	○洞雲寺知事 ●上河内せわ人衆中	金1両1分、忠日横利金分、儘に請取。		原 本	状	1		
4879 外693	K 1	12月16日 ・巳	覚	○洞雲寺知事◎ ●上河内:松兵衛	金1両2朱と48文、巳年分48文、辰年分も含め、儘に請取。		原 本	状	1		
4880 外419	K 1	12月 ・巳	覚	○松兵衛 ●峯叟院	地領散田年貢、役地年貢、国役請入、3口の計192文。これに、本山歳末と仙八方に渡す分を加え、相違なく済ます。		原 本	状	1		
4881 外545	K 1	2月27日 ・午	覚	○西国第33番札所撰州勝尾寺勧化所(印) ●甚左衛門	鳥目300文。本堂諸堂建立寄附物受納書。		原 本	状	1		
4882 外470	K 1	10月 ・午	口演	○洞雲寺世話人 ●記載なし	来る11月、拙寺建立講興行につき、四つ時より出会願いたい。		原 本	状	1		
4883 外707	K 1	3月3日 ・未	状(包紙あり)	○秋葉山役寮 ●上河内村:岡谷松兵衛	料金100文、神前祈禱として執行。お礼申上げる。		原 本	状	1		
4884 外622	K 1	6月9日 ・未	覚	○洞雲寺納所◎ ●上河内村:松兵衛	午年日銭之内、金1両3分、儘に請取る。		原 本	状	1		
4885 外714	K 1	7月12日 ・未	覚	○洞雲寺 ●上河内:松兵衛	金2分、未年日銭の分、儘に請取る。		原 本	状	1		
4886 外469	K 1	10月 ・未	口演	○洞雲寺世話人 ●御連中	来る11日、拙寺建立講執行につき、四つ時より出会願いたい。		原 本	状	1		
4887 外412	K 1	7月9日 ・申	覚	○洞雲寺知事 ●上河内:松兵衛	金1両1分と495文、未年の日銭として請取る。		原 本	状	1		
4888 外624	K 1	1月24日 ・酉	請取	○洞雲寺知事◎ ●上河内一色:西村越旦那中	金1両1分と286文、当洞雲寺勧化料として請取る。		原 本	状	1		
4889 外324	K 1	5月8日 ・酉	書状	○石上村:岡村六郎左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	出入りの儀は色々御世話になったが、解決した。宿勘定につき、立替 ていただき有難く、清算する。宝曆2年宗門人別書上げにつき、お尋ね あり。日影市郎左衛門の取扱いで、未だ分らない。		原 本	状	1	○	96
4890 外631	K 1	1月5日 ・戌	請取	○洞雲寺◎ ●上河内村:岡野谷松平	一、くしがき1本。一、200文。儘に請取る。		原 本	状	1		
4891 外651	K 1	9月3日 ・戌	(請取)	○秋葉寺役寮◎ ●駿州笹間之内上河内:岡野姿兵衛	再建料として、金1両神納。		原 本	状	1		
4892 外30	K 1	12月10日 ・戌	覚	○郡中惣代島田宿名主:栗原古作(印) ●笹間村下組:御名主中	永620文。駿府臨濟寺勧化上納金割合。書面の通り、請取る。		原 本	状	1		
4893 外16	K 1	6月14日 ・亥	書付	○津嶋 ●上河内村:御組頭衆中	万人講金として、銭4貫64文、儘に請取る。神楽執行の折、祈禱する。		原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
4894 外268	K 1	9月2日	請取	○吹屋町洞雲寺知事 ●上河内村・一色村	金2朱、お礼としてお贈りいただき、儘に請取る。		原 本	状	1		
4895 外717	K 1	9月吉日 ・亥	状 (包紙あり)	○御師浦口庄門老人道藤(花押) ●岡野谷松兵衛	御祈祷御戒の御祝儀、神前にて家内安全の祈祷執行。亥年の御初穂、目出度く受納(伊勢神宮御師方)。		原 本	状	1		
4896 外839	K 1	2月1日	(配札)	○正覚院 ●岡野谷松兵衛	笹間三谷の檀那について、昨年から引受け、配札については村々及び他村へ巡廻し、御厚情にお礼申上げる。		原 本	状	1		
4897 外47	K 1	2月8日	書状	○身成村の内:若者 ●上河内村:旦那様	先達では稲荷日待・的両方へお見舞いやとり持ちをして頂き、感謝。いただき物を換金したい、御地の相場より安いと思うが、換金につき、幾重にもお願いしたい。		原 本	状	1		
4898 外262	K 1	3月9日	書状	○上河内村:松兵衛 ●二又村:西野平蔵	洞雲寺の無尽金、不埒につき気の毒に思う。洞雲寺に行き、世話人の山口屋にて埒明けしたいので、お知らせする。貴方も、木町の多吉殿か俊了様をお尋ねいただきたい。		原 本	状	1	○	96
4899 外571	K 1	4月16日	覚	○洞雲寺◎ ●岡野谷	銀2朱、辰年日銭分3朱、未進の内、請取。前峯叟院取替、2朱はその内。これは、元世話人慶全寺へ助合1分、取替金。		原 本	状	1		
4900 外761	K 1	5月1日	書状 (包紙入り)	○青雲山延寿院 ●岡野谷松兵衛	この度、師道様から疫病除の法を伝授いただいた。このことにつき、お礼申上げた。お求めの方は、この法で、5月の縁日に、門戸口の柱に置き、又、不精進の人は手に取り、一切無用に先々のことをよろしく願います。		原 本	状	1		
4901 外621	K 1	5月14日	書状	○龍光院 ●上河内:岡野谷松兵衛	粗末なお茶が出来たので、持たせる。見分の上、代金を林蔵に渡してほしい。近辺の様子を報告。前欠。		原 本	状	1		
4902 外674	K 1	5月	書状	○相賀村:石田大内蔵 ●御苗松兵衛	相賀村の用(ママ)徳寺、去年類焼。再建のため、八会議を立ち上げたので、取り持ち願いたい。		原 本	状	1		
4903 外573	K 1	7月4日	書状	○高野山正覚院役僧 ●瀧沢村以下20ヶ村	高野山撰宿光明真言の土砂加持につき、広大で自力に及ばないので、各村々へ助成勧化のとりなしをお願いしたい。一統仲、承知、順達を願いたい。		原 本	状	1		
4904 外31	K 1	7月13日	書状 (包紙あり)	○二又村:慶全寺世話人 ●上賀内村:御役人中	先般お知らせした無縁仏の供養、16日より7日と定めた。その節、御参詣願いたい。		原 本	状	1		
4905 外65	K 1	8月5日	書状 (包紙あり)	○藤枝吹屋町:洞雲寺役寮 ●上河内村:峯叟院祖籠高和尚、岡ノ谷松兵衛、御苗五左衛門	当年、田方の水なく、百姓は殊の他難儀、心配している。この度、五十海・藪田・時ヶ谷村の願により、是非、当山の什宝掛物を洞雲寺まで拝借願いたい、開帳したい。洞雲寺内に拝借願えるか、御伺いする。		原 本	状	1	○	96
4906 外713	K 1	8月10日	口演	○洞雲寺納所 ●岡野谷松兵衛	今年も施餓鬼幡を送り、供養する。相変わらず米1本お贈りいただき、請取る。村方へもよろしくお伝えいただきたい。		原 本	状	1		
4907 外719	K 1	8月13日	書状	○西の平蔵 ●岡野谷松兵衛、松助	洞雲寺一件につき、山口屋など入り組み、埒があかない。洞雲寺に書面を書いてほしい。		原 本	状	1		
4908 外653	K 1	8月15日	口演	○洞雲寺隠居 ●岡野谷松兵衛	初穂として、お茶を沢山施し頂きありがたい。曲物を差上げるので、笑納願いたい。		原 本	状	1		

分類:K-1 宗教・習俗・身分—宗教

No.316

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
4909 外682	K 1	8月22日	書状	○高野山正覚院 ●(岡野谷松兵衛)	当院の位牌堂・本堂などの再建につき、上河内村に勧化願いたく、使僧が参上するので、取りなしを願いたい。	後部、破れ。	原 本	状	1		
4910 外384	K 1	9月吉日	状	○御師莊門甚太夫直時(花押) ●岡野谷松兵衛	当年初尾として、青銅20疋・茶を神納。これにより、神前にて家内長久・安全を祈禱御願いする。		原 本	状	1		
4911 外710	K 1	9月吉日	状	○御師浦口莊門太夫 ●岡野谷松兵衛	嘉例御祈禱御祓太麻禱のため、御祝儀を添えて進上いただいた。神前で御家内長久を祈禱した。	虫損甚大。	原 本	状	1		
4912 外785	K 1	10月25日	筆演 (包紙入り)	○藤枝宿:洞雲寺副寺 ●上河内村:岡野谷松兵衛	来年夏、開山忌に当るので、江湖興行することになり、近郷檀中は米1升宛負担することになった。山村であるが、同様の負担を檀中に伝えてほしい。当暮から3月までに願いたい。造作施主者と一緒になる。また、加賀の大衆寺から1軒32文の要請あり。大変ながらよろしく。		原 本	状	1		
4913 外338	K 1	11月29日	書状	○龍光院 ●岡野谷松兵衛	先日、御馳走になり、感謝。その際、3両を無心、2両貸していただき、ありがたい。不足の1両は、米1俵の無心をしたい。何時ごろ人をやつたら良いか、返事を頂きたい。		原 本	状	1		
4914 外490	K 1	12月1日	覚	○阿主南寺納所 ●岡野谷松兵衛	稗1石4斗、この利2朱1つ。これ儘に請取る。		原 本	状	1		
4915 外380	K 1	12月13日	書状	○洞雲寺納所 ●岡野谷松兵衛	○当寺和尚、病氣により隠居。後任に、大濤和尚が当月12日に晋山する。檀中にもよろしくお伝え願いたい。		原 本	状	1		
4916 外373	K 1	記載なし	書状	○上河内:若もの ●大和田村:御若衆中	氏神祭礼につき、狂言を興行するので、取り持ち御見物を御案内。		原 本	状	1		
4917 外322	K 1	記載なし	配札 (包紙入り)	○成田山新勝寺 ●記載なし	不動明王・愛染明王を本尊とし、護摩を焚いて無病息災を祈願。		原 本	状	1		
4918 外371	K 1	記載なし	書状	○上河内:若者 ●一色:御老衆中	私どもは、氏神祭礼に狂言を興行。取り持のほ度を願う。		原 本	状	1		
4919 外474	K 1	記載なし	状	○秋葉山役寮 ●記載なし	来る子年12月朔日から4月朔日まで、61年目の御開帳につき、山内屋根を修理したいので、御寄進願いたい。1人に付き、5枚以上奉納の方には、永代火の用心を指出す。1枚代銀6匁。		原 本	状	1	○	96
4920 外457	K 1	記載なし	祭礼狂言御花受納	○記載なし ●記載なし	祭礼狂言に係わる花代受納帳。疋(青銅)・南鐐(銀貨)が目立つ。外に、菓子・酒等あり。文章後欠。	破損目立つ。	原 本	状	1		
4921 外760	K 1	記載なし	書状 (包紙あり)	○岡野谷松兵衛 ●洞雲寺御典座	お寺の修理につき、無尽取継ぎとして私方に2口、出張るよう仰せつけられた。私も無尽多く、二又の平藏・二郎助、小川の藤四郎をお願いした。3人もうまくいかず、御勘願願いたい。委細は、当人が口頭で申し上げる。		原 本	状	1		
4922 外778	K 1	記載なし	(覚)	○峯聖院檀中、河内上・下、中平、小川 ●洞雲寺知事	一、金3両1分、銭1貫224文、寄進。		原 本	状	1		

分類:K-2 宗教・習俗・身分—習俗

4923 外255	K 2	嘉永5年1月 (1852)・壬子	覚 (伊勢参りそうじ入用割金帳)	○記載なし ●記載なし	伊勢参りの諸品代金2貫190文の記録。13人で割、1人につき、400文。		原 本	状	1	○	96
4924 外672	K 2	1月15日	書状	○三光寺的連中 ●松兵衛、的御連中	三光寺虚空蔵祭礼を22、23日に奉納。鉄炮的を開催スルので、御入来願いたい。		原 本	状	1	○	96

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
4925 外378	K 2	1月17日	書状	○中平:若者 ●上河内村:岡野谷松兵衛	この度、当村氏神様祭礼により、18日より芝居の興行あり。是非とも見物にお出でいただきたい。		原本	状	1		
4926 外356	K 2	1月21日	書状	○二又:西の平蔵 ●上河内:岡野谷御隠居	親切にお誘い合ったが、私はとても御供できないので、御参宮いただきたい。江戸一件は、いずれ来ずることはないと思う。もし、御差紙の節は、私が出府して、如何様にもする。		原本	状	1		
4927 外208	K 2	1月22日	書状	○西の平蔵 ●岡の谷松兵衛	先日は、御家来衆の参官、首尾よく帰宅された由。その節、女子共同伴いたし、失礼した。当初でも、困窮の相手には、惣領筋の者の参官でも、そうじはお断りしている。女子のことゆえ、外へ対しても延引するので、お尋ねがあってもお断り願いたい。委細、面会してお話する。		原本	状	1	○	96
4928 外564	K 2	2月4日	書状	○すし屋庄平 ●岡の谷旦那	(前欠)。御村にて興行のこと、承った。無調法ではあるが、下拙にはやし方、御渡し願いたい。村方の世話人へよろしくお話いただきたい。		原本	状	1	○	96
4929 外390	K 2	2月18日	書状	○北ツ越甚右衛門 ●上河内村:御苗松治郎	この度、川越桶会として当20、21の両日、鉄炮による興行を行うので、取りもちを願う。		原本	状	1		
4930 外319	K 2	6月21日	書状 (包紙あり)	○左車山隠居 ●上河内:岡野谷松兵衛	先日いただいたお茶の初物へのお礼。村中によろしく。この時期、江戸芝居が来るので、見物に駕籠を用意して待つ。江戸歌舞伎のチラシあり。		原本	状	1	○	96
4931 外844	K 2	6月24日	口演 (包紙あり)	○平口久左衛門 ●岡野谷松兵衛	松兵衛妻の全快見舞い、6月26日が大黒講の定日であるが、大井川大水で通行できず、延期したい。村雑ぎで報せる。会日は、後ほど案内する。		原本	状	1		
4932 外118	K 2	7月7日	書状	○身成村:若者 ●上河内村:岡野谷若旦那	明8日、身成村の東福寺で渡り狂言を興行するので、おいでいただきたい。		原本	状	1		
4933 外341	K 2	9月21日	書状	○笹間渡村:次郎左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	遠州光明山の神楽を迎え、23日に神楽を行う。当村に仮置しているので、伊久美へも進達願う。		原本	状	1	○	96
4934 外315	K 2	9月24日	書状	○瀬戸谷村:下田惣吉、佐野左進 ●小川村:石神甚左衛門他8名	この秋、講中相談で来春神楽を執行する予定。念のため、廻状を順達願う。小川2、二又3、上河内2、大森1、白井1		原本	状	1		
4935 外122	K 2	11月8日	(嫁とりにつき、金子借用)	○披里村:彦太夫 ●上河内村:岡野松兵衛	当月15日、私方で嫁取をしたので、金子2分、この人にお貸し渡し願いたい。		原本	状	1		
4936 外329	K 2	12月7日	書状	○越前屋治兵衛 ●高知村:岡野谷松兵衛	無尽も段々に延引となり、気の毒に思う。当年は余会にお出かけ願いたい。別紙で、来る11日、大國講を私宅にて行うので、お出でいただきたい。		原本	状	1		
4937 外451	K 2	記載なし	角力花札8枚入り (包紙入り)	○記載なし ●記載なし	表に、藤枝宿勸進元、取持世話人、宿方旅籠中、若者、近所とあり。		原本	状	1		
4938 外826	K 2	記載なし	(旅宿案内)	○略 ●記載なし	金毘羅さん、宿、今津宿、京の宿(三条大橋)3枚の紹介。	短冊形	原本	状	6		

分類:M 地図

4939 外10	M	明治21年9月13日 (1888)・子	駿河国志太・益津両郡 地図	○記載なし ●記載なし	木版、才敷きの大地図。タテ1790×ヨコ60mm.	内容より、便宜上 近世分類とする。	原本	状	1		
4940 外175	M	昭和60年11月 (1985)・乙丑	江戸松大坂図	○(三幸蔵版) ●記載なし	カラー絵図。中津川を最北に、淀川、木津川等の諸川が見える。タテ52×ヨコ76cm	内容より、便宜上 近世分類とする。	原本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
4941 外396	X	天明5年1月 (1785年)・巳	諸色通	○香屋基助 ●河内村:松兵衛	①辰年6月8日より12月25日まで、②巳年①月より10月27日まで、松兵衛に充掛諸色を月日をおって記載。品目に、たつくり1本34文、ぼら1本100文、塩5斗114文などある。		原本	横 帳	1		
4942 外395	X	天保14年12月25日 (1843年)・卯	小使日記	○記載なし ●記載なし	みりん364文、たばこ・ぞうり24文、柿屋へ712文。かつのご60文、いずみや1選80文、など13品目記載。		原本	横 半 帳	1		
4943 外251	X	安政3年2月吉日 (1856年)・辰	通帳	○岡野谷鉄次郎 ●岡野谷松兵衛	主として、酒購入の通帳。寄金9貫580文。この金1両1分3朱と242文。渡金1両2分内朱、請取る。つり160文、渡すべき所、この分、まけ。		原本	状	1		
4944 外52	X	安政5年1月 (1858年)・午	現金諸色通	○米屋半平 ●上河内村:岡野谷松兵衛	午1月13日よりよく年1月20日まで書き付け。1月13日、9匁5分、手掛地1匁のように、月日ごとに諸色の實な物・値段を付す。		原本	状	1		
4945 外852	X	4月23日 ・卯	書状	○勝山利兵衛 ●岡野谷松兵衛	御村方、風邪ひき・病氣のことと聞いたが、その後、便りもなく、心配。返事を三次郎にお願いしたい。		原本	状	1		
4946 外397	X	7月 ・辰	覚	○原村:七左衛門 ●上河内村:松兵衛	2月から6月までの、仕入れた米とその値段を記載。米の他に、大豆・小豆も入る。代金8両3分2朱と670文。	横帳2つ。	原本	横 帳	1		
4947 外542	X	2月11日 ・巳	書状	○下和泉(竹内馨香) ●上河内:岡野谷松兵衛	先日馳走になったお礼。反物1条のこと、厚く取持ちいただき、ありがた		原本	状	1		
4948 外173	X	12月26日 ・巳	覚	○米屋半平 ●上河内村:岡野谷松兵衛	5項目、へて金1両1分と3貫164文、請取。		原本	状	1		
4949 外24	X	12月 ・巳	覚	○米屋半左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	残留帳1反、銀うら1反など。総計91匁6分。内金1両2分、請取る。		原本	状	1		
4950 外250	X	12月 ・巳	覚	○原村:七右衛門 ●川内村:松兵衛	大豆・小豆・糯米・餅米・だちん、併せて9件。へて4両1分2朱と5貫96文。この金5両2朱と67文。内取5両1分2朱と456文。引へ金1分と385文。		原本	状	1		
4951 外416	X	6月12日 ・未	覚	○柿屋傳四郎(藤枝) ●上河内:松兵衛	へ金2両。この代金預かる。麦は早速差上げる。		原本	状	1		
4952 外670	X	7月11日 ・未	覚	○原村:七右衛門① ●川内:松兵衛	米6俵4斗、代金2両1分2朱、残3両分。大麦4俵5斗、代金3分8朱、へて6両1分、内金5両請取。差引1両1分不足。内金1両1分請取。		原本	状	1		
4953 外762	X	11月13日 ・申	覚	○□□屋長七 ●岡野谷松兵衛	諸品代へて5貫633文、外合748文。手拭・にんじん・かんびょう・白砂とう・こんにゃく・こんぶ・みりん等。		原本	状	1		
4954 外613	X	8月12日 ・酉	覚	○かきや傳五郎① ●上河内:松兵衛	大麦1斗8升、からし1斗8升。櫃に受け入れ。		原本	状	1		
4955 外649	X	12月 ・酉	覚	○下田惣吉 ●岡のや松兵衛	米3俵、もち1俵、へて2両と211文。柿70口。2口、へて金1両1分2朱と420文。内金2分、請取。		原本	状	1		
4956 外280	X	12月 ・戌	覚	○米屋:半左衛門 ●岡野谷松兵衛	1月より6月迄、岡野谷家購入の品物(半てん、嶋ふとん、夜着、手拭など)と値段を列挙。盆前に集計し、合計3両2分2朱と164文。9月から11月迄を算出、金1両3分と122文。合計25両1分と226文の請求。		原本	状	1		
4957 外619	X	12月6日 ・亥	覚	○「二 米半 ●岡野谷	ふるしき、かんざし等の代金、へ735文、内2朱取の請取。		原本	状	1		

分類:X 家

No.319

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
4958 外671	X	12月25日 ・亥	覚	○米や半左衛門◎ ●河内:岡野谷松兵衛	一、2朱、紺初着1つ。一、320文、紅しぼり7尺等反物仕立貨19件。ノ 1分と647文、羽織事5件、ノ1分と100文。ノて金2分と銀61匁9分6 厘。合ノて2両1分2朱と451文、請取済み。		原本	状	1		
4959 外633	X	12月26日 ・亥	覚	○富字◎ ●岡松	亥1俵、小目3俵、代金ノ1両と13匁9厘。儘に請取る。		原本	状	1		
4960 外627	X	12月28日 ・亥	覚	○米屋夫左衛門 ●岡野谷松兵衛	衣類及び仕立等代金、ノ4両1分3朱と640文。差引ノ両3分3朱と173 文の請取。		原本	状	1		
4961 外549	X	5月21日 ・壬	書状	○平口五郎右衛門 ●岡野や松兵衛	縫藏のことについて、倉様が来られ、私方で逗留。今日は、藤枝に用 事ありと出かけ、この頃は頭痛気味とかで度々休み、気候にさせてい る。		原本	状	1		
4962 外332	X	1月2日	書状 (包紙あり)	○西村新次郎 ●岡野谷松兵衛	年初の祝詞。		原本	状	1		
4963 外420	X	1月12日	書状	○峯叟院 ●村松良元老	新年の祝詞。お年玉として、枝柿1箱籠献上。2伸、昨年12月、病気の ため挨拶遅れを詫げる。		原本	状	1		
4964 外520	X	1月17日	書状	○見附宿:万屋市左衛門 ●河内村:御苗松兵衛	新年の祝詞。用向きを伺う。		原本	状	1		
4965 外167	X	1月18日	書状 (包紙あり)	○勝山利兵衛・隠居 ●岡野谷松兵衛	新年の祝詞。隠居の贈答に対するお礼。		原本	状	2		
4966 外695	X	1月25日	書状	○上河内:惣右衛門、五左衛門 ●身成村:平口五郎右衛門	婚約につき、色々縁結びを図った。伊勢参りが済んだら、挨拶に参上 のつもり。2月の終りに行きたいが、まだ確約できない。		原本	状	1		
4967 外294	X	2月2日	書状 (包紙入り)	○犬間村:大橋儀八 ●上河内村:岡野谷松兵衛、同五左衛門	林藏の世話にたいする御礼。お目に掛かった時、お礼申上げる。		原本	状	1		
4968 外147	X	2月23日	書状 (包紙入り)	○神田旅籠町一丁目:かがや利兵衛、郷内清五 郎 ●駿州上河内村:岡野谷松兵衛他	改春の挨拶。去る11月中、西野民藏出府の折、ことづげに、一度帰国 して相續を決めるように、との指示あり。案内のとおり、民藏におねがい して、弟の熊太郎を後継者とすると決めたので、よろしく。包紙に、金1 分入りとあり。		原本	状	1		
4969 外242	X	3月18日	書状 (包紙あり)	○下泉村:勝山利兵衛 ●岡野谷松兵衛	岡野谷家息子、首尾よく西国へ向うの由。目出度く、祝いに参上すべく 心掛け手入るが、多用にてやむを得ず、名代をもってお祝い申上げ る。		原本	状	1		
4970 外724	X	5月2日	書状 (包紙あり)	○浅野永八郎 ●岡野谷松輔	好物の品と新茶の贈答へのお礼。		原本	状	1		
4971 外743	X	5月14日	書状	○身成村:平口五郎右衛門 ●岡野谷松兵衛	暑気あたり見舞いのお礼。快気し、少しづつ耕作に出られるようない な。御家内様によるしく。		原本	状	1		
4972 外625	X	6月3日	覚	○綱屋幸助 ●松平	縮めん等、衣類の代金。ノ4両1分と600文の請取。		原本	状	1		
4973 外266	X	6月4日	書状	○大橋庄吉 ●岡ノ谷松兵衛	山田茂右衛門の病療業あり、ほしいと聞いたので、2包買入、飛脚便で 届けた。代金は202文、立替ておいた。早速の全快を祈る。		原本	状	1		
4974 外231	X	6月16日	書状	○平口五郎右衛門 ●岡の谷様	病人の見舞い、石神様から、柳蔵方へ言い渡された祝儀の品を受領。 先に示された茶荷物改めの伝言は、次の覚の通り。覚:18本、計4貫1 52文。		原本	状	1		

分類:X 家

No.320

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
4975 外605	X	7月9日	覚	○山惣 ●岡の谷	衣類等の代金16両3分1朱の請取。		原 本	状	1		
4976 外473	X	7月10日	覚	○河村甫近 ●岡野谷	お中元の祝儀近200疋に煎茶1袋添えたので、請取願う。		原 本	状	1		
4977 外580	X	8月9日	書状	○上河内村:岡野谷松兵衛 ●熊切村:花島元春老	先に遠方よりの来訪に感謝。父も替わらず、容態替わらず。食事も沢山食べ、快気の様子。委細、使いの者から口上。		原 本	状	1		
4978 外345	X	8月13日	書状	○下いずみ村:勝山専祐、竹内参重 ●上河内村:岡野谷松兵衛	竹次郎がまたぞろ離別したいという問題を、家族一同に投げかける。		原 本	状	1	○	96
4979 外355	X	8月19日	書状	○平口五郎右衛門 ●岡野松兵衛	大坂辺から豊刺しが披里に来たので、私方へも一両日頼んだ。この節、岡野谷方で受注できればありがたいとのことで、紹介する。		原 本	状	1	○	96
4980 外529	X	9月23日	書状 (包紙あり)	○三国や倉吉 ●岡根(ママ)屋	平四郎のことで出府、屋敷奉公のことなどを心配いただいた。国の者が集り、異見を交わし、帰国するよとの決着をみた。御両親へ詫びを入れたく願う。		原 本	状	1	○	96
4981 外533	X	9月25日	書状 (包紙入り)	○伊久み:西野平四郎 ●上河内村:岡野谷松兵衛	当冬、金子入用とのこと。当年、私方も特に持合わせ悪く、先月悴平七は、江戸出府して未だ帰らず、棉宅次第返事する。大金は叶わぬが、少々のことなら互いのことゆえ、何とか工面してみる。		原 本	状	1		
4982 外248	X	10月6日	書状	○波野永八郎 ●岡ノ谷旦那様、岡野谷松介	病氣療養の父上、昨日逝去の由。この上は、追善専一にお悔やみ申上げる。病身のため、失礼する。		原 本	状	1		
4983 外460	X	10月6日	書状	○八坂:岡野谷松兵衛 ●川内:平口五郎右衛門	先に御馳走になり、縫藏も御世話になり、感謝。縫藏の件、何の話もないが、親類・旦那衆にも当人へ仰せ聞かせ願いたい。惣右衛門・五郎左衛門も同様、貴方様へよろしくとのこと。		原 本	状	6		
4984 外629	X	11月6日	書状	○住吉屋利兵衛 ●岡野谷松兵衛	相手の安否を尋ね、当方替りなきことを伝える。		原 本	状	1		
4985 外415	X	11月15日	書状	○石上:谷村六郎左衛門 ●上河内:岡野谷松兵衛	岡野谷御内方の病氣見舞い。		原 本	状	1		
4986 外755	X	11月18日	書状 (封あり)	○平野寿吉 ●岡壘谷様	御老母様、今晚逝去の由。手紙で弔辞申上げる。皆様によるしく。		原 本	状	1		
4987 外842	X	12月15日	書状	○池野永八郎 ●岡野谷御隠居	先に御子孫預り依頼のこと。愚老にて、係の連れに間に合わぬかも知れぬが、承知した。		原 本	状	1		
4988 外148	X	12月25日	覚	○藤枝:ささや菴兵衛 ●松兵衛	生活用品20品目、ノ5貫425文の勘定書。		原 本	状	1		
4989 外689	X	12月25日	覚	○米半 ●岡野谷松兵衛	紅しぼり、4尺5寸、211文。羽織ひも、130文。ノ340文請取る。		原 本	状	1		
4990 外829	X	略	私信	○略 ●略	新年の祝詞。金子の無心他一括。		原 本	状	70		
4991 外830	X	略	私信	○略 ●略	新年の祝詞。金子の無心他一括。		原 本	状	47		
4992 外831	X	略	覚	○略 ●略	金子請取覚一括。		原 本	状	51		
4993 外143	X	記載なし	書状	○堀之内より平口七十 ●岡野谷御氏様	御村方では、風邪気味の人もいるように承っているが、貴地ではどうか。私も先ごろよろしくなく、見舞いも申さずに失礼している。お目にかかりたい。		原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
4994 外174	X	(江戸)	過去帳	○記載なし ●記載なし	朔日より30日まで、日毎に記入。最古の記録は、延宝9年6月14日、続いて元禄元年。これと別に、「仏記小不動経」を同封。	表紙変色、折り紙表紙別離。	原本	折本	1		
4995 外187	X	記載なし	覚	○記載なし ●記載なし	生薬の価格か。かんきやう(乾姜)1両、にんじん半両、につけい半両、ちようじ1両等の覚書き。		原本	状	1		
4996 外202	X	記載なし	江州伊吹山永寿洞精製 御薬艾	○近江屋茂右衛門 ●岡野谷松兵衛	薬の効能書(鳳凰丸能書)1通。御薬(九薬入)の袋に、薬包10包入れ。覚3通。		原本	状	3		
4997 外372	X	記載なし	状	○北陸之中州富山之城下:寿石堂 ●記載なし	疝驚丸という薬の宣伝。ねつ病・ほうそう・夜泣き・冷え症・その外など。		原本	状	1		
4998 外379	X	記載なし	書状	○平口五郎右衛門 ●上河内:岡の谷松兵衛	めずらしい肴贈呈に感謝。子ども等、大喜び。		原本	状	1		
4999 外511	X	記載なし	書状	○記載なし ●記載なし	火事見舞いの下書き。		原本	状	1		
5000 外650	X	記載なし	書状	○福岡 ●西の谷	伝四郎の件、打ち合せにつき、本月10日未明、必ず両者共に来駕願いたい。当日は、日曜でないが、印暦で節句に当るので、休業日となる。都合つけて光来願いたい。		原本	状	1		
5001 外539	X	記載なし	祝儀	○記載なし ●記載なし	古名改め新名にした際の祝儀扣。裏面に、千鶴や万亀を祝ふげんぶくのなかへのちやうし目出度かりけり、とあり。		原本	状	1		
5002 外6	X	記載なし	欠	○欠 ●欠	戦記物の語り本か。		原本	縦帳	1		

分類: Z 雑

5003 外824	Z	明和3年12月 (1766年)・戌	(当戌御年貢并諸色借 帳)	○欠 ●欠	2枚のころのみ。元横帳	変色顕著、紙劣化	原本	状	2		
5004 外825	Z	安永6年12月 (1777年)・酉	(当酉皆済金請取帳)	○上河内名主:松兵衛(表紙) ●記載なし	西向・高日向・三並・大森・大平の分が断片的に残る。もと横帳。	変色顕著、紙劣化	原本	状	3		
5005 外797	Z	弘化3年 (1846年)・午	(宗門改帳)	○欠 ●欠	峯叟院・龍光院などの旦那寺教見。各価俗の祖先探しの一助。もと縦帳。マクリ文書。		原本	状	47		
5006 外798	Z	弘化4年3月 (1847年)・未	(宗門人別御改下書)	○笹間村下組:松平扣(表紙) ●欠	宗旨御改人別帳前書きあり。光福寺・龍光院・峯叟院・西方寺等の旦那寺が見える。もと縦帳。	横の下張り。	原本	状	76		
5007 外799	Z	嘉永5年 (1852年)・子	(宗門改帳)	○欠 ●欠	光福寺・龍光院・峯叟院・清雲寺等の旦那寺が見える。もと縦帳。マクリ文書。縦帳之くずれ。	横の下張り。	原本	状	44		
5008 外597	Z	3月5日	(雑文)	○衆右衛門 ●岡野谷様、松様	雑箱を1つ、松之助から貰う。		原本	状	1		
5009 外796	Z	略	(切紙)	○略 ●略	切紙の送状。		原本	状	3		
5010 外802	Z	略	(短冊)	○略 ●略	金銭請取覚等。		原本	状	112		

通し番号 整理番号	分 類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
5011 外9	Z	略	(包紙)	○略 ●略	岡野谷松兵衛宛書状の包紙		原 本	状	67		
5012 外811	Z	略	断簡(その1)	○略 ●略	状の断簡		原 本	状	50		
5013 外812	Z	略	断簡(その2)	○略 ●略	状の断簡		原 本	状	50		
5014 外813	Z	略	断簡(その3)	○略 ●略	状の断簡		原 本	状	50		
5015 外814	Z	略	断簡(その4)	○略 ●略	状の断簡		原 本	状	50		
5016 外815	Z	略	断簡(その5)	○略 ●略	状の断簡		原 本	状	50		
5017 外816	Z	略	断簡(その6)	○略 ●略	状の断簡		原 本	状	50		
5018 外817	Z	略	断簡(その7)	○略 ●略	状の断簡		原 本	状	50		
5019 外818	Z	略	断簡(その8)	○略 ●略	状の断簡		原 本	状	50		
5020 外819	Z	略	断簡(その9)	○略 ●略	状の断簡		原 本	状	50		
5021 外820	Z	略	断簡(その10)	○略 ●略	状の断簡		原 本	状	50		
5022 外821	Z	略	断簡(その11)	○略 ●略	状の断簡		原 本	状	50		
5023 外808	Z	略	断簡(その12)	○略 ●略	状の断簡		原 本	状	50		
5024 外809	Z	略	断簡(その13)	○略 ●略	状の断簡		原 本	状	50		
5025 外810	Z	略	断簡(その14)	○略 ●略	状の断簡		原 本	状	50		
5026 外822	Z	略	断簡(その15)	○略 ●略	状の断簡		原 本	状	50		
5027 外807	Z	略	断簡(その16)	○略 ●略	状の断簡		原 本	状	50		
5028 外806	Z	略	断簡(その17)	○略 ●略	状の断簡		原 本	状	55		
5029 外789	Z	略	断簡(その1) (切紙)	○略 ●略	覚(金子請取)		原 本	状	108		
5030 外788	Z	略	断簡(その2) (切紙)	○略 ●略	覚(金子請取)		原 本	状	100		

通し番号 整理番号	分類	年号 西暦()・千支	年月日	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
5031 外790	Z	略		断簡(その1)	○略 ●略	一紙文書の覚・記(家業・家産)		原本	状	58		
5032 外791	Z	略		断簡(その2)	○略 ●略	一紙文書の覚・記(家業・家産)		原本	状	100		
5033 外792	Z	略		断簡	○略 ●記載なし	帳面等の表紙のみ。		原本	表紙	一括		
5034 外793	Z	欠		断簡	○欠 ●欠	覚等の横帳・綴り		原本	横・綴	一括		
5035 外794	Z	欠		断簡	○欠 ●欠	縦帳・綴り。		原本	縦・綴	一括		
5036 外800	Z	欠		断簡	○欠 ●欠	茶仕切文書。	襖の下張り。	原本	状	10		
5037 外823	Z	欠		断簡	○欠 ●欠	西の夏借覚とあり、岡野谷家が百姓に貸した金額を記載。もと横帳。	変色顕著、紙劣化	原本	状	4		
5038 外828	Z	欠		断簡	○欠 ●欠	一紙文書の破れ、断片。紙のはり付き、虫喰文字、包紙、封筒など。		原本	状	75		
5039 外827	Z	欠		断簡	○欠 ●欠	包紙、袋、横帳、半端ものを含む。		原本	状	60		
5040 外4	Z	記載なし		御こよみ入	○記載なし ●記載なし	袋状の曆入れ。		原本	袋	1		
5041 外176	Z	記載なし		(文書袋入り)	○略 ●略	金銭請取の覚10点と書状1点が同一袋入り。差出人はまちまち。書状は私信。		原本	状	11		
5042 外786	Z	記載なし		断簡(その1) (袋)	○記載なし ●記載なし	記載なし		原本	袋	一括		
5043 外787	Z	記載なし		断簡(その2) (袋)	○記載なし ●記載なし	記載なし		原本	袋	一括		
5044 外795	Z	記載なし		断簡 (粟入れ小袋)	○記載なし ●記載なし	記載なし		原本	袋	一括		
5045 外803	Z	記載なし		断簡(その1) (包紙)	○略 ●略	状の包紙一括。		原本	包紙	一括		
5046 外804	Z	記載なし		断簡(その2) (包紙)	○略 ●略	状の包紙一括。		原本	包紙	一括		
5047 外805	Z	記載なし		断簡(その3) (包紙)	○略 ●略	状の包紙一括。		原本	包紙	一括		
5048 外832	Z	記載なし		「土砂」外	○記載なし ●記載なし	家の屋根葺きに関係するものか。包表に「土砂」と記し、中の小紙がおろたたんである。		原本	状	2		